河内長野市
第５次総合計画策定のための
市民アンケート調査結果報告書

平成 26 年３月
大阪府　河内長野市

【目 次】

Ⅰ．調査の概要 1
　１．調査の目的 2
　２．調査設計 2
　３．報告書の見方 2

Ⅱ．調査の結果 3
　１．回答者について 4
　２．現在の河内長野市について 7
　３．河内長野市の取組について 20
　４．河内長野市への定住意向について 54
　５．地域活動への参加について 65
　６．これからの河内長野市のまちづくりについて 77
　７．調査結果の概要 112

Ⅲ．調査票 117

Ⅰ．調査の概要

１．調査の目的

本調査は、河内長野市第５次総合計画の策定にあたり、市民の皆様のご意見を把握し、これからのまちづくりに反映するために実施しました。

２．調査設計

調査区域　：河内長野市全域
調査対象　：16 歳以上の市民の中から 3,000 人を無作為抽出
調査時期　：平成 25 年９月～10 月
調査方法　：郵送配布、郵送回収による郵送調査
配 布 数　：3,000 票
回 収 数　：1,721 票
回 収 率　：57.4％

３．報告書の見方

● 回答結果は、有効標本数に対して、それぞれの少数第２位を四捨五入した回答割合を示しています。そのため、合計値が 100.0%にならない場合があります。

● グラフ及び表において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

● 本報告書中にある（SA）（Single Answer）は単数回答設問、（MA）（Multiple Answer）は複数回答設問、（数量）は数字による直接回答の設問であることを示しています。

● グラフ及び表のＮ（number of case）は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

● 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

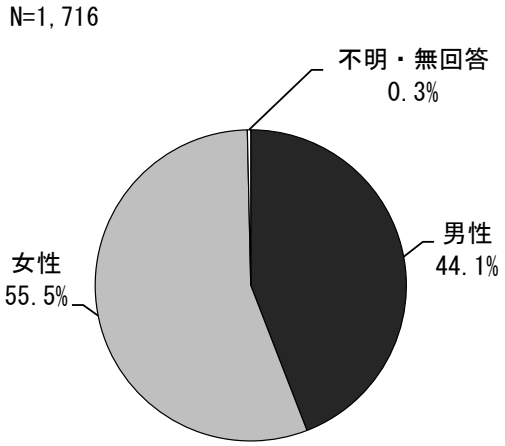
Ⅱ. 調査の結果

1. 回答者について

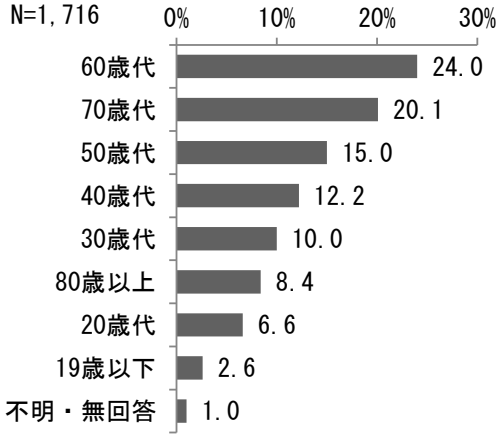
■性別/年齢（SA）

回答者の性別をみると、「女性」が 55.5%、「男性」が 44.1%となっています。
年齢は、「60 歳代」が 24.0%と最も高く、次いで「70 歳代」が 20.1%となっています。

■性別

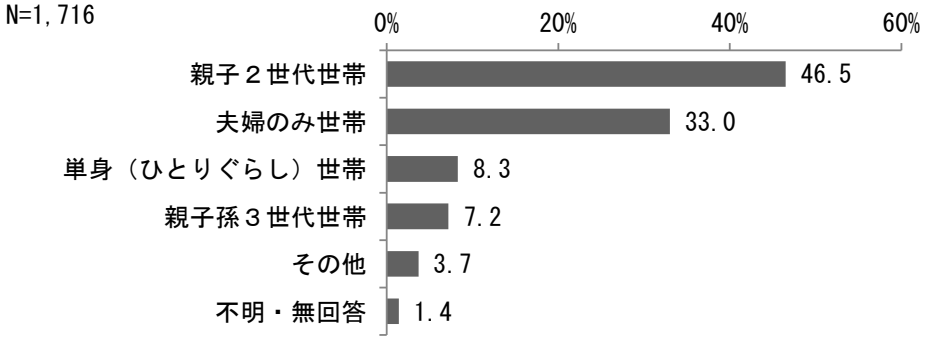


■年齢



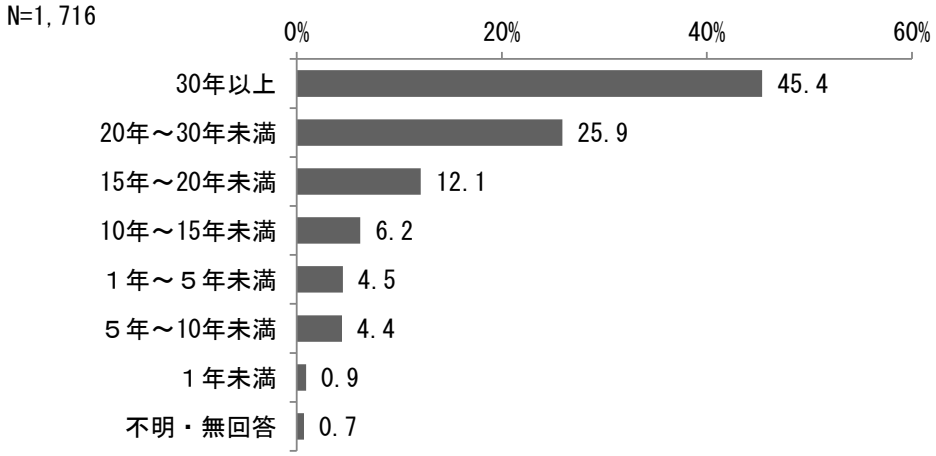
■家族構成（SA）

回答者の家族構成についてみると、「親子２世代世帯」が 46.5%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が 33.0%となっています。



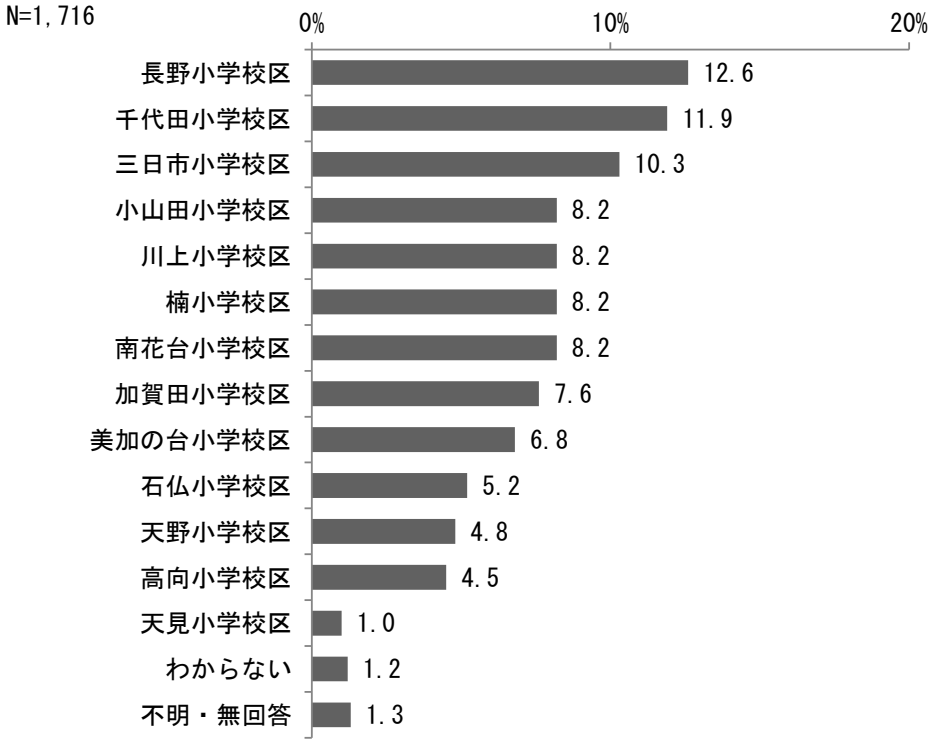
■河内長野市での居住年数（SA）

回答者の居住年数についてみると、「30 年以上」が 45.4%となっています。また、居住年数が 10 年を超える方の割合が、約９割となっています。



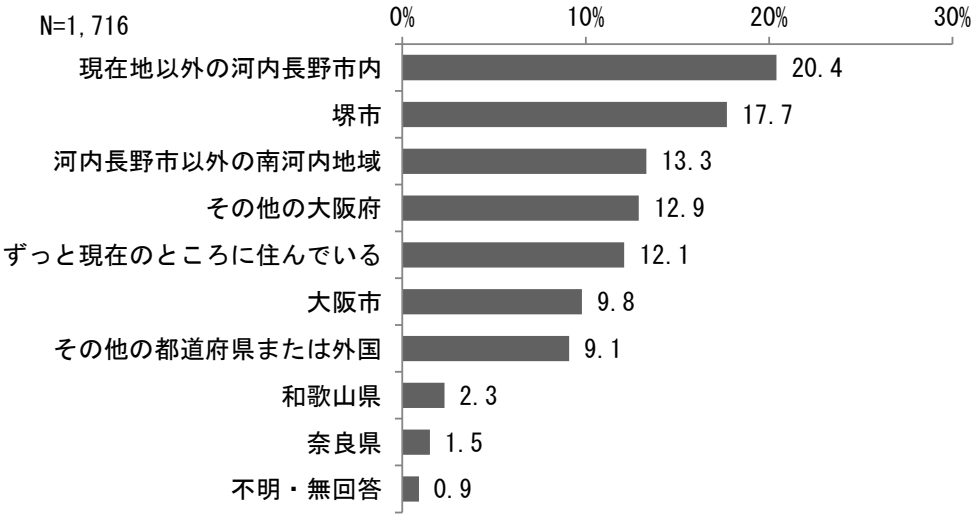
■お住まいの小学校区（SA）

回答者の居住地について小学校区別でみると、「長野小学校区」が 12.6%と最も高く、次いで「千代田小学校区」が 11.9%、「三日市小学校区」が 10.3%となっています。



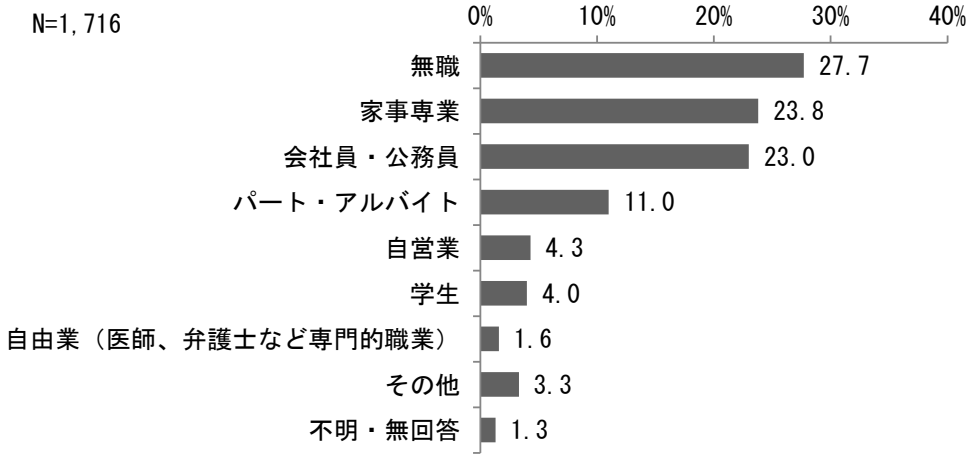
■以前のお住まい（SA）

回答者の以前の居住地についてみると、「現在地以外の河内長野市内」が 20.4%と最も高く、次いで「堺市」が 17.7%、「河内長野市以外の南河内地域」が 13.3%となっています。



■職業（SA）

回答者の職業をみると、「無職」が 27.7%と最も高く、次いで「家事専業」が 23.8%、「会社員・公務員」が 23.0%となっています。パートタイム等を含めた有職者の合計は約４割となっています。

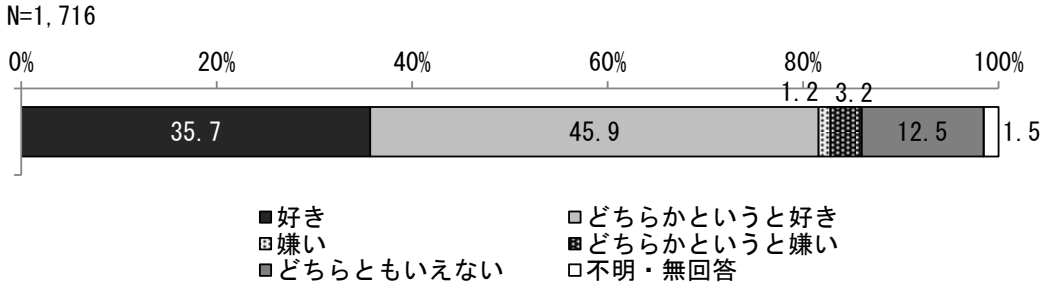


2. 現在の河内長野市について

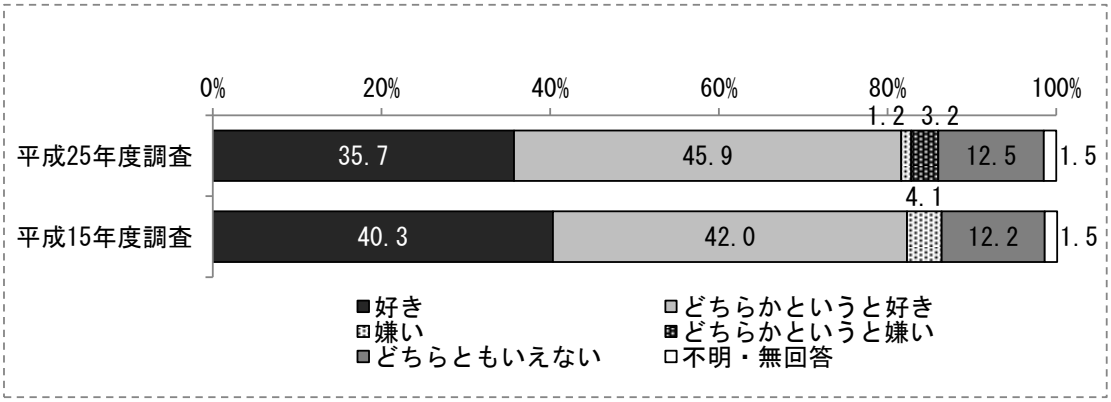
問１　あなたは、現在の河内長野市が好きですか？あてはまる番号１つに○をつけてください。(SA)

現在の河内長野市が好きかについてみると、「どちらかというと好き」が 45.9%と最も高く、次いで「好き」が 35.7%となっています。

前回調査と比較すると「好き」の割合が低くなっていますが、「好き」と「どちらかというと好き」の合計では、ほぼ変化がみられませんでした。

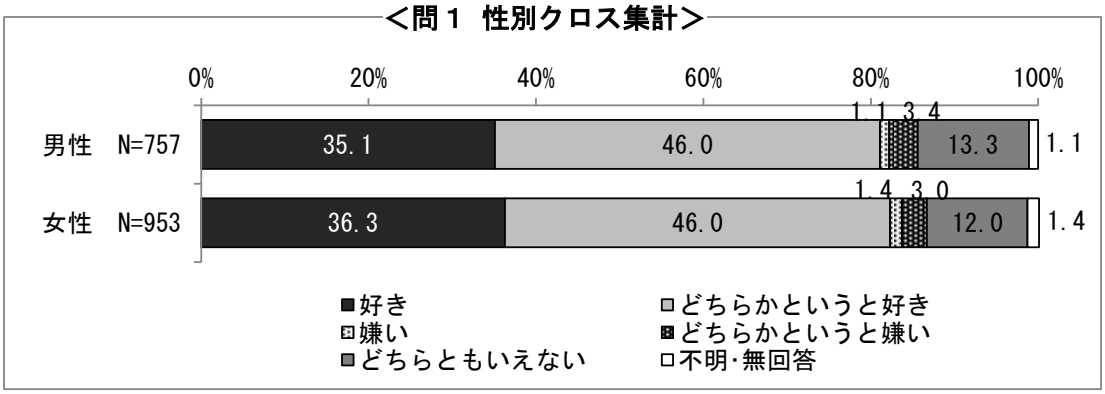


◆前回調査との比較〔問１〕



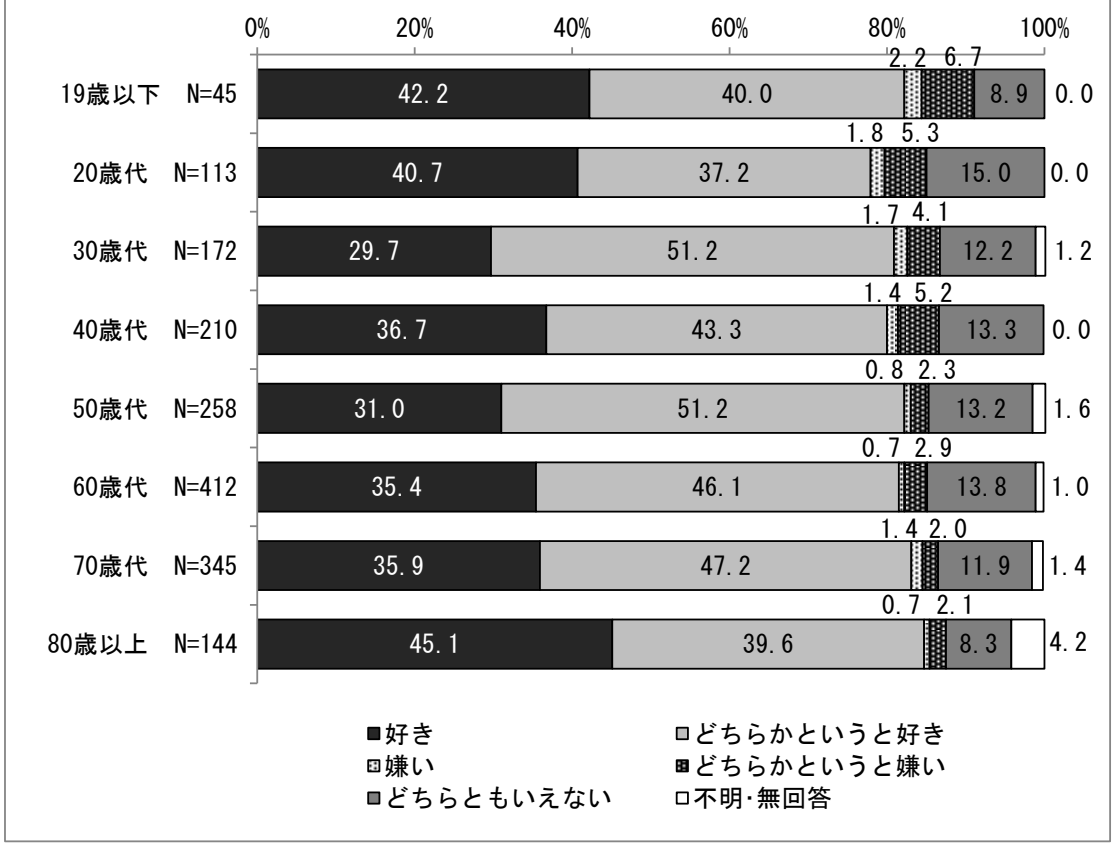
性別でみると、男女ともに「好き」「どちらかというと好き」の合計が約８割となっており、女性の方が若干割合が高くなっています。

＜問１　性別クロス集計＞



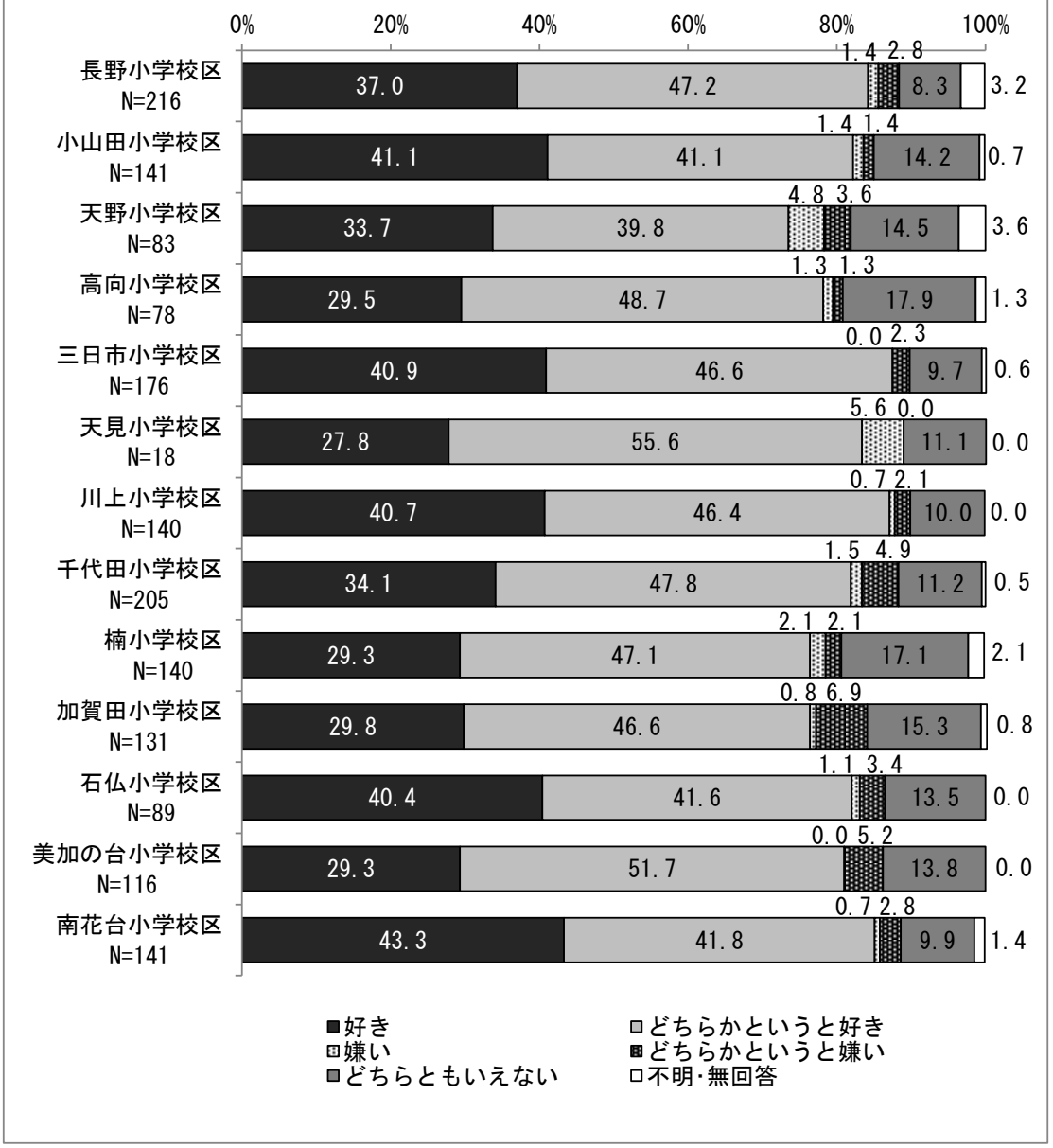
年代別でみると、20 歳代を除くすべての年代で「好き」「どちらかというと好き」の合計が８割を超えている一方、30 歳代では「好き」の割合が３割を下回っています。

＜問１　年代別クロス集計＞



小学校区代別でみると、「天野小学校区」「高向小学校区」「楠小学校区」「加賀田小学校区」を除く小学校区で「好き」「どちらかというと好き」の合計が８割を超えています。

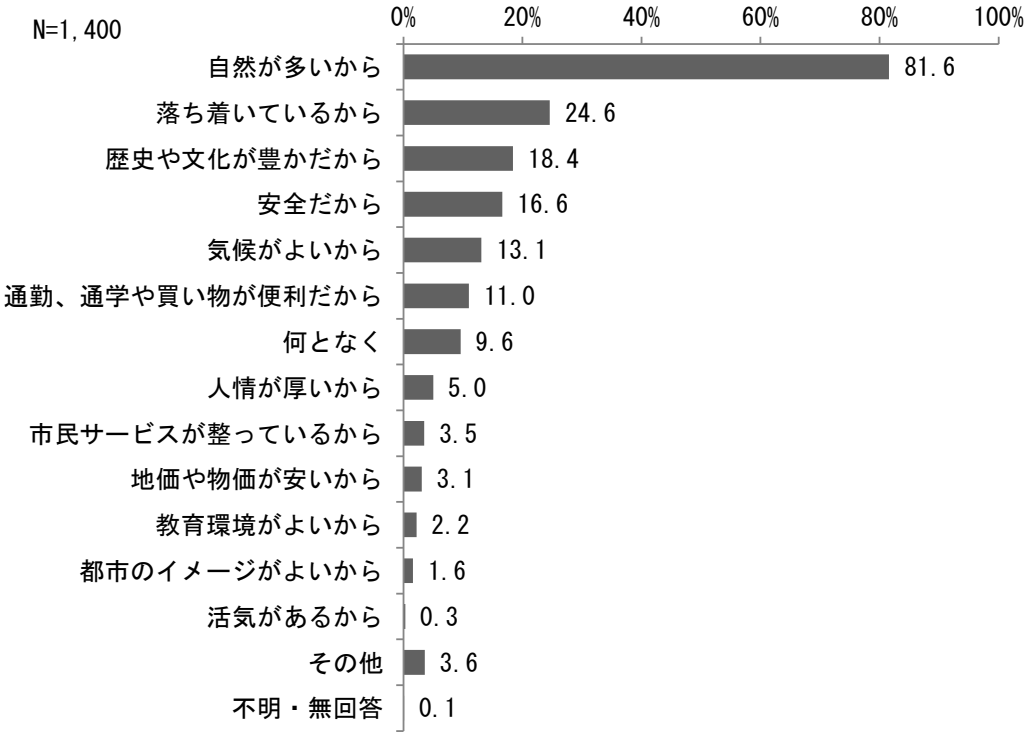
＜問１　小学校区別クロス集計＞



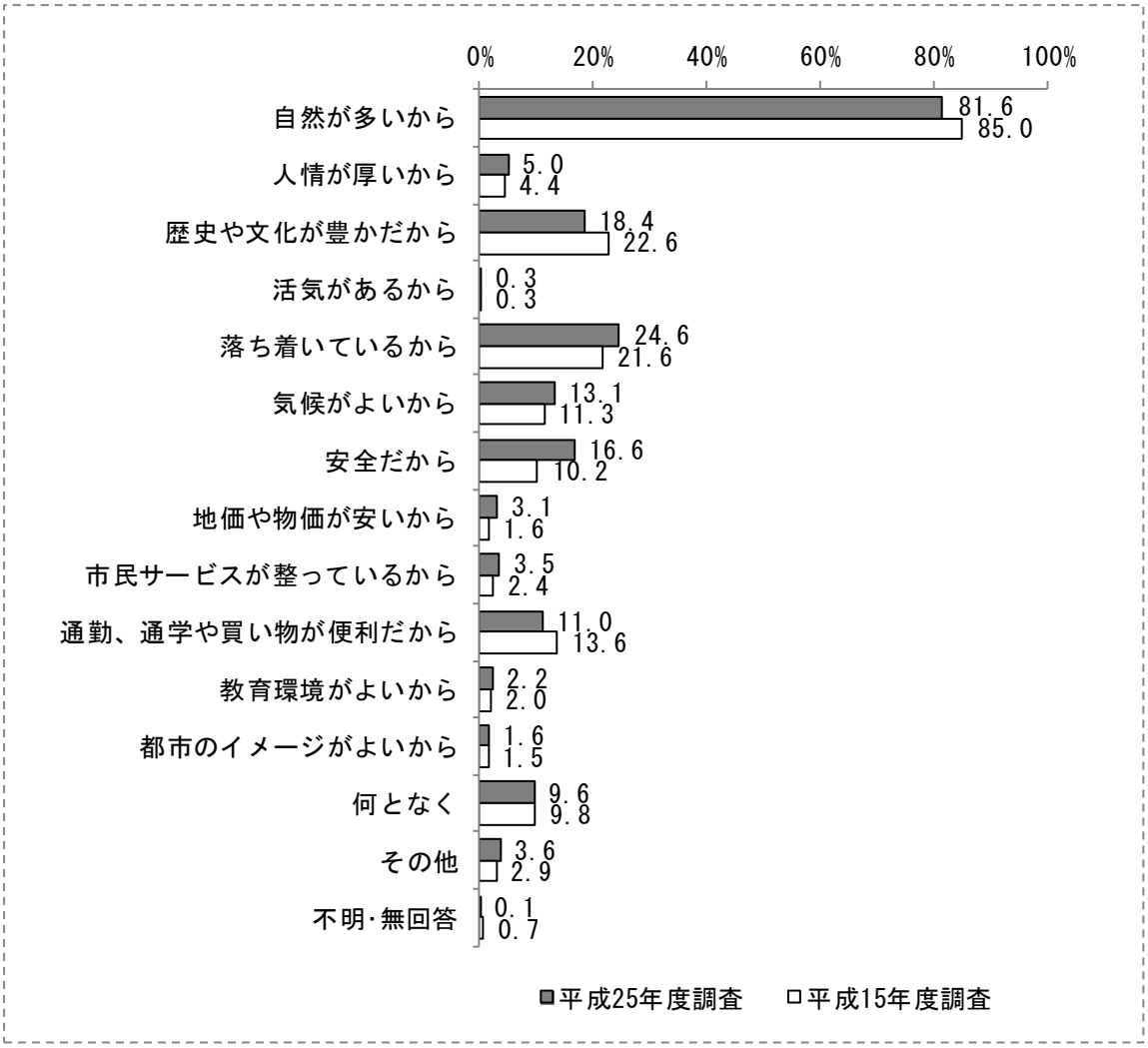
問２　河内長野市が好きな理由を２つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

河内長野市が好きな理由についてみると、「自然が多いから」が 81.6%と最も高く、次いで「落ち着いているから」が 24.6%、「歴史や文化が豊かだから」が 18.4%となっています。

前回調査との比較では、「安全だから」「落ち着いているから」等の割合が高く、「自然が多いから」「歴史や文化が豊かだから」等の割合が低くなっています。



◆前回調査との比較〔問２〕


0%
20%
40%
60%
80%
100%
自然が多いから
81.6
85.0
人情が厚いから
5.0
4.4
歴史や文化が豊かだから
18.4
22.6
活気があるから
0.3
0.3
落ち着いているから
24.6
21.6
気候がよいから
13.1
11.3
安全だから
16.6
10.2
地価や物価が安いから
3.1
1.6
市民サービスが整っているから
3.5
2.4
通勤、通学や買い物が便利だから
11.0
13.6
教育環境がよいから
2.2
2.0
都市のイメージがよいから
1.6
1.5
何となく
9.6
9.8
その他
3.6
2.9
不明･無回答
0.1
0.7
平成25年度調査
平成15年度調査

河内長野市が好きな理由についてみると、すべての年代で「自然が多いから」が最も高くなっていますが、「歴史や文化が豊かだから」では、年代が上がるにつれて割合が高くなっています。また、「落ち着いているから」は若年層で割合が高くなっています。

＜問２　年代別クロス集計＞

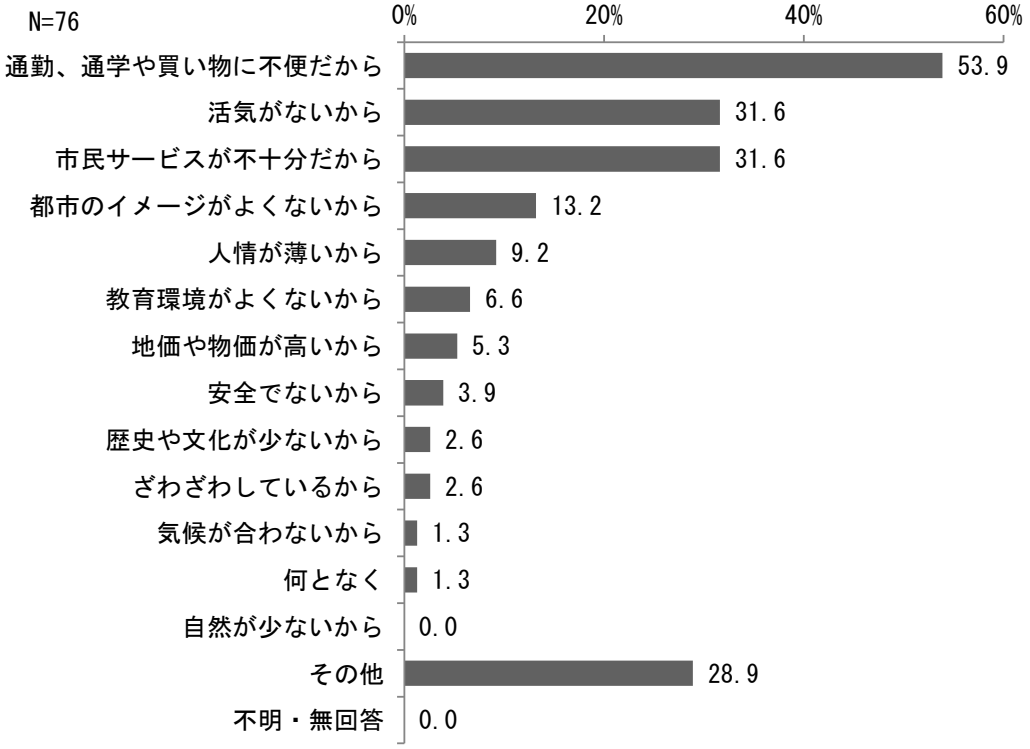
上段:回答数 下段:%	回答者数	自然が多いから	人情が厚いから	歴史や文化が豊かだから	活気があるから	落ち着いているから	気候がよいから	安全だから
合計	1,400	1,142	70	258	4	344	183	232
	100.0	81.6	5.0	18.4	0.3	24.6	13.1	16.6
19歳以下	37	27	−	3	1	10	3	6
	100.0	73.0	−	8.1	2.7	27.0	8.1	16.2
20歳代	88	64	4	7	−	35	10	13
	100.0	72.7	4.5	8.0	−	39.8	11.4	14.8
30歳代	139	101	7	17	−	52	12	22
	100.0	72.7	5.0	12.2	−	37.4	8.6	15.8
40歳代	168	135	9	13	−	54	14	27
	100.0	80.4	5.4	7.7	−	32.1	8.3	16.1
50歳代	212	178	9	31	−	52	36	38
	100.0	84.0	4.2	14.6	−	24.5	17.0	17.9
60歳代	336	290	11	81	−	61	48	61
	100.0	86.3	3.3	24.1	−	18.2	14.3	18.2
70歳代	287	235	20	70	2	58	46	43
	100.0	81.9	7.0	24.4	0.7	20.2	16.0	15.0
80歳以上	122	103	10	35	−	20	14	19
	100.0	84.4	8.2	28.7	−	16.4	11.5	15.6

上段:回答数 下段:%	地価や物価が安いから	市民サービスが整っているから	通勤、通学や買い物が便利だから	教育環境がよいから	都市のイメージがよいから	何となく	その他	不明･無回答
合計	43	49	154	31	22	135	51	2
	3.1	3.5	11.0	2.2	1.6	9.6	3.6	0.1
19歳以下	1	−	2	1	1	9	2	−
	2.7	−	5.4	2.7	2.7	24.3	5.4	−
20歳代	2	8	8	3	−	9	6	−
	2.3	9.1	9.1	3.4	−	10.2	6.8	−
30歳代	4	4	25	8	3	16	7	−
	2.9	2.9	18.0	5.8	2.2	11.5	5.0	−
40歳代	9	3	25	8	1	21	4	−
	5.4	1.8	14.9	4.8	0.6	12.5	2.4	−
50歳代	11	5	23	2	2	15	9	−
	5.2	2.4	10.8	0.9	0.9	7.1	4.2	−
60歳代	11	13	36	6	6	32	8	1
	3.3	3.9	10.7	1.8	1.8	9.5	2.4	0.3
70歳代	1	12	31	2	7	21	12	1
	0.3	4.2	10.8	0.7	2.4	7.3	4.2	0.3
80歳以上	4	4	4	1	2	10	1	−
	3.3	3.3	3.3	0.8	1.6	8.2	0.8	−

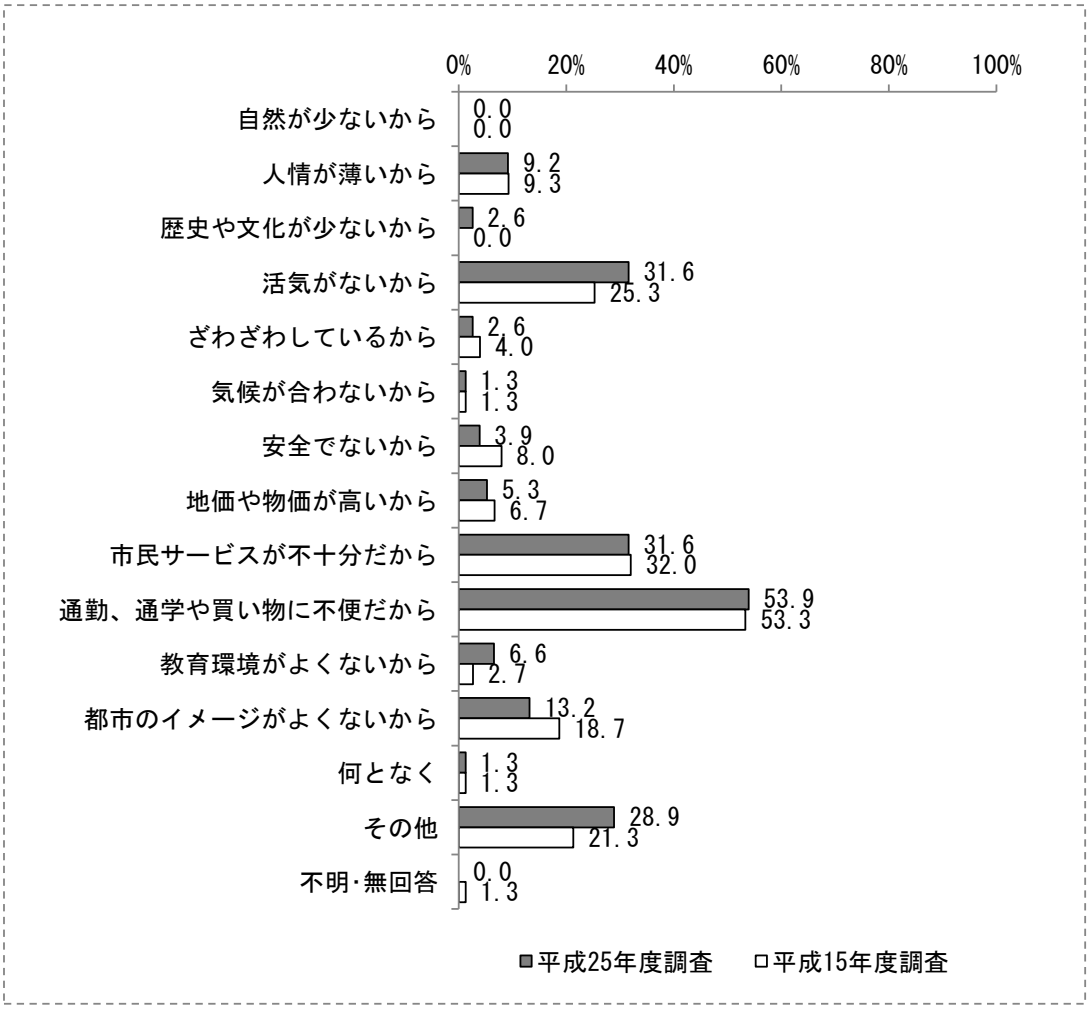
問３　河内長野市が嫌いな理由を２つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

河内長野市嫌いな理由についてみると、「通勤、通学や買い物に不便だから」が 53.9%と最も高く、次いで「活気がないから」が 31.6%、「市民サービスが不十分だから」が 31.6%となっています。

前回調査と比較すると、「活気がないから」の割合が高くなっています。

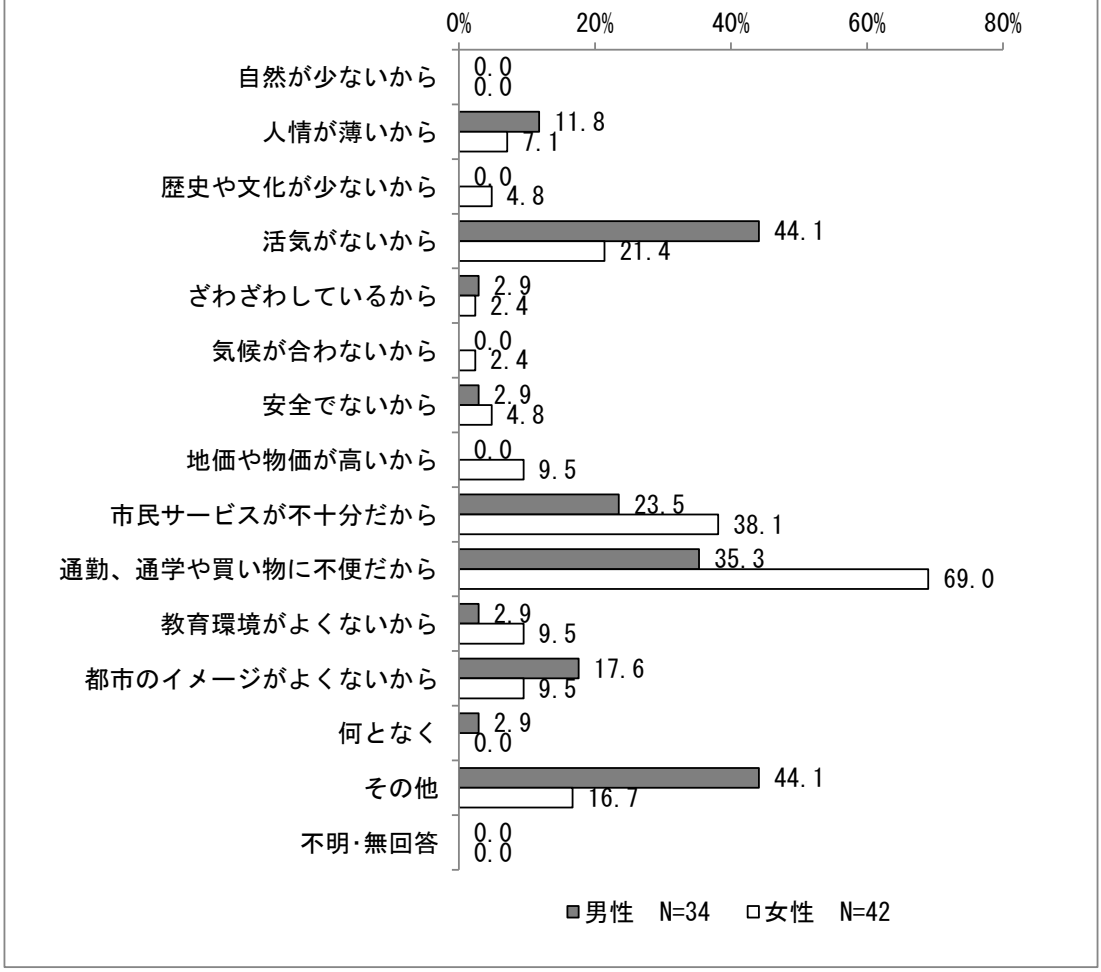


◆前回調査との比較〔問３〕


0%
20%
40%
60%
80%
100%
自然が少ないから
0.0
0.0
人情が薄いから
9.2
9.3
歴史や文化が少ないから
2.6
0.0
活気がないから
31.6
25.3
ざわざわしているから
2.6
4.0
気候が合わないから
1.3
1.3
安全でないから
3.9
8.0
地価や物価が高いから
5.3
6.7
市民サービスが不十分だから
31.6
32.0
通勤、通学や買い物に不便だから
53.9
53.3
教育環境がよくないから
6.6
2.7
都市のイメージがよくないから
13.2
18.7
何となく
1.3
1.3
その他
28.9
21.3
不明･無回答
0.0
1.3
平成25年度調査
平成15年度調査

性別でみると、「男性」では「活気がないから」が 44.1%と最も高く、「女性」では「通勤、通学や買い物に不便だから」が 69.0%で最も高くなっています。

＜問３ 性別クロス集計＞



年代別でみると、「50 歳代」を除くすべての年代で「通勤、通学や買い物に不便だから」の割合が最も高くなっています。

＜問３ 年代別クロス集計＞

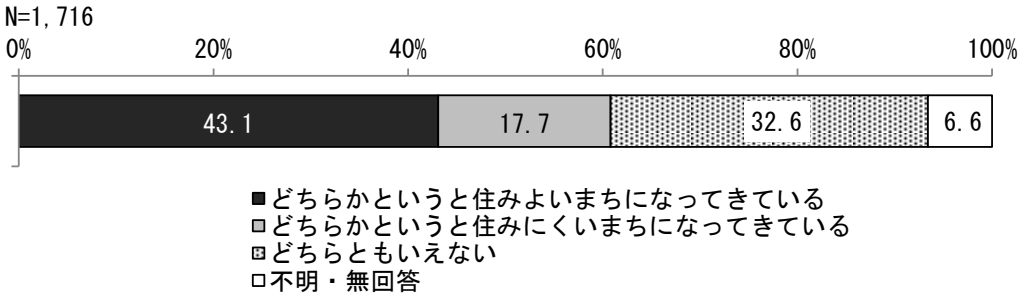
上段:回答数 下段:%	回答者数	自然が少ないから	人情が薄いから	歴史や文化が少ないから	活気がないから	ざわざわしているから	気候が合わないから	安全でないから
合計	76 100.0	－ －	7 9.2	2 2.6	24 31.6	2 2.6	1 1.3	3 3.9
19歳以下	4 100.0	－ －	－ －	－ －	2 50.0	－ －	－ －	1 25.0
20歳代	8 100.0	－ －	－ －	－ －	3 37.5	－ －	－ －	－ －
30歳代	10 100.0	－ －	1 10.0	1 10.0	3 30.0	－ －	－ －	－ －
40歳代	14 100.0	－ －	－ －	－ －	3 21.4	－ －	－ －	1 7.1
50歳代	8 100.0	－ －	1 12.5	－ －	2 25.0	－ －	－ －	－ －
60歳代	15 100.0	－ －	2 13.3	－ －	5 33.3	2 13.3	1 6.7	1 6.7
70歳代	12 100.0	－ －	2 16.7	－ －	5 41.7	－ －	－ －	－ －
80歳以上	4 100.0	－ －	1 25.0	－ －	1 25.0	－ －	－ －	－ －

上段:回答数 下段:%	地価や物価が高いから	市民サービスが不十分だから	通勤、通学や買い物に不便だから	教育環境がよくないから	都市のイメージがよくないから	何となく	その他	不明･無回答
合計	4 5.3	24 31.6	41 53.9	5 6.6	10 13.2	1 1.3	22 28.9	－ －
19歳以下	－ －	－ －	3 75.0	－ －	－ －	－ －	1 25.0	－ －
20歳代	1 12.5	2 25.0	6 75.0	－ －	－ －	－ －	1 12.5	－ －
30歳代	1 10.0	3 30.0	4 40.0	2 20.0	－ －	－ －	4 40.0	－ －
40歳代	1 7.1	4 28.6	8 57.1	3 21.4	1 7.1	－ －	2 14.3	－ －
50歳代	－ －	3 37.5	2 25.0	－ －	2 25.0	－ －	5 62.5	－ －
60歳代	1 6.7	6 40.0	9 60.0	－ －	2 13.3	－ －	3 20.0	－ －
70歳代	－ －	5 41.7	6 50.0	－ －	4 33.3	1 8.3	4 33.3	－ －
80歳以上	－ －	1 25.0	2 50.0	－ －	1 25.0	－ －	2 50.0	－ －

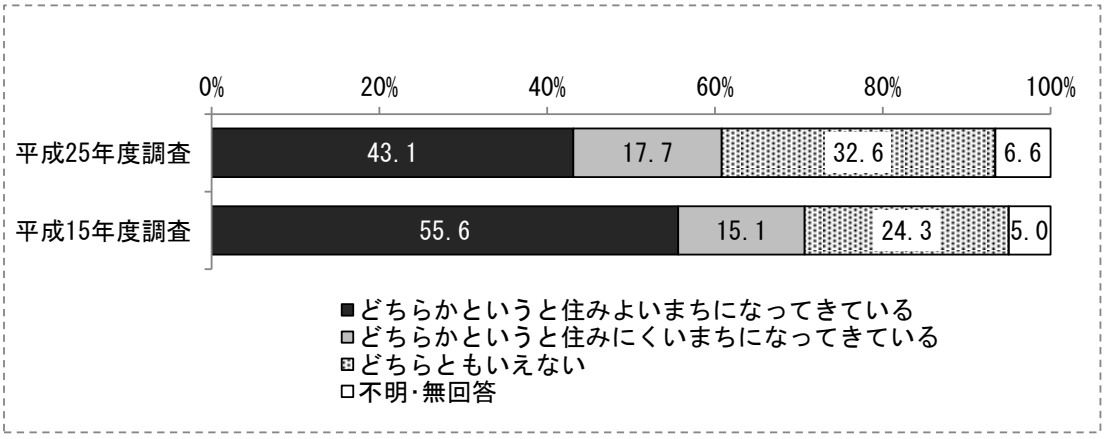
問４　あなたは、現在の河内長野市をどのように感じていますか？あてはまる番号１つに○をつけてください。（SA）

現在の河内長野市をどのように感じているかについてみると、「どちらかというと住みよいまちになってきている」が 43.1%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 32.6%となっています。

前回調査と比較すると、「どちらかというと住みよいまちになってきている」の割合が低くなっています。

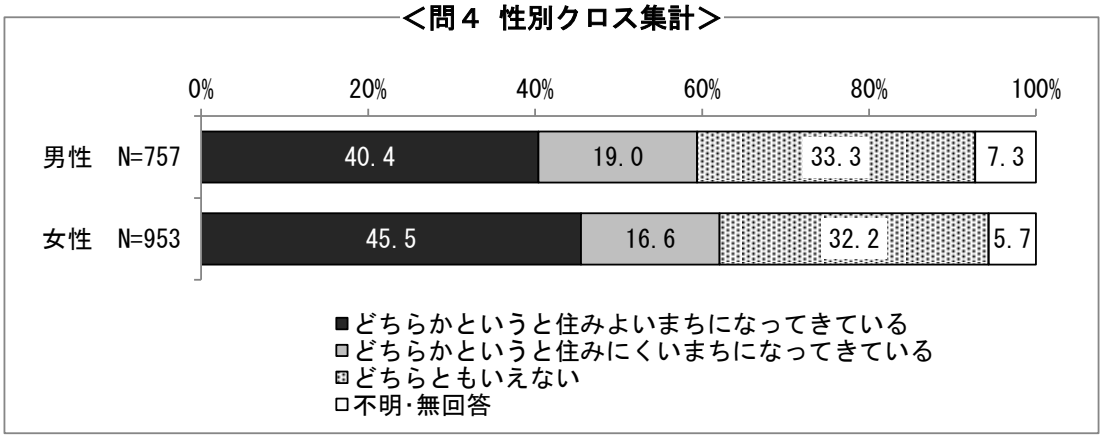


◆前回調査との比較〔問４〕



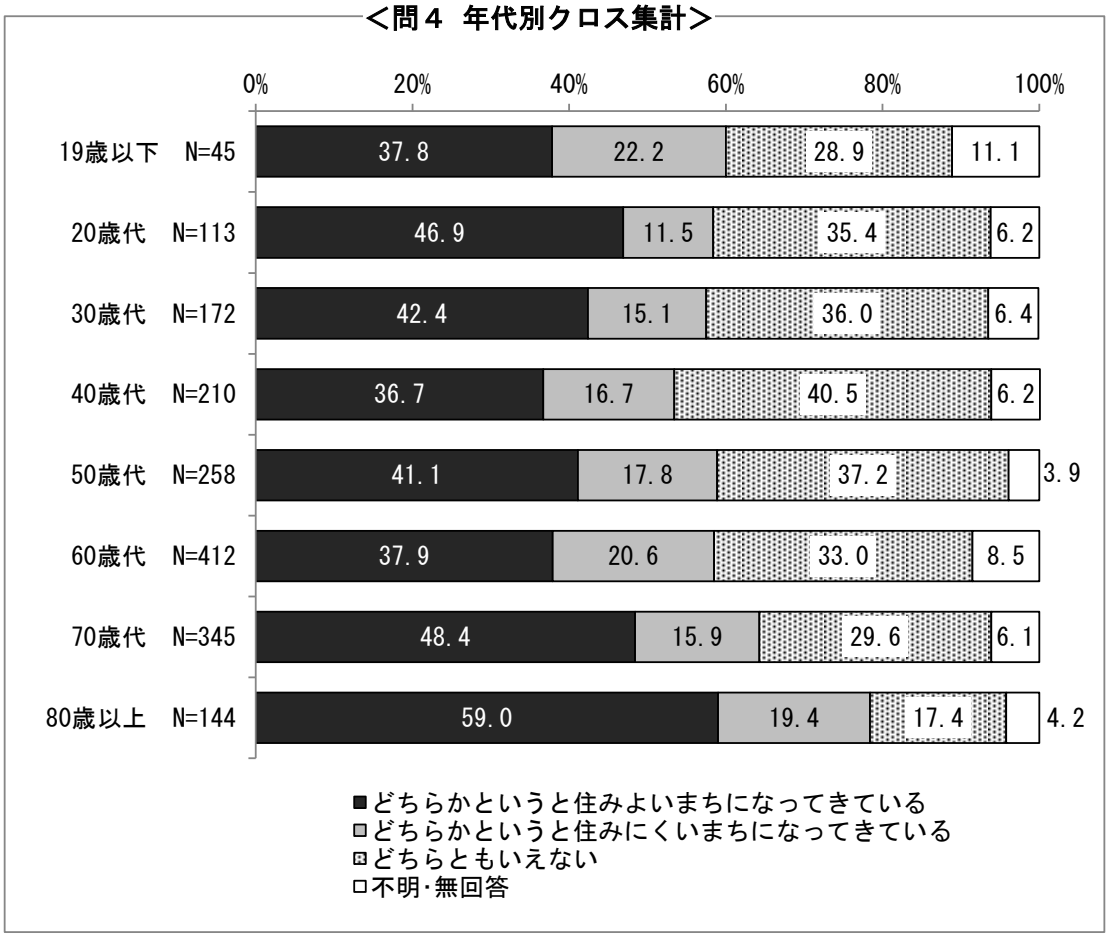
性別でみると、男女ともに「どちらかというと住みよいまちになってきている」の割合が最も高くなっていますが、女性の方が「どちらかというと住みよいまちになってきている」の割合が高くなっています。

＜問４　性別クロス集計＞



年代別にみると、「どちらかというと住みよいまちになってきている」は 70 歳代、80 歳代で割合が高くなっています。

＜問４　年代別クロス集計＞



問５　あなたは、河内長野市を知り合いに紹介するとき、自慢したいこと（特産品、観光資源、住民気質、風土等）は何ですか。（FA）

※回答数が多いものを抜粋

河内長野市を知り合いに紹介するときに、自慢したいことについてみると、「自然が多い、自然があふれている」が最も多く、次いで「空気がきれい」「つまようじ、わりばし、すだれ等の各種特産品」となっています。

自由回答	類似回答数
自然が多い・自然があふれている・山が近い・緑が多い	620
空気がきれい	121
つまようじ、わりばし、すだれ等の各種特産品	90
気候（夏涼しい）・風土が良い	79
自然災害が少なく安心の環境	69
名所旧跡、神社・仏閣など歴史・文化資源	67
静か（落ち着きがある）で暮らしやすい	61
桃・梨・ぶどう・みかん・柿などの果物	58
観心寺・延命寺・金剛寺	56
交通の便が良い、都市部へのアクセス	47
住環境が優れている	44
観光資源が多い	43
住民気質・人情が良い・人が温かい・親切	43
西條酒、天野酒	38
滝畑ダム、滝畑の自然、キャンプ場	37
水がきれい、美味しい	30
住みやすい（便利性）	27
花の文化園	23
金剛山	21
治安が悪くないところ、治安が良い	21
ホタル	21
比較的都心に近いのに豊かな自然に近い場所	17
ゆっくりと時間が流れている、のんびとしている、ゆったりしている	17
高野街道	17
歴史や文化が豊か	17
関西サイクルスポーツセンター	15
特に自慢したい事はない、知らない、考えたことがない	15
岩湧山	14
歴史を感じる、歴史がある、歴史的風土	14
桜や紅葉	13
自然が多く残っていて、子どもを育てるのには最適	13
買い物が便利、買い物しやすい	10

3. 河内長野市の取組について

問６－１　次にあげる項目について、次にあげる項目について、①現在の生活の中でどの程度満足していますか。また、②将来に向けて重要な項目だと思いますか。③５年前と比べて良くなりましたか。１から 33 のそれぞれについて、お考えに近い番号に○をつけてください。（※③は５年以上前から居住されている方のみお答えください。）（SA）

＜調査内容＞

33 の項目に対して、「現在の満足度」「今後の重要度」「５年前との比較」の３つのポイントを軸に回答をいただきました。

＜分析方法＞

［現在の満足度］の点数化については、「満足」＝５点、「やや満足」＝４点、「普通」＝３点、「やや不満」＝２点、「不満」＝１点として「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

［今後の重要度］の点数化については、「大変重要」＝５点、「やや重要」＝３点、「重要でない」＝１点、として、「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

［５年前との比較］の点数化については、「良くなった」＝５点、「変化なし」＝３点、「悪くなった」＝１点として、「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

今回は市の取組やサービスの分野 33 項目について、上記の基準で点数化し、グラフ化及び散布図化することで分析しています。

［現在の満足度/今後の重要度］のクロス分析

「現在の満足度」の平均値は「2.94」、「今後の重要度」の平均値は「3.64」となっています。満足度が高い項目は、「町並み･自然･歴史などの美しさ」「騒音･悪臭などの少なさ」『まち全体の「自然や環境への配慮」について』「リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ」、重要度が高い項目は「消防･救急」「防犯」『まち全体の「安全･安心」について』「防災」となっています。

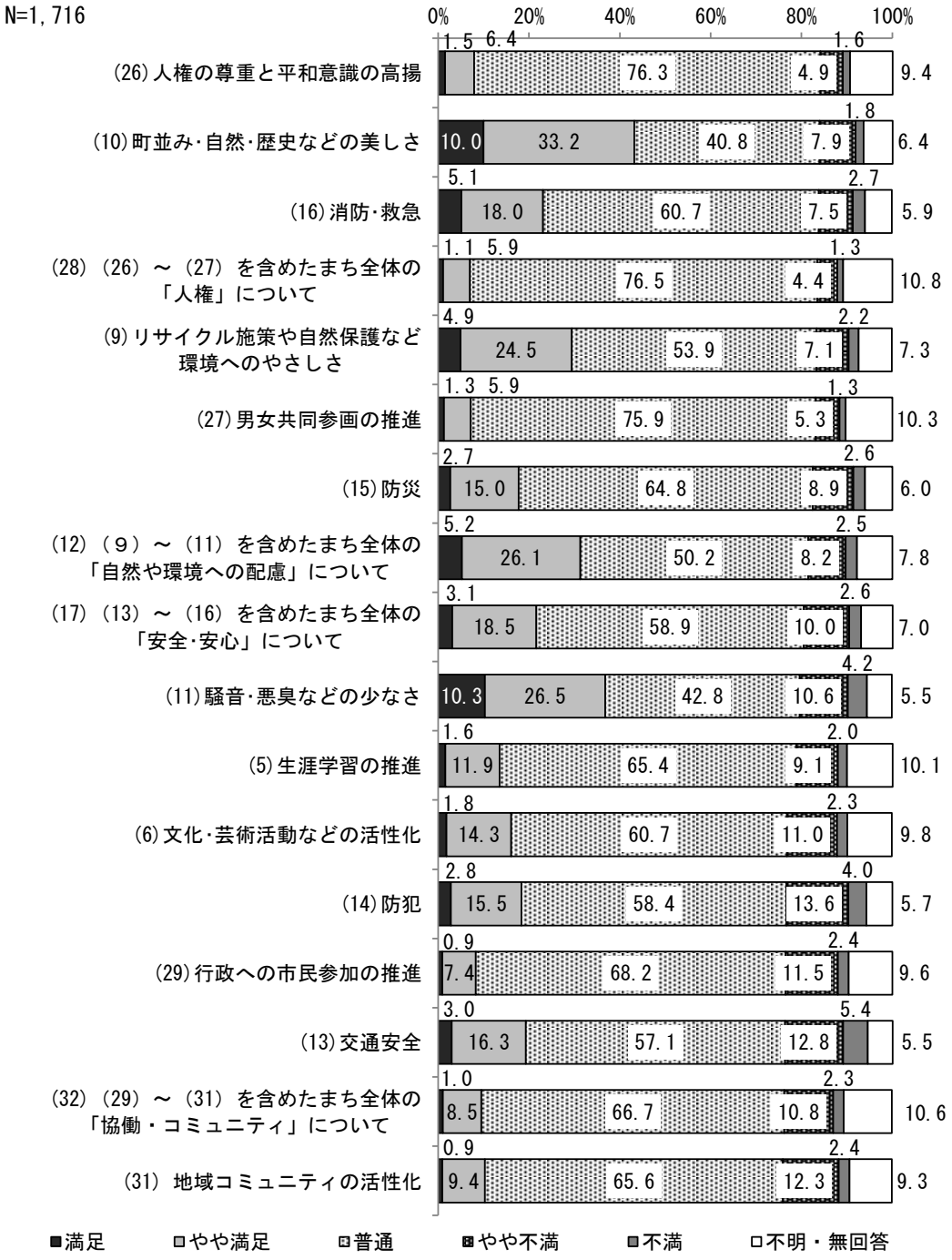
＜「現在の満足度」「今後の重要度」に対する各項目の上位・下位３項目＞

		１ 位	２ 位	３ 位
満足度	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.44)	騒音･悪臭などの少なさ(3.30)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.25) リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.25)
	下位	商業地などのにぎわい(2.28)	まち全体の「産業の活性化」について(2.42)	身近な場での働きやすさ(2.45)
重要度	上位	消防･救急(4.18)	防犯(4.14)	まち全体の「安全･安心」について(4.12) 防災(4.12)
	下位	男女共同参画の推進(3.09)	男女共同参画の推進(3.14)	日常的なレジャーや娯楽などの環境(3.16)

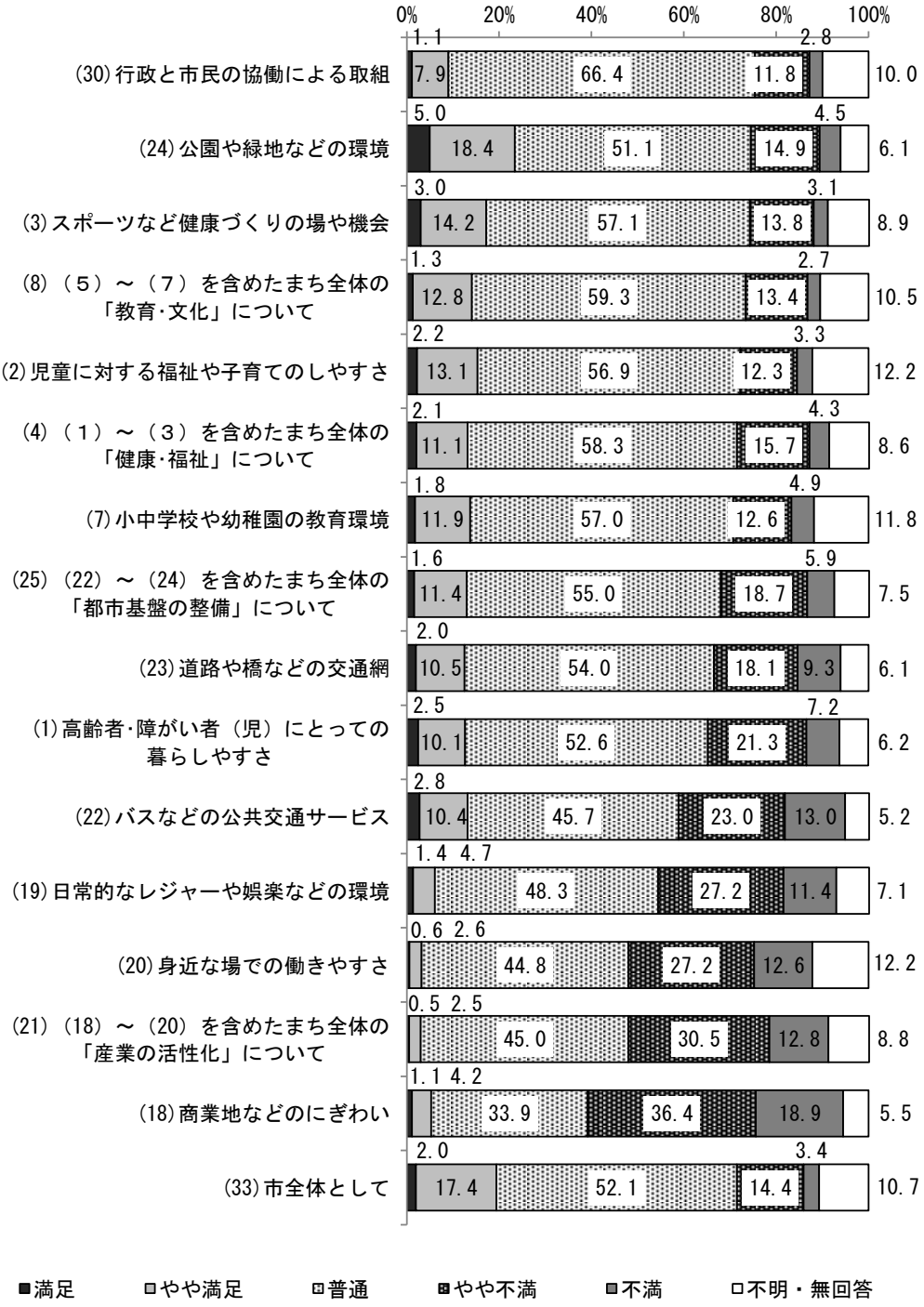
＜各項目のポイント数＞

No.	項 目 名	満足度	重要度	５年前との比較	No.	項 目 名	満足度	重要度	５年前との比較
1	高齢者･障がい者（児）にとっての暮らしやすさ	2.78	4.08	3.26	18	商業地などのにぎわい	2.28	3.66	2.35
2	児童に対する福祉や子育てのしやすさ	2.98	4.02	3.36	19	日常的なレジャーや娯楽などの環境	2.54	3.16	2.78
3	スポーツなど健康づくりの場や機会	3.00	3.23	3.32	20	身近な場での働きやすさ	2.45	3.64	2.70
4	1～3を含めたまち全体の「健康･福祉」について	2.90	3.86	3.28	21	18～20 を含めたまち全体の「産業の活性化」について	2.42	3.68	2.64
5	生涯学習の推進	3.02	3.22	3.40	22	バスなどの公共交通サービス	2.65	3.83	3.02
6	文化･芸術活動などの活性化	3.02	3.14	3.35	23	道路や橋などの交通網	2.76	3.68	3.23
7	小中学校や幼稚園の教育環境	2.92	4.00	3.13	24	公園や緑地などの環境	3.05	3.45	3.16
8	5～7を含めたまち全体の「教育･文化」について	2.96	3.71	3.25	25	22～24 を含めたまち全体の「都市基盤の整備」について	2.83	3.64	3.14
9	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ	3.25	3.84	3.51	26	人権の尊重と平和意識の高揚	3.01	3.22	3.08
10	町並み･自然･歴史などの美しさ	3.44	3.73	3.48	27	男女共同参画の推進	3.01	3.09	3.10
11	騒音･悪臭などの少なさ	3.30	3.78	3.13	28	26～27 を含めたまち全体の「人権」について	3.01	3.17	3.09
12	9～11 を含めたまち全体の「自然や環境への配慮」について	3.25	3.75	3.29	29	行政への市民参加の推進	2.92	3.27	3.15
13	交通安全	2.99	4.01	3.12	30	行政と市民の協働による取組	2.92	3.30	3.16
14	防犯	2.99	4.14	3.05	31	地域コミュニティの活性化	2.94	3.39	3.19
15	防災	3.07	4.12	3.25	32	29～31 を含めたまち全体の「協働･コミュニティ」について	2.95	3.31	3.18
16	消防･救急	3.16	4.18	3.24	33	市全体として	3.00	－	3.23
17	13～16 を含めたまち全体の「安全･安心」について	3.10	4.12	3.17					

＜現在の満足度割合（「満足」～「普通」の合計順①）＞



＜現在の満足度割合（「満足」～「普通」の合計順②）＞



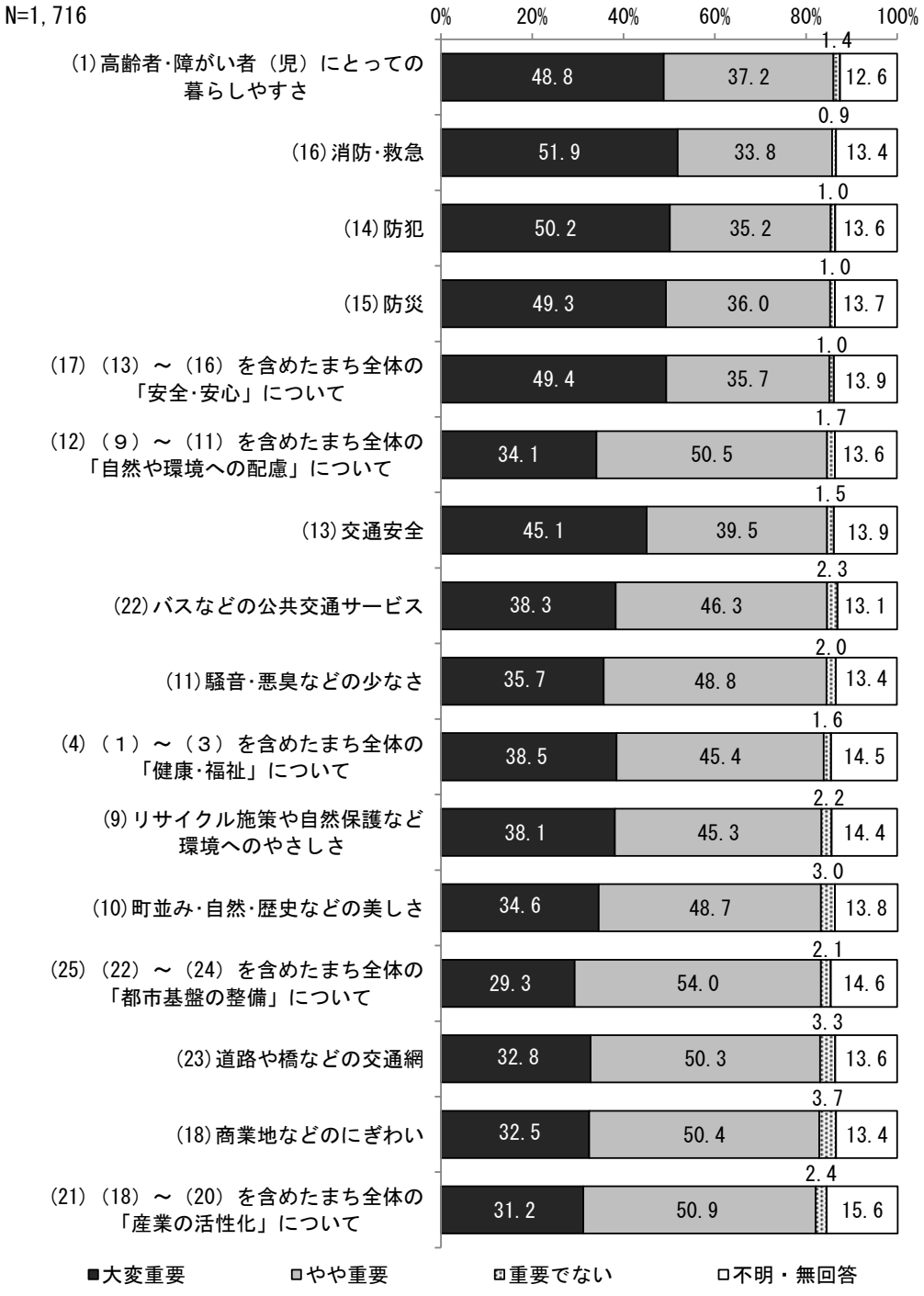
◆「満足度」前回調査との比較〔問6-1〕

※ 平成 15 年度調査：「非常に満足」「やや満足」「ふつう」の割合の合計
※ 平成 25 年度調査：「満足」「やや満足」「ふつう」の割合の合計
※ ＋２以上は「 ↗ 」（上昇）、－２以上は「 ↘ 」（下降）、±２未満は「 → 」（維持）

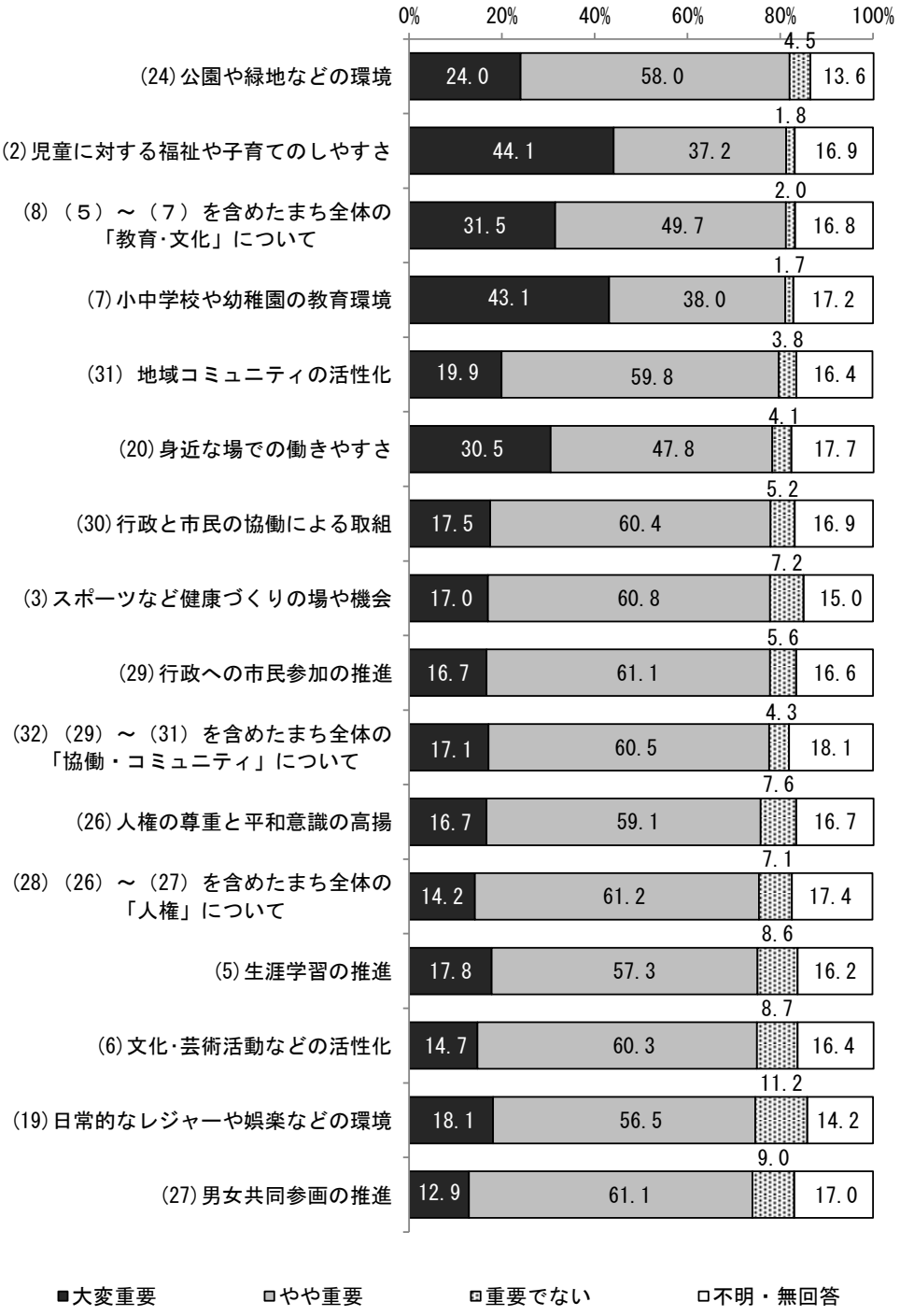
No.	項 目 名	平成15年度調査	平成25年度調査	比較
1	高齢者･障がい者(児)にとっての暮らしやすさ	56.5	65.2	↗
2	児童に対する福祉や子育てのしやすさ	59.0	72.2	↗
3	スポーツなど健康づくりの場や機会	60.0	74.3	↗
4	1～3を含めたまち全体の「健康･福祉」について	62.0	71.5	↗
5	生涯学習の推進	58.8	78.9	↗
6	文化･芸術活動などの活性化	61.4	76.8	↗
7	小中学校や幼稚園の教育環境	60.9	70.7	↗
8	5～7を含めたまち全体の「教育･文化」について	64.2	73.4	↗
9	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ	70.9	83.3	↗
10	町並み･自然･歴史などの美しさ	80.7	84.0	↗
11	騒音･悪臭などの少なさ	74.0	79.6	↗
12	9～11を含めたまち全体の「自然や環境への配慮」について	76.9	81.5	↗
13	交通安全	67.3	76.4	↗
14	防犯	61.2	76.7	↗
15	防災	79.2	82.5	↗
16	消防･救急		83.8	
17	13～16を含めたまち全体の「安全･安心」について	74.0	80.5	↗
18	商業地などのにぎわい	47.3	39.2	↘
19	日常的なレジャーや娯楽などの環境	51.2	54.4	↗
20	身近な場での働きやすさ	33.2	48.0	↗
21	18～20を含めたまち全体の「産業の活性化」について	43.9	48.0	↗
22	バスなどの公共交通サービス	55.2	58.9	↗
23	道路や橋などの交通網	56.5	66.5	↗
24	公園や緑地などの環境	72.8	74.5	→
25	22～24を含めたまち全体の「都市基盤の整備」について	61.3	68.0	↗
26	人権の尊重と平和意識の高揚	―	84.2	―
27	男女共同参画の推進	―	83.1	―
28	26～27を含めたまち全体の「人権」について	―	83.5	―
29	行政への市民参加の推進	―	76.5	―
30	行政と市民の協働による取組	―	75.4	―
31	地域コミュニティの活性化	―	75.9	―
32	29～31を含めたまち全体の「協働･コミュニティ」について	―	76.2	―
33	市全体として	64.5	71.5	↗

※平成 15 年度調査の項目名：５．生涯学習の環境、６．文化・芸術活動などの環境、15.16.消防・救急・防災

＜今後の重要度割合（「大変重要」～「やや重要」の合計順①）＞



＜今後の重要度割合（「大変重要」～「やや重要」の合計順②）＞



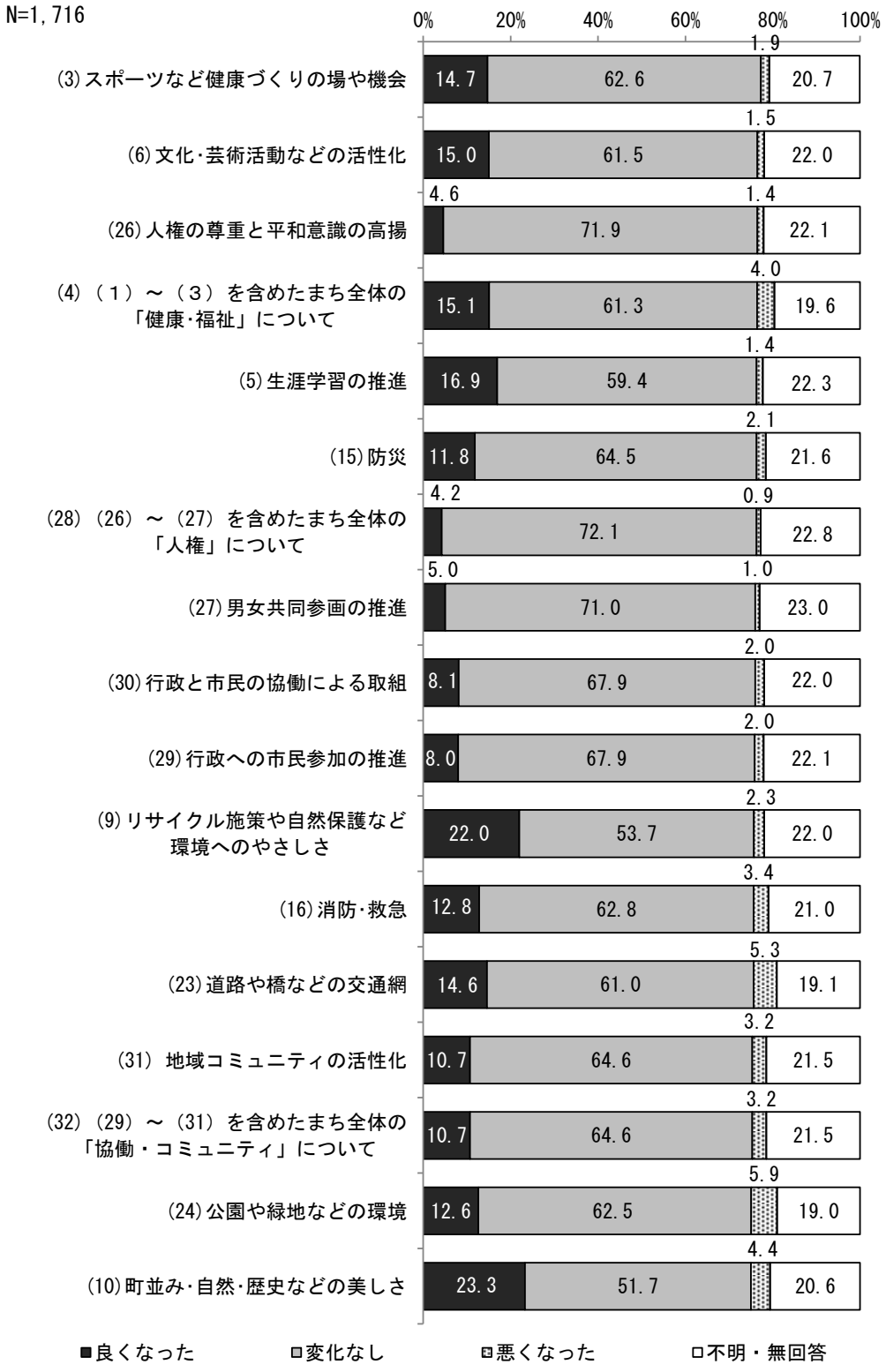
◆「重要度」前回調査との比較〔問6-1〕

※ 平成 15 年度調査：「非常に重要」「やや重要」の割合の合計
※ 平成 25 年度調査：「大変重要」「やや重要」の割合の合計
※ ＋２以上は「 ↗ 」（上昇）、－２以上は「 ↘ 」（下降）、±２未満は「 → 」（維持）

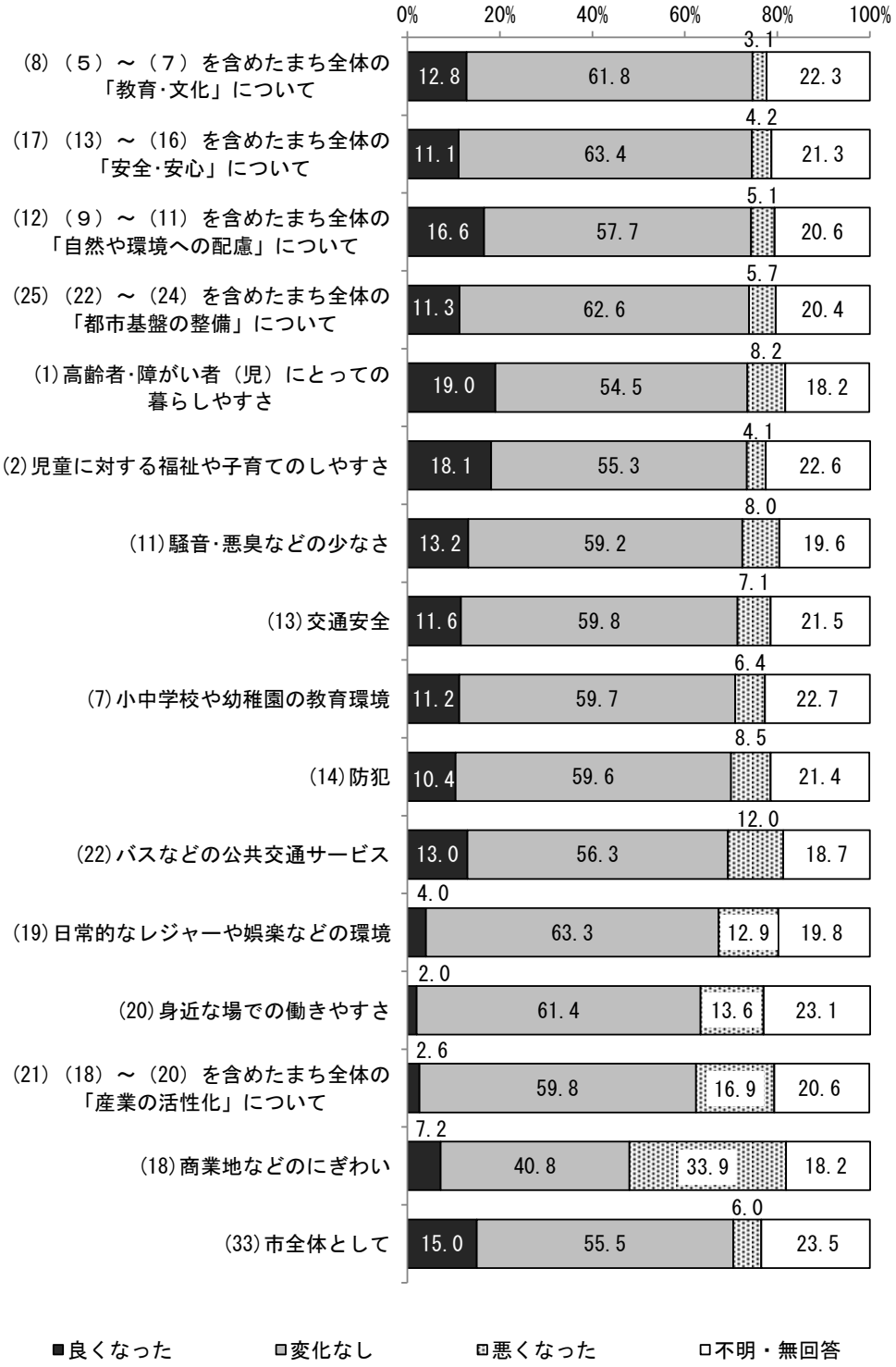
No.	項 目 名	平成15年度調査	平成25年度調査	比較
1	高齢者･障がい者(児)にとっての暮らしやすさ	88.5	86.0	↘
2	児童に対する福祉や子育てのしやすさ	81.4	81.3	→
3	スポーツなど健康づくりの場や機会	64.4	77.8	↗
4	1～3を含めたまち全体の「健康･福祉」について	—	83.9	—
5	生涯学習の推進	60.6	75.1	↗
6	文化･芸術活動などの活性化	56.2	75.0	↗
7	小中学校や幼稚園の教育環境	79.4	81.1	→
8	5～7を含めたまち全体の「教育･文化」について	—	81.2	—
9	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ	82.5	83.4	→
10	町並み･自然･歴史などの美しさ	78.8	83.3	↗
11	騒音･悪臭などの少なさ	84.9	84.5	→
12	9～11を含めたまち全体の「自然や環境への配慮」について	—	84.6	—
13	交通安全	87.5	84.6	↘
14	防犯	90.2	85.4	↘
15	防災	86.6	85.3	→
16	消防･救急		85.7	
17	13～16を含めたまち全体の「安全･安心」について	—	85.1	—
18	商業地などのにぎわい	56.5	82.9	↗
19	日常的なレジャーや娯楽などの環境	40.0	74.6	↗
20	身近な場での働きやすさ	62.3	78.3	↗
21	18～20を含めたまち全体の「産業の活性化」について	—	82.1	—
22	バスなどの公共交通サービス	76.0	84.6	↗
23	道路や橋などの交通網	70.3	83.1	↗
24	公園や緑地などの環境	78.7	82.0	↗
25	22～24を含めたまち全体の「都市基盤の整備」について	—	83.3	—
26	人権の尊重と平和意識の高揚	—	75.8	—
27	男女共同参画の推進	—	74.0	—
28	26～27を含めたまち全体の「人権」について	—	75.4	—
29	行政への市民参加の推進	—	77.8	—
30	行政と市民の協働による取組	—	77.9	—
31	地域コミュニティの活性化	—	79.7	—
32	29～31を含めたまち全体の「協働･コミュニティ」について	—	77.6	—

※平成 15 年度調査の項目名：５．生涯学習の環境、６．文化・芸術活動などの環境、15.16.消防・救急・防災

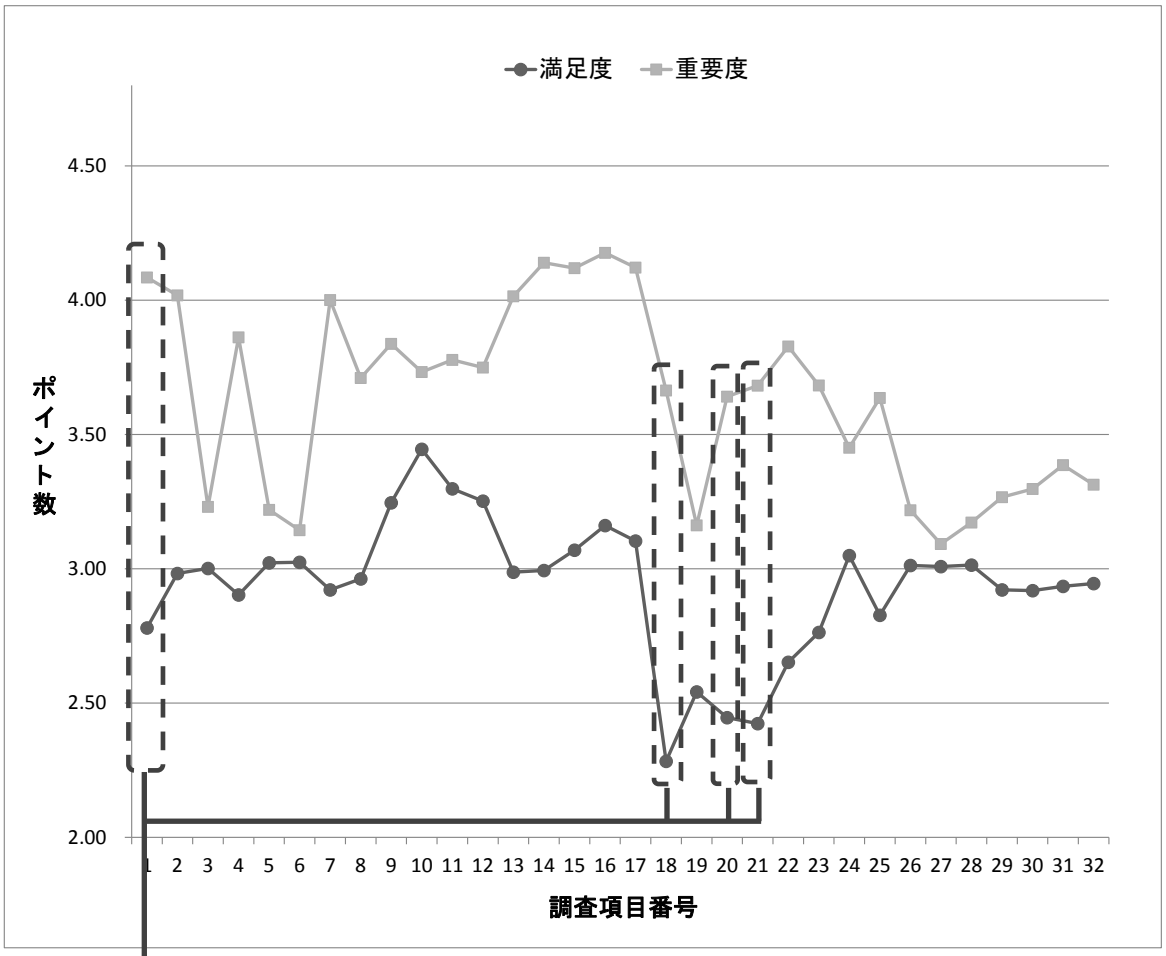
＜５年前との比較割合（「良くなった」～「変化なし」の合計順①）＞



＜５年前との比較割合（「良くなった」～「変化なし」の合計順②）＞



＜「満足度」と「重要度」のギャップ＞



【満足度と重要度のギャップが特に大きい項目】

（1）高齢者･障がい者（児）にとっての暮らしやすさ

（18）商業地などのにぎわい

（20）身近な場での働きやすさ

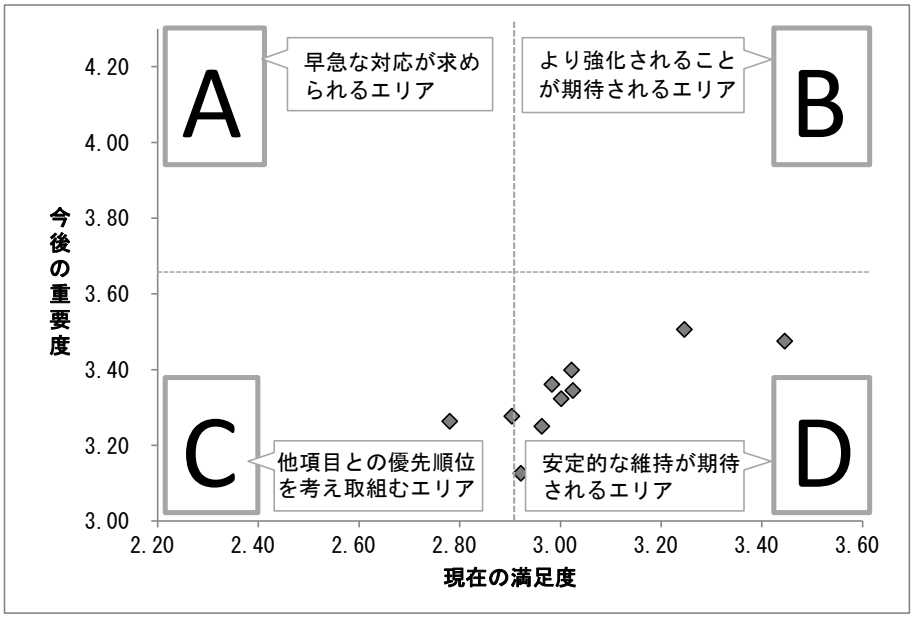
（21）まち全体の「産業の活性化」について

[現在の満足度/今後の重要度]クロス分析散布図について

満足度と重要度の結果を散布図に落とし込み、「A」から「D」に分類することで、各エリアに存在する項目への対応の方向性を示しています。

特に「A」のエリアに関しては重要度が高いが、満足度が低いエリアであり、ここに示される項目に対しては優先順位を高めた対応がまちづくりに必要であると考えられます。

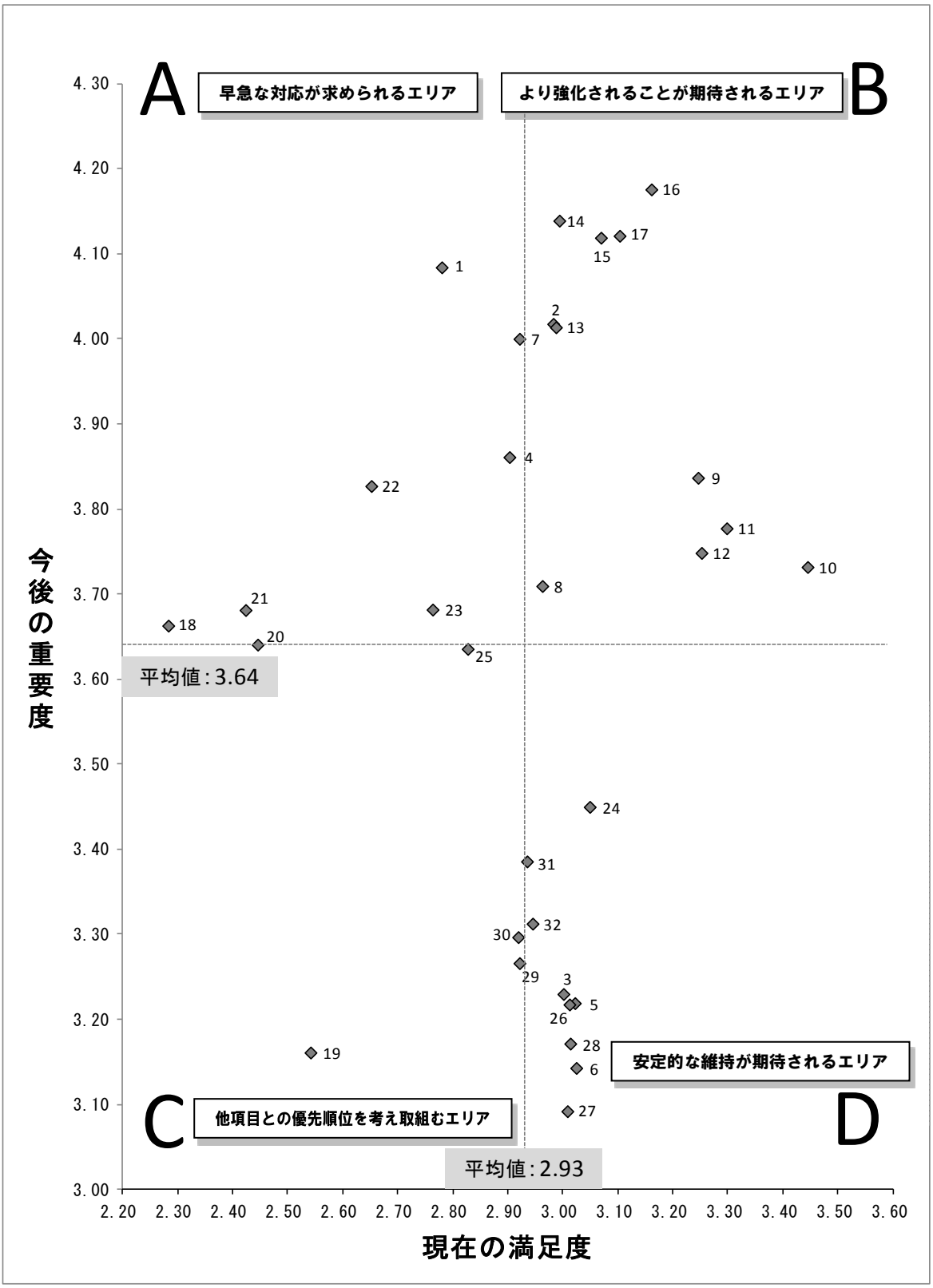
＜散布図内の各エリアの見方＞



＜各エリアに所属する項目一覧＞

エリア	項　目
A 早急な対応が求められるエリア	1.高齢者･障がい者（児）にとっての暮らしやすさ／4.まち全体の「健康･福祉」について／7.小中学校や幼稚園の教育環境／18.商業地などのにぎわい／20.身近な場での働きやすさ／21.まち全体の「産業の活性化」について／22.バスなどの公共交通サービス／23.道路や橋などの交通網
B より強化されることが期待されるエリア	2.児童に対する福祉や子育てのしやすさ／8.まち全体の「教育･文化」について／9.リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ／10.町並み･自然･歴史などの美しさ／11.騒音･悪臭などの少なさ／12.まち全体の「自然や環境への配慮」について／13.交通安全／14.防犯／15.防災／16.消防･救急／17.まち全体の「安全･安心」について
C 他項目との優先順位を考え取組むエリア	19.日常的なレジャーや娯楽などの環境／25.まち全体の「都市基盤の整備」について／29.行政への市民参加の推進／30.行政と市民の協働による取組
D 安定的な維持が期待されるエリア	3.スポーツなど健康づくりの場や機会／5.生涯学習の推進／6.文化･芸術活動などの活性化／24.公園や緑地などの環境／26.人権の尊重と平和意識の高揚／27.男女共同参画の推進／28.まち全体の「人権」について／31.地域コミュニティの活性化／32.まち全体の「協働・コミュニティ」について

＜「現在の満足度」と「今後の重要度」のクロス分析＞散布図



【施策の優先度の参考】

A → B → C → D

[現在の満足度/今後の重要度]の調査結果と[５年前との比較]との関係性について

満足度と重要度の調査結果に「５年前との比較」の調査データを組み合わせることで、経年的な変化をみることができます。「商業地のにぎわい」『まち全体の「産業の活性化」について』「身近な場での働きやすさ」の項目は、５年前と比較すると悪化傾向にありますが、「満足度と重要度の散布図」上では「A」のエリアに位置づけられ、早急な対応が求められていることがわかります。

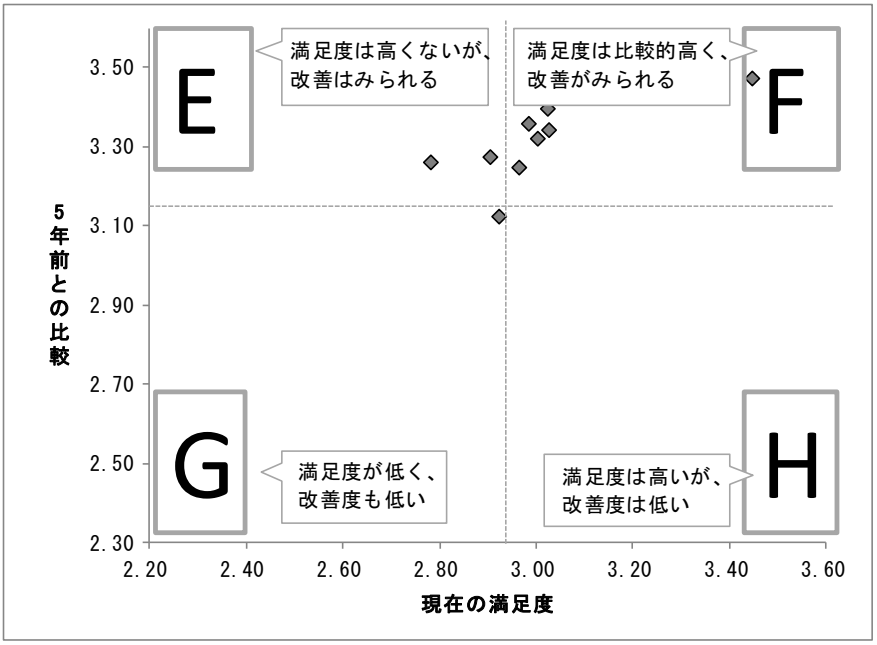
＜「５年前との比較」に対する各項目の上位・下位３項目＞

		１ 位	２ 位	３ 位
５年前との比較	上位（良化傾向）	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.51)	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.48)	生涯学習の推進(3.40)
	下位（悪化傾向）	商業地などのにぎわい(2.35)	まち全体の「産業の活性化」について(2.64)	身近な場での働きやすさ(2.70)

＜各項目のポイント数＞　※「満足度と重要度の散布図」上での位置

NO	項 目 名	５年前との比較	※	NO	項 目 名	５年前との比較	※
1	高齢者･障がい者(児)にとっての暮らしやすさ	3.26	A	18	商業地などのにぎわい	2.35	A
2	児童に対する福祉や子育てのしやすさ	3.36	B	19	日常的なレジャーや娯楽などの環境	2.78	C
3	スポーツなど健康づくりの場や機会	3.32	D	20	身近な場での働きやすさ	2.70	A
4	1～3を含めたまち全体の「健康･福祉」について	3.28	A	21	18～20 を含めたまち全体の「産業の活性化」について	2.64	A
5	生涯学習の推進	3.40	D	22	バスなどの公共交通サービス	3.02	A
6	文化･芸術活動などの活性化	3.35	D	23	道路や橋などの交通網	3.23	A
7	小中学校や幼稚園の教育環境	3.13	A	24	公園や緑地などの環境	3.16	D
8	5～7を含めたまち全体の「教育･文化」について	3.25	B	25	22～24 を含めたまち全体の「都市基盤の整備」について	3.14	C
9	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ	3.51	B	26	人権の尊重と平和意識の高揚	3.08	D
10	町並み･自然･歴史などの美しさ	3.48	B	27	男女共同参画の推進	3.10	D
11	騒音･悪臭などの少なさ	3.13	B	28	26～27 を含めたまち全体の「人権」について	3.09	D
12	9～11 を含めたまち全体の「自然や環境への配慮」について	3.29	B	29	行政への市民参加の推進	3.15	C
13	交通安全	3.12	B	30	行政と市民の協働による取組	3.16	C
14	防犯	3.05	B	31	地域コミュニティの活性化	3.19	D
15	防災	3.25	B	32	29～31 を含めたまち全体の「協働･コミュニティ」について	3.18	D
16	消防･救急	3.24	B	33	市全体として	3.23	－
17	13～16 を含めたまち全体の「安全･安心」について	3.17	B				

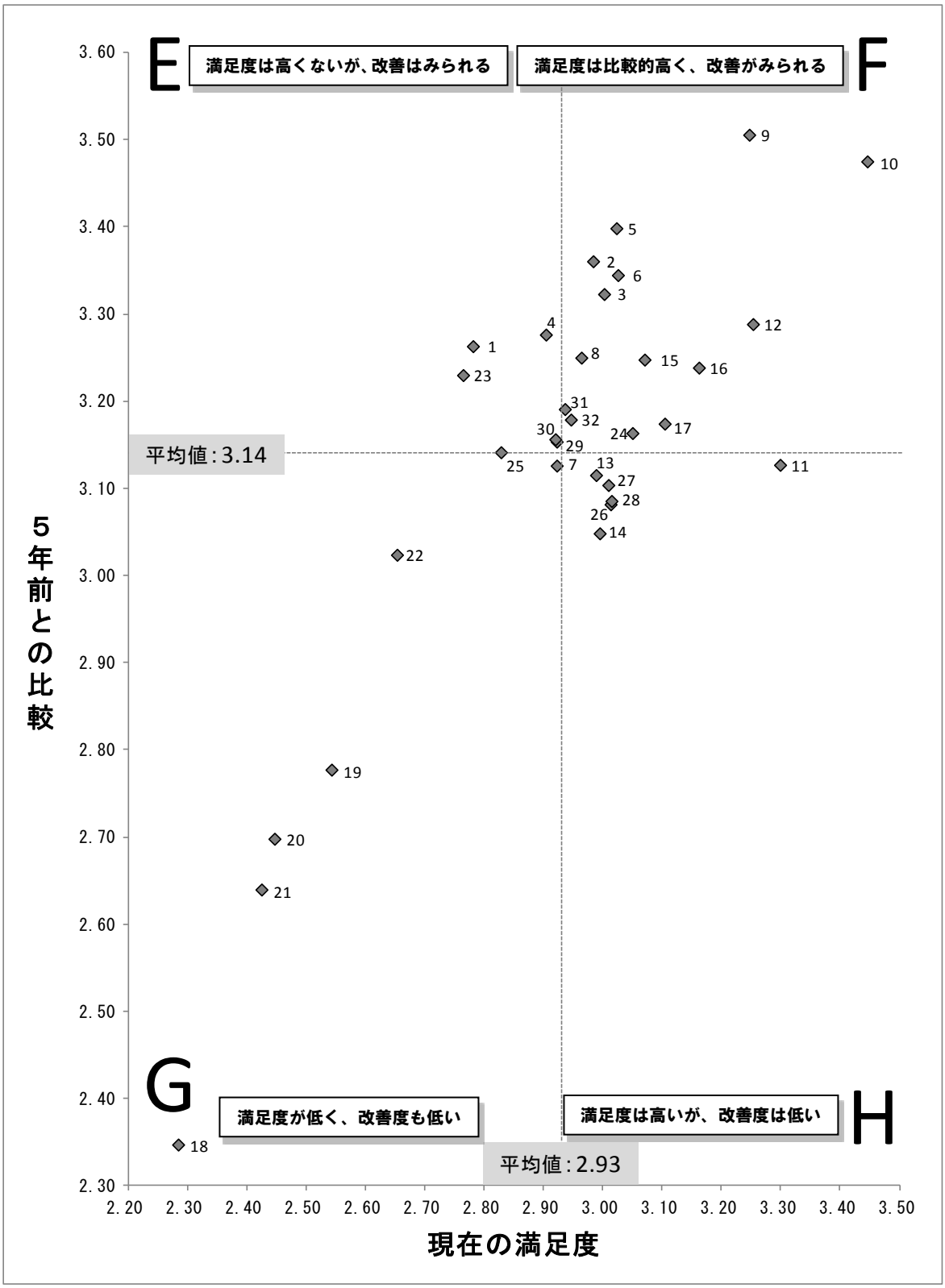
＜散布図内の各エリアの見方＞



＜各エリアに所属する項目一覧＞

エリア	項　目
E 満足度は高くないが、改善はみられる	１. 高齢者･障がい者(児)にとっての暮らしやすさ／４. まち全体の「健康･福祉」について／23. 道路や橋などの交通網／29. 行政への市民参加の推進／30. 行政と市民の協働による取組
F 満足度は比較的高く、改善がみられる	２. 児童に対する福祉や子育てのしやすさ／３. スポーツなど健康づくりの場や機会／５. 生涯学習の推進／６. 文化･芸術活動などの活性化／８. まち全体の「教育･文化」について／９. リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ／10. 町並み･自然･歴史などの美しさ／12. まち全体の「自然や環境への配慮」について／15. 防災／16. 消防･救急／17. まち全体の「安全･安心」について／24. 公園や緑地などの環境／31. 地域コミュニティの活性化／32. まち全体の「協働･コミュニティ」について
G 満足度が低く、改善度も低い	７. 小中学校や幼稚園の教育環境／18. 商業地などのにぎわい／19. 日常的なレジャーや娯楽などの環境／20. 身近な場での働きやすさ／21. まち全体の「産業の活性化」について／22. バスなどの公共交通サービス／25. まち全体の「都市基盤の整備」について
H 満足度は高いが、改善度は低い	11. 騒音･悪臭などの少なさ／13. 交通安全／14. 防犯／26. 人権の尊重と平和意識の高揚／27. 男女共同参画の推進／28. まち全体の「人権」について

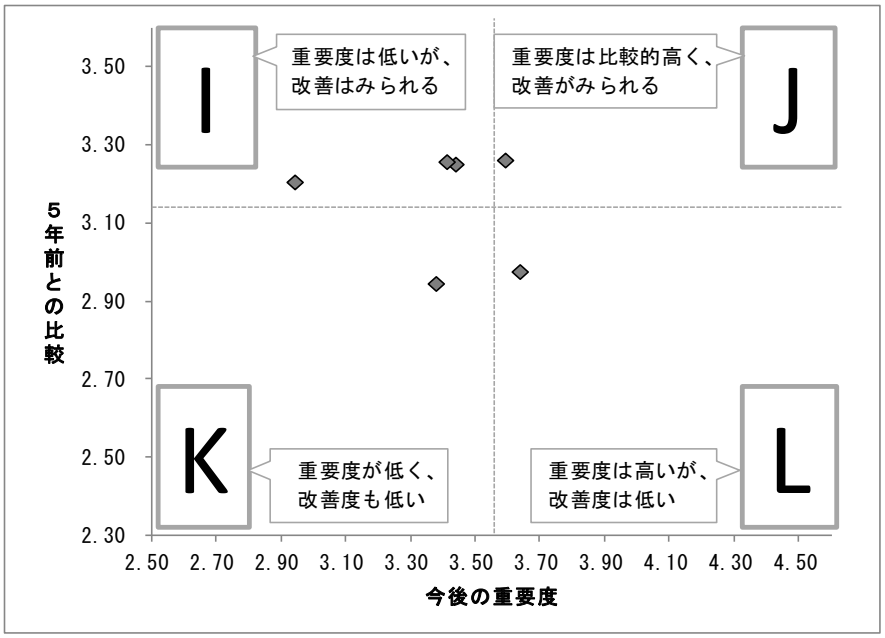
＜「５年前との比較」と「現在の満足度」のクロス分析＞散布図



【施策の優先度の参考】

G → E → H → F

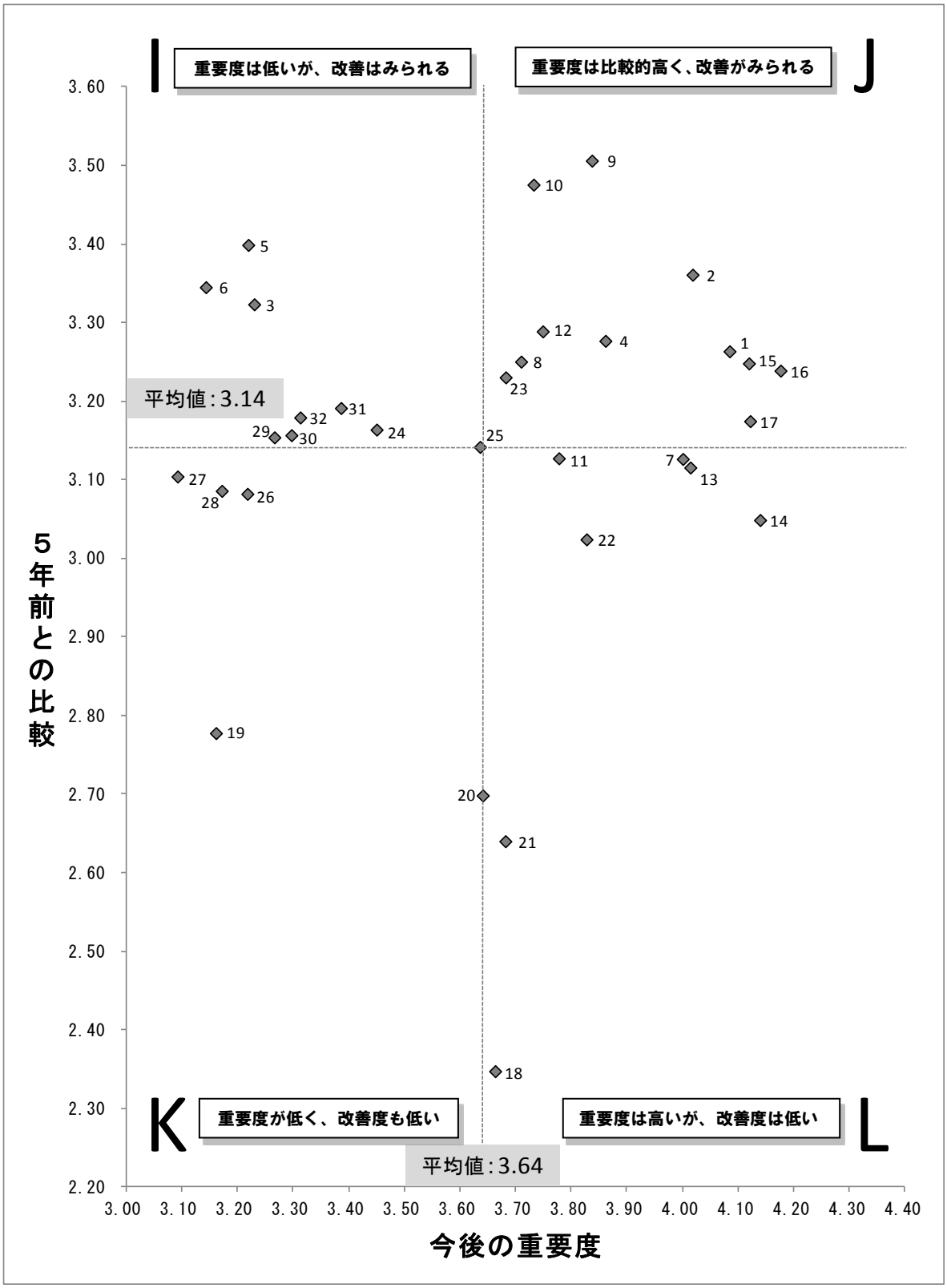
＜散布図内の各エリアの見方＞



＜各エリアに所属する項目一覧＞

エリア	項　目
I 重要度は低いが、改善はみられる	３. スポーツなど健康づくりの場や機会／５. 生涯学習の推進／６. 文化･芸術活動などの活性化／24. 公園や緑地などの環境／29. 行政への市民参加の推進／30. 行政と市民の協働による取組／31. 地域コミュニティの活性化／32. まち全体の「協働・コミュニティ」について
J 重要度は比較的高く、改善がみられる	１. 高齢者･障がい者（児）にとっての暮らしやすさ／２. 児童に対する福祉や子育てのしやすさ／４. まち全体の「健康･福祉」について／８. まち全体の「教育･文化」について／９. リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ／10. 町並み･自然･歴史などの美しさ／12. まち全体の「自然や環境への配慮」について／15. 防災／16. 消防･救急／17. まち全体の「安全･安心」について／23. 道路や橋などの交通網
K 重要度が低く、改善度も低い	19. 日常的なレジャーや娯楽などの環境／25. まち全体の「都市基盤の整備」について／26. 人権の尊重と平和意識の高揚／27. 男女共同参画の推進／28. まち全体の「人権」について
L 重要度は高いが、改善度は低い	７. 小中学校や幼稚園の教育環境／11. 騒音･悪臭などの少なさ／13. 交通安全／14. 防犯／18. 商業地などのにぎわい／20. 身近な場での働きやすさ／21. まち全体の「産業の活性化」について／22. バスなどの公共交通サービス

＜「５年前との比較」と「今後の重要度」のクロス分析＞散布図



【施策の優先度の参考】

L → J → K → I

回答者の属性別データ

① 満足度×男女別

満足度を男女別でみると、男女とも「町並み･自然･歴史などの美しさ」「騒音･悪臭などの少なさ」など「自然・環境」に関する項目が高くなっています。一方で、「商業地などのにぎわい」「産業の活性化」「身近な場での働きやすさ」は男女ともに下位を占めています。

			1 位	2 位	3 位
現在の満足度（5点満点）	男 性	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.44)	騒音･悪臭などの少なさ(3.27)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.23)
		下位	商業地などのにぎわい(2.30)	まち全体の「産業の活性化」について(2.42)	身近な場での働きやすさ(2.44)
	女 性	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.45)	騒音･悪臭などの少なさ(3.32)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.27)
		下位	商業地などのにぎわい(2.26)	まち全体の「産業の活性化」について(2.42)	身近な場での働きやすさ(2.45)
	全 体	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.44)	騒音･悪臭などの少なさ(3.30)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.25)
		下位	商業地などのにぎわい(2.28)	まち全体の「産業の活性化」について(2.42)	身近な場での働きやすさ(2.45)

② 今後の重要度×男女別

今後の重要度を男女別でみると、男女ともに「消防・救急」や「防犯」など「安全・安心」に関する項目が高くなっています。

			1 位	2 位	3 位
今後の重要度（5点満点）	男 性	上位	消防･救急(4.09)	防犯(4.04)	まち全体の「安全･安心」について(4.03)
		下位	男女共同参画の推進(3.05)	文化･芸術活動などの活性化(3.08)	日常的なレジャーや娯楽などの環境(3.10)
	女 性	上位	消防･救急(4.25)	防犯(4.22)	まち全体の「安全･安心」について(4.20)
		下位	男女共同参画の推進(3.13)	まち全体の「人権」について(3.19)	文化･芸術活動などの活性化(3.20)
	全 体	上位	消防･救急(4.18)	防犯(4.14)	まち全体の「安全･安心」について(4.12)
		下位	男女共同参画の推進(3.09)	文化･芸術活動などの活性化(3.14)	日常的なレジャーや娯楽などの環境(3.16)

③ ５年前との比較×男女別

５年前との比較を男女別でみると、「リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ」「町並み･自然･歴史などの美しさ」「生涯学習の推進」が男女ともに上位を占めています。また、男女ともに「商業地などのにぎわい」「産業の活性化」「身近な場での働きやすさ」が下位を占めています。

			１ 位	２ 位	３ 位
５年前との比較（５点満点）	男 性	上位	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.44)	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.40)	生涯学習の推進(3.30)
		下位	商業地などのにぎわい(2.34)	まち全体の「産業の活性化」について(2.60)	身近な場での働きやすさ(2.65)
	女 性	上位	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.56)	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.54)	生涯学習の推進(3.49)
		下位	商業地などのにぎわい(2.35)	まち全体の「産業の活性化」について(2.67)	身近な場での働きやすさ(2.73)
	全 体	上位	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.51)	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.48)	生涯学習の推進(3.40)
		下位	商業地などのにぎわい(2.35)	まち全体の「産業の活性化」について(2.64)	身近な場での働きやすさ(2.70)

④ 満足度×年代別

満足度を年代別でみると、ほとんどの年代で「町並み･自然･歴史などの美しさ」「騒音･悪臭などの少なさ」など「自然・環境」に関する項目が高くなっています。一方で、「商業地などのにぎわい」「産業の活性化」「身近な場での働きやすさ」はほとんどの年代において下位を占めています。

			1 位	2 位	3 位
現在の満足度（5点満点）	19 歳以下	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.45)	まち全体の「自然や環境への配慮」について 消防･救急(3.16)	男女共同参画の推進(3.14)
		下位	商業地などのにぎわい(2.23)	日常的なレジャーや娯楽などの環境(2.25)	まち全体の「産業の活性化」について(2.64)
	20 歳代	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.50)	騒音・悪臭などの少なさ(3.31)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.21)
		下位	商業地などのにぎわい(2.19)	日常的なレジャーや娯楽などの環境(2.31)	まち全体の「産業の活性化」について(2.37)
	30 歳代	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.47)	騒音・悪臭などの少なさ(3.24)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.22)
		下位	商業地などのにぎわい(2.19)	まち全体の「産業の活性化」について(2.36)	身近な場での働きやすさ(2.39)
	40 歳代	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.36)	騒音・悪臭などの少なさ(3.22)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.20)
		下位	商業地などのにぎわい(2.23)	身近な場での働きやすさ(2.27)	まち全体の「産業の活性化」について(2.30)
	50 歳代	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.35)	騒音・悪臭などの少なさ(3.23)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.17)
		下位	商業地などのにぎわい(2.12)	まち全体の「産業の活性化」について(2.30)	身近な場での働きやすさ(2.30)
	60 歳代	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.43)	騒音・悪臭などの少なさ(3.31)	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.31)
		下位	商業地などのにぎわい(2.28)	まち全体の「産業の活性化」について(2.40)	身近な場での働きやすさ(2.48)
	70 歳代	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.49)	騒音・悪臭などの少なさ(3.37)	消防･救急(3.34)
		下位	商業地などのにぎわい(2.47)	まち全体の「産業の活性化」について(2.61)	身近な場での働きやすさ(2.62)
	80 歳以上	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.57)	騒音・悪臭などの少なさ(3.45)	消防･救急(3.45)
		下位	商業地などのにぎわい(2.44)	まち全体の「産業の活性化」について(2.59)	身近な場での働きやすさ(2.60)
	全 体	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.44)	騒音･悪臭などの少なさ(3.30)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.25)
		下位	商業地などのにぎわい(2.28)	まち全体の「産業の活性化」について(2.42)	身近な場での働きやすさ(2.45)

⑤ 今後の重要度×年代別

今後の重要度を年代別でみると、ほとんどの年代で「消防・救急」や「防犯」、「防災」など「安全・安心」に関する項目が高い傾向にあります。また、「20 歳代」「30 歳代」では「児童に対する福祉や子育てのしやすさ」が上位に位置しています。

			1 位	2 位	3 位
今後の重要度（5点満点）	19 歳以下	上位	防災（4.36） まち全体の「安全・安心」について（4.36）	防犯（4.32）	交通安全（4.26）
		下位	まち全体の「協働・コミュニティ」について（3.05）	まち全体の「人権」について（3.14） 行政への市民参加の推進（3.14） 行政と市民の協働による取組（3.14）	人権の尊重と平和意識の高揚（3.19）
	20 歳代	上位	児童に対する福祉や子育てのしやすさ（4.32）	消防・救急（4.25）	高齢者・障がい者（児）にとっての暮らしやすさ（4.22） 防犯（4.22）
		下位	人権の尊重と平和意識の高揚（3.08）	男女共同参画の推進（3.10）	まち全体の「人権」について（3.14）
	30 歳代	上位	児童に対する福祉や子育てのしやすさ（4.23）	小中学校や幼稚園の教育環境（4.20）	防犯（4.10）
		下位	文化・芸術活動などの活性化（2.95）	男女共同参画の推進（3.04） まち全体の「人権」について（3.04）	行政への市民参加の推進（3.05） 行政と市民の協働による取組（3.05）
	40 歳代	上位	防犯（4.29）	まち全体の「安全・安心」について（4.25）	消防・救急（4.25）
		下位	男女共同参画の推進（2.95）	人権の尊重と平和意識の高揚（3.02）	まち全体の「人権」について（3.03）
	50 歳代	上位	消防・救急（4.28）	高齢者・障がい者（児）にとっての暮らしやすさ（4.20）	まち全体の「安全・安心」について（4.18）
		下位	男女共同参画の推進（3.00）	文化・芸術活動などの活性化（3.04）	日常的なレジャーや娯楽などの環境（3.07）
	60 歳代	上位	消防・救急（4.12）	高齢者・障がい者（児）にとっての暮らしやすさ（4.10）	まち全体の「安全・安心」について（4.08）
		下位	日常的なレジャーや娯楽などの環境（3.03）	男女共同参画の推進（3.08）	文化・芸術活動などの活性化（3.11）
	70 歳代	上位	消防・救急（4.11）	防災（4.07）	まち全体の「安全・安心」について（4.06）
		下位	日常的なレジャーや娯楽などの環境（3.03）	男女共同参画の推進（3.26）	文化・芸術活動などの活性化（3.27）
	80 歳以上	上位	消防・救急（4.28）	防犯（4.13）	まち全体の「安全・安心」について（4.12）
		下位	日常的なレジャーや娯楽などの環境（2.87）	スポーツなど健康づくりの場や機会（3.19）	文化・芸術活動などの活性化（3.24）
	全 体	上位	消防・救急（4.18）	防犯（4.14）	まち全体の「安全・安心」について（4.12）
		下位	男女共同参画の推進（3.09）	文化・芸術活動などの活性化（3.14）	日常的なレジャーや娯楽などの環境（3.16）

⑥ ５年前との比較×年代別

５年前との比較を年代別でみると、40 歳代以上では「町並み･自然･歴史などの美しさ」や「リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ」など「自然・環境」に関する項目が上位を占めています。30 歳代以下では「高齢者･障がい者（児）にとっての暮らしやすさ」など「健康・福祉」にする項目も上位に位置しています。反対にすべての年代で「商業地などのにぎわい」が最下位となっています。

			１ 位	２ 位	３ 位
５年前との比較（５点満点）	19 歳以下	上位	高齢者･障がい者（児）にとっての暮らしやすさ（3.44）	道路や橋などの交通網（3.43）	まち全体の「健康･福祉」について（3.33）
		下位	商業地などのにぎわい（2.48）	日常的なレジャーや娯楽などの環境（2.80）	防犯（2.90）
	20 歳代	上位	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ（3.57）	高齢者･障がい者（児）にとっての暮らしやすさ（3.53）	市全体として（3.34）
		下位	商業地などのにぎわい（2.50）	まち全体の「産業の活性化」について（2.67）	日常的なレジャーや娯楽などの環境（2.70）
	30 歳代	上位	児童に対する福祉や子育てのしやすさ（3.65）	高齢者･障がい者（児）にとっての暮らしやすさ（3.57）	町並み･自然･歴史などの美しさ（3.46）
		下位	商業地などのにぎわい（2.38）	まち全体の「産業の活性化」について（2.70）	身近な場での働きやすさ（2.72）
	40 歳代	上位	生涯学習の推進（3.37） 町並み･自然･歴史などの美しさ（3.37）	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ（3.36）	高齢者･障がい者（児）にとっての暮らしやすさ（3.31）
		下位	商業地などのにぎわい（2.37）	まち全体の「産業の活性化」について（2.56）	身近な場での働きやすさ（2.59）
	50 歳代	上位	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ（3.48）	町並み･自然･歴史などの美しさ（3.42）	児童に対する福祉や子育てのしやすさ（3.33）
		下位	商業地などのにぎわい（2.13）	まち全体の「産業の活性化」について（2.48）	身近な場での働きやすさ（2.56）
	60 歳代	上位	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ（3.53）	町並み･自然･歴史などの美しさ（3.52）	生涯学習の推進（3.41）
		下位	商業地などのにぎわい（2.29）	まち全体の「産業の活性化」について（2.58）	身近な場での働きやすさ（2.70）
	70 歳代	上位	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ（3.58）	生涯学習の推進（3.57）	町並み･自然･歴史などの美しさ（3.53）
		下位	商業地などのにぎわい（2.49）	まち全体の「産業の活性化」について（2.75）	身近な場での働きやすさ（2.81）
	80 歳以上	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ（3.83）	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ（3.71）	まち全体の「自然や環境への配慮」について（3.71）
		下位	商業地などのにぎわい（2.42）	身近な場での働きやすさ（2.67）	まち全体の「産業の活性化」について（2.87）
	全 体	上位	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ（3.51）	町並み･自然･歴史などの美しさ（3.48）	生涯学習の推進（3.40）
		下位	商業地などのにぎわい（2.35）	まち全体の「産業の活性化」について（2.64）	身近な場での働きやすさ（2.70）

⑦ 満足度×小学校区別

満足度を小学校区別でみると、ほとんどの小学校区で「町並み･自然･歴史などの美しさ」や「騒音･悪臭などの少なさ」「リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ」などの「自然・環境」に関する項目の満足度が高くなっています。反対に「商業地などのにぎわい」「身近な場での働きやすさ」など「産業」に関する項目の満足度は全体的に低くなっています。また、「天野小学校区」「楠小学校区」「美加の台小学校区」では、「バスなどの公共交通サービス」に対する満足度も低くなっています。

			1 位	2 位	3 位
現在の満足度（5点満点）	長野小学校区	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.37)	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.25)	消防･救急(3.16)
		下位	商業地などのにぎわい(2.22)	まち全体の「産業の活性化」について(2.43)	日常的なレジャーや娯楽などの環境(2.46)
	小山田小学校区	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.47)	消防･救急(3.26)	公園や緑地などの環境(3.25)
		下位	商業地などのにぎわい(2.35)	身近な場での働きやすさ(2.43)	まち全体の「産業の活性化」について(2.56)
	天野小学校区	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.43)	騒音･悪臭などの少なさ(3.42)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.39)
		下位	商業地などのにぎわい(2.32)	バスなどの公共交通サービス(2.35)	身近な場での働きやすさ(2.41)
	高向小学校区	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.34)	騒音･悪臭などの少なさ(3.27)	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.19)
		下位	身近な場での働きやすさ(2.40)	商業地などのにぎわい(2.46)	まち全体の「産業の活性化」について(2.50)
	三日市小学校区	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.53)	騒音･悪臭などの少なさ(3.25)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.22)
		下位	商業地などのにぎわい(2.21)	まち全体の「産業の活性化」について(2.40)	身近な場での働きやすさ(2.43)
	天見小学校区	上位	交通安全(3.35)	防犯(3.29) まち全体の「安全･安心」について(3.29)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.29)
		下位	商業地などのにぎわい(2.36)	まち全体の「産業の活性化」について(2.40)	日常的なレジャーや娯楽などの環境(2.50) 身近な場での働きやすさ(2.50)
	川上小学校区	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.54)	騒音･悪臭などの少なさ(3.42)	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.36)
		下位	商業地などのにぎわい(2.20)	まち全体の「産業の活性化」について(2.42)	身近な場での働きやすさ(2.44)
	千代田小学校区	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.35)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.25)	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.21)
		下位	商業地などのにぎわい(2.41)	日常的なレジャーや娯楽などの環境(2.47)	身近な場での働きやすさ(2.48)
	楠小学校区	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.24)	消防･救急(3.13)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.09)
		下位	商業地などのにぎわい(2.40)	まち全体の「産業の活性化」について(2.47)	バスなどの公共交通サービス(2.50)
	加賀田小学校区	上位	騒音･悪臭などの少なさ(3.51)	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.39)	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.30)
		下位	商業地などのにぎわい(2.29)	まち全体の「産業の活性化」について(2.40)	身近な場での働きやすさ(2.43)
	石仏小学校区	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.41)	騒音･悪臭などの少なさ(3.40)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.21)
		下位	商業地などのにぎわい(2.26)	まち全体の「産業の活性化」について(2.40)	身近な場での働きやすさ(2.49)
	美加の台小学校区	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.61)	騒音･悪臭などの少なさ(3.57)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.39)
		下位	商業地などのにぎわい(1.92)	バスなどの公共交通サービス(2.22)	まち全体の「産業の活性化」について(2.22)
	南花台小学校区	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.70)	騒音･悪臭などの少なさ(3.57)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.45)
		下位	まち全体の「産業の活性化」について(2.33)	商業地などのにぎわい(2.37)	身近な場での働きやすさ(2.39)
	全 体	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.44)	騒音･悪臭などの少なさ(3.30)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.25)
		下位	商業地などのにぎわい(2.28)	まち全体の「産業の活性化」について(2.42)	身近な場での働きやすさ(2.45)

⑧ 今後の重要度×小学校区別

今後の重要度を小学校区別でみると、ほとんど小学校区で「防犯」や「防災」「消防・救急」などの「安全・安心」に関する項目が高くなっています。

			1 位	2 位	3 位
今後の重要度（5点満点）	長野小学校区	上位	防犯（4.16）	消防・救急（4.12）	交通安全（4.10）
		下位	男女共同参画の推進（3.11）	文化・芸術活動などの活性化（3.13）	人権の尊重と平和意識の高揚（3.21）
	小山田小学校区	上位	防犯（4.28） 消防・救急（4.28）	まち全体の「安全・安心」について（4.27）	防災（4.26）
		下位	文化・芸術活動などの活性化（3.18）	日常的なレジャーや娯楽などの環境（3.18）	人権の尊重と平和意識の高揚（3.19）
	天野小学校区	上位	児童に対する福祉や子育てのしやすさ（4.36） 消防・救急（4.36）	まち全体の「安全・安心」について（4.31）	防災（4.30）
		下位	日常的なレジャーや娯楽などの環境（2.86）	男女共同参画の推進（3.11）	文化・芸術活動などの活性化（3.17）
	高向小学校区	上位	防災（4.14）	消防・救急（4.13）	高齢者・障がい者（児）にとっての暮らしやすさ（4.12）
		下位	文化・芸術活動などの活性化（2.87）	行政への市民参加の推進（3.06）	男女共同参画の推進（3.12） 生涯学習の推進（3.12）
	三日市小学校区	上位	防犯（4.20）	まち全体の「安全・安心」について（4.19）	消防・救急（4.14）
		下位	男女共同参画の推進（2.99）	行政への市民参加の推進（3.11）	人権の尊重と平和意識の高揚（3.11）
	天見小学校区	上位	小中学校や幼稚園の教育環境（4.43）	消防・救急（4.38）	高齢者・障がい者（児）にとっての暮らしやすさ（4.14）
		下位	日常的なレジャーや娯楽などの環境（2.85）	スポーツなど健康づくりの場や機会（2.86）	男女共同参画の推進（3.00）
	川上小学校区	上位	高齢者・障がい者（児）にとっての暮らしやすさ（4.17） 防犯（4.17）	消防・救急（4.15）	まち全体の「安全・安心」について（4.12）
		下位	男女共同参画の推進（3.05）	まち全体の「人権」について（3.07）	人権の尊重と平和意識の高揚（3.12）
	千代田小学校区	上位	消防・救急（4.19）	防犯（4.15）	防災（4.11）
		下位	日常的なレジャーや娯楽などの環境（2.99）	男女共同参画の推進（3.11）	まち全体の「人権」について（3.16）
	楠小学校区	上位	消防・救急（4.31）	まち全体の「安全・安心」について（4.23）	防災（4.22）
		下位	日常的なレジャーや娯楽などの環境（3.05）	まち全体の「人権」について（3.15）	文化・芸術活動などの活性化（3.16）
	加賀田小学校区	上位	まち全体の「安全・安心」について（4.28）	防災（4.25）	消防・救急（4.22）
		下位	男女共同参画の推進（3.02）	文化・芸術活動などの活性化（3.11）	まち全体の「人権」について（3.19）
	石仏小学校区	上位	高齢者・障がい者（児）にとっての暮らしやすさ（4.11）	児童に対する福祉や子育てのしやすさ（3.89）	町並み・自然・歴史などの美しさ（3.85）
		下位	生涯学習の推進（3.05）	まち全体の「人権」について（3.06）	男女共同参画の推進（3.06）
	美加の台小学校区	上位	高齢者・障がい者（児）にとっての暮らしやすさ（4.17）	防犯（4.09）	消防・救急（4.06）
		下位	まち全体の「人権」について（3.02）	人権の尊重と平和意識の高揚（3.08） 男女共同参画の推進（3.08）	スポーツなど健康づくりの場や機会（3.10）
	南花台小学校区	上位	消防・救急（4.32）	まち全体の「安全・安心」について（4.18）	防災（4.17）
		下位	文化・芸術活動などの活性化（3.05）	日常的なレジャーや娯楽などの環境（3.13）	男女共同参画の推進（3.16）
	全 体	上位	消防・救急（4.18）	防犯（4.14）	まち全体の「安全・安心」について（4.12）
		下位	男女共同参画の推進（3.09）	文化・芸術活動などの活性化（3.14）	日常的なレジャーや娯楽などの環境（3.16）

⑨ ５年前との比較×小学校区別

５年前との比較を小学校区別でみると、「高向小学校区」「三日市小学校区」「加賀田小学校区」を除くすべての小学校区で「リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ」が上位に位置しており、すべての小学校区で「商業地などのにぎわい」が最下位となっています。

			１ 位	２ 位	３ 位
５年前との比較（５点満点）	長野小学校区	上位	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.50)	生涯学習の推進(3.40)	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.39)
		下位	商業地などのにぎわい(2.17)	まち全体の「産業の活性化」について(2.62)	身近な場での働きやすさ(2.73)
	小山田小学校区	上位	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.49)	児童に対する福祉や子育てのしやすさ(3.48)	生涯学習の推進(3.46)
		下位	商業地などのにぎわい(2.49)	身近な場での働きやすさ(2.70)	まち全体の「産業の活性化」について(2.80)
	天野小学校区	上位	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.66)	文化･芸術活動などの活性化(3.59)	市全体として(3.57)
		下位	商業地などのにぎわい(2.31)	まち全体の「産業の活性化」について(2.64)	身近な場での働きやすさ(2.76)
	高向小学校区	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.54)	生涯学習の推進(3.51)	文化･芸術活動などの活性化(3.50)
		下位	商業地などのにぎわい(2.52)	まち全体の「産業の活性化」について(2.70)	身近な場での働きやすさ(2.76)
	三日市小学校区	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.61)	高齢者･障がい者（児）にとっての暮らしやすさ(3.57)	まち全体の「自然や環境への配慮」について(3.45)
		下位	商業地などのにぎわい(2.32)	まち全体の「産業の活性化」について(2.61)	身近な場での働きやすさ(2.63)
	天見小学校区	上位	道路や橋などの交通網(3.53)	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.43) 防災(3.43)	消防･救急(3.40) まち全体の「安全･安心」について(3.40)
		下位	商業地などのにぎわい(2.14)	日常的なレジャーや娯楽などの環境(2.54)	小中学校や幼稚園の教育環境(2.57)
	川上小学校区	上位	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.67)	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.53)	生涯学習の推進(3.47)
		下位	商業地などのにぎわい(2.27)	まち全体の「産業の活性化」について(2.72)	日常的なレジャーや娯楽などの環境(2.74)
	千代田小学校区	上位	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.56)	児童に対する福祉や子育てのしやすさ(3.47)	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.46)
		下位	商業地などのにぎわい(2.49)	まち全体の「産業の活性化」について(2.73)	身近な場での働きやすさ(2.75)
	楠小学校区	上位	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.39)	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.30)	児童に対する福祉や子育てのしやすさ(3.21)
		下位	商業地などのにぎわい(2.48)	まち全体の「産業の活性化」について(2.72)	身近な場での働きやすさ(2.72)
	加賀田小学校区	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.54)	生涯学習の推進(3.53)	文化･芸術活動などの活性化(3.45)
		下位	商業地などのにぎわい(2.40)	まち全体の「産業の活性化」について(2.55)	身近な場での働きやすさ(2.64)
	石仏小学校区	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.49)	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.47)	生涯学習の推進(3.34)
		下位	商業地などのにぎわい(2.12)	まち全体の「産業の活性化」について(2.67)	身近な場での働きやすさ(2.68)
	美加の台小学校区	上位	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.44)	生涯学習の推進(3.44)	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.38)
		下位	商業地などのにぎわい(2.06)	バスなどの公共交通サービス(2.31)	まち全体の「産業の活性化」について(2.32)
	南花台小学校区	上位	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.65)	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.60)	児童に対する福祉や子育てのしやすさ(3.54)
		下位	商業地などのにぎわい(2.55)	まち全体の「産業の活性化」について(2.60)	身近な場での働きやすさ(2.68)
	全 体	上位	リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ(3.51)	町並み･自然･歴史などの美しさ(3.48)	生涯学習の推進(3.40)
		下位	商業地などのにぎわい(2.35)	まち全体の「産業の活性化」について(2.64)	身近な場での働きやすさ(2.70)

問６－２　問６－１で、「４．やや不満」「５．非常に不満」と答えられた方におたずねします。特に不満を感じられている項目の番号を２つまで選んで、それぞれについて不満を感じる理由を記入してください。（FA）

※回答数が多いもの、主なものを抜粋

特に不満を感じている項目についてみると、「商業地などのにぎわい」が最も多く、次いで「バスなどの公共交通サービス」「道路や橋などの交通網」となっています。

１．高齢者･障がい者（児）にとっての暮らしやすさ　（111 件）

主な意見	類似回答数
買物が不便、買い物する店がない、徒歩で行ける範囲に買い物する店がない	14
坂が多くて不便、坂が多くて辛い	10
交通手段が限られている、交通の便が悪い	8

２．児童に対する福祉や子育てのしやすさ　（48 件）

主な意見	類似回答数
医療費助成を延長してほしい、医療費助成制度の他市と比べての遅れ	12
市立の幼稚園が少ない、公立の保育園がない	8
学童が3年までしかない	2

３．スポーツなど健康づくりの場や機会　（45 件）

主な意見	類似回答数
スポーツ施設、健康づくりの施設が少ない	4
コミュニティバスの運行などなく、足がない、交通が不便	3
子どもがスポーツできる所が少ない、ボール遊びができない	2

４．１～３を含めたまち全体の「健康･福祉」について　（33 件）

主な意見	類似回答数
高齢者･障がい者にやさしいまちではない、住みにくい	3
バスなどの交通サービスが少ない、コミュニティバスの運行などなく、足がない	2

５．生涯学習の推進　（14 件）

主な意見	類似回答数
どこで何をしているのか見えない。もっとPRが必要	3

６．文化･芸術活動などの活性化　（15 件）

主な意見	類似回答数
イベントがワンパターンでは？（継続も大切だが物足りない）	1

７．小中学校や幼稚園の教育環境　（59 件）

主な意見	類似回答数
教職員の質、指導力	5
市立幼稚園が少ない	4

８．５～７を含めたまち全体の「教育･文化」について　（９件）

主な意見	類似回答数
小中学校や幼稚園の教育環境が整っていない	1

９．リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ　（18 件）

主な意見	類似回答数
以前住んでいた町はもっと細かく分別していた。もう少し分別しても良いのでは	1

10．町並み･自然･歴史などの美しさ　（16 件）

主な意見	類似回答数
空家が目立ち、防犯上良くなく、町並みも悪くなる	1

11．騒音･悪臭などの少なさ　（58 件）

主な意見	類似回答数
バイク、車の騒音	12
田畑の野焼きに対する煙害、臭い	7
ゴミの出し方が悪くカラスが多い、生ゴミ(カラス)悪臭など	3

12．９～11 を含めたまち全体の「自然や環境への配慮」について　（９件）

主な意見	類似回答数
ゴミの分別が多い割に収集が少ない	1

13．交通安全　（80 件）

主な意見	類似回答数
歩道のない道が多い、歩道が整備されていない	6
通学路が暗過ぎる、通学路の歩道が整備されていない、通学路の危険性の判断が遅い	5
道が狭い	4

14．防犯　（44 件）

主な意見	類似回答数
車上荒らしや空き巣など発生している	8
犯罪や事件が増えた	4
夜になると暗い道が多い、街灯が少なく夜道が危険	4
警察の巡回が少ないと思う	2
子供達が安全に遊べる場所が少なくなっている	2
自転車の窃盗が多い	2
駐輪場に停めている自転車が何度もサドルを盗られたりバイクのミラーやウインカーが盗られたりなど	2

15．防災　（19 件）

主な意見	類似回答数
災害時の対応対策などが明確でない。住民と一体となった訓練は	2
非常時の避難場所が遠い(近くにない)	2
防災に対する意気込みが薄い、取り組んでいるのかわからない	2

16. 消防･救急　（21 件）

主な意見	類似回答数
救急患者を受け入れる病院がない、緊急時に受け入れできる病院がない	7
救急車が到着時間が長い	6

17. 13～16 を含めたまち全体の「安全･安心」について　（９件）

主な意見	類似回答数
街灯が少ない、暗い	1

18. 商業地などのにぎわい　（341 件）

主な意見	類似回答数
河内長野駅前商店街に活気がない、シャッターの閉まった店が多すぎる	41
商店街は、ほとんどシャッターが閉まっている、寂れている	35
大型商業施設がない、商業施設が少ない	25

19. 日常的なレジャーや娯楽などの環境　（85 件）

主な意見	類似回答数
娯楽やレジャーの場、施設などがない、遊べるところが少ない	17
大型ショッピングモールや商業施設が少ない	11
大きな公園がない、公園が少ない	4

20. 身近な場での働きやすさ　（91 件）

主な意見	類似回答数
働ける場所、求人が少ない、身近な場で働く仕事が少ない	29
若い人の働ける場が少ない	7
高齢者の働ける場、仕事が少ない、退職後（60歳～65歳以上）の働き場所が少ない	3

21. 18～20 を含めたまち全体の「産業の活性化」について　（31 件）

主な意見	類似回答数
企業誘致により産業の活性を図る必要がある	3
商業施設がない	2

22. バスなどの公共交通サービス　（248 件）

主な意見	類似回答数
バスの便、路線が少ない	54
電車とバスの連携がうまくいっていない、バスと電車の乗継が悪い	15
バスの運賃が高い、バスなどの料金が他地区と比べ高額	11

23. 道路や橋などの交通網　（128 件）

主な意見	類似回答数
高速道路がない、高速道路の入口が遠い、高速道路へのアクセスに時間かかる	25
道路が狭い、道幅が狭く危険	13
歩道が狭い、歩道がなく危険（ベビーカーでは通れない、幼児･子供･お年寄りは不便）	10

24. 公園や緑地などの環境　（73 件）

主な意見	類似回答数
草が伸び放題、雑草が多い	6
公園が少ない、公園がない	6
子どもが安心して遊べる公園が少ない	5

25. 22～24 を含めたまち全体の「都市基盤の整備」について　（20 件）

主な意見	類似回答数
地域全体の区画整理進めてほしい	1

26. 人権の尊重と平和意識の高揚　（３件）

主な意見	類似回答数
平和や憲法についての呼びかけや催しがあまりない	1

28. 26～27 を含めたまち全体の「人権」について　（１件）

主な意見	類似回答数
隣近所にどんな人が住んでいるのかわからない	1

29.行政への市民参加の推進　（11 件）

主な意見	類似回答数
行政への市民参加の推進が少ない	1

30.行政と市民の協働による取組　（９件）

主な意見	類似回答数
行政の一方通行のように思う	1

31.地域コミュニティの活性化　（15 件）

主な意見	類似回答数
地域住民同士の触れ合いの場、集まれる場所がない	2

32. 29～31 を含めたまち全体の「協働・コミュニティ」について　（２件）

主な意見	類似回答数
市行政と地域住民の意識がうまくいっていない	1

33. 市全体として　（12 件）

主な意見	類似回答数
税金が高過ぎる、高い	2

問６－３　問６－１以外に、「不満」を感じる項目があればお書きください。（FA）

※主なものを抜粋

問６－１以外に不満を感じる項目についてみると、「交通・都市基盤」に対する回答が最も多く、次いで「行財政」「産業」が多くなっています。

【健康・福祉について】　（30 件）

主な意見
主要地へのバスなどの運行、増加してほしい
デイサービスばかりでなく、健康な人達のためデイハウスが必要だと思う
子育て世代への補助などがもっとほしい
自主性の低い50代・60代が参加しやすい場を提供してほしい

【医療】　（10 件）

主な意見
河内長野はなぜ乳児医療対象が小学3年生までなのか。他の市と比べ不公平感がある
医療機関が少ない
夜間診療、休日診療が充実していない
不妊治療できる病院が少ない

【教育・文化】　（29 件）

主な意見
図書館・図書が不十分
100人以上集まれる場所がない
小中学校に対し、快適に勉強できるようにクーラーの設置をしてほしい
市立幼稚園、保育所が1つずつしかない。民間が撤退した場合が不安
子どもを地域や学校に任せるのではなく文句は言うが義務（家庭教育など）を果たさず権利の主張をするのはおかしい

【自然・環境】　（22 件）

主な意見
「魅力ある環境」があるが、それをもっと押し出しても良い
庭でゴミ焼きか野焼きの煙と臭い、粗大ゴミの市以外のリサイクル業者の廃品持ち去りがある
あたり一帯（楠小～千代田駅～寺ヶ池公園）の臭いが息苦しく、有害な化学物質を含む排気が原因かと思われ、窓を閉めるなどで我慢している
ゴミ置き場を各自の家の前に出すようにしてほしい。高齢者が重いゴミを出すのは大変。ゴミ置き場の清掃もしなくてよくなる。ゴミのトラブルもなくなる（シールの貼り忘れなど）
他市のようにリサイクルセンターを設置して高齢者の働き口をつくってはどうか

【安全・安心】　（27 件）

主な意見
街灯が少なく暗いところがある。歩くのが怖いので改善してほしい
極端に道が狭い所があり、子連れで通れない
赤信号で渡る・スピードを出しているなど、中高生、若者に交通ルールを教えてほしい
救急車はすぐに来てくれるが、搬送してくれる病院が近くにない

【商業】　（43 件）

主な意見
食料以外の日用品を買いそろえたい時、大きな施設がないので他市まで行かなくてはならず不便
レジャーや買い物を市内で充実してほしい
知り合いが来ても泊まれる所がない
住宅地の中での商業地の撤退
外環状線にたくさん店があるが、学生は行きにくい。外環の活気を河内長野駅に

【農業】　（２件）

主な意見
耕作放棄地を活用する。農業法人を誘致したりはできないか
農業支援をしてほしい。ボランティアでは限られるので、市街地の主婦や高齢者などに短時間労働での働き手を市の援助で考える事はできないか（時給または農産物を提供）

【観光】　（４件）

主な意見
もっと観光の目玉となるものを誘致すべき
歴史ある寺があっても観光バスの駐車場が少ない大型の食事処がない

【雇用】　（３件）

主な意見
働く所が少なく賃金が安過ぎる。若者が希望を持てない町になってきている
高校生がアルバイトできる所が少ない
若年層の働ける場所が少ない

【交通・都市基盤】　（116 件）

主な意見
バスとタクシーのロータリーか？市民の車はどこで待機すればいいのか。スペースが無さ過ぎ
梅田に行くまで時間が掛かる
大阪市内・名神・中国道・阪和道などに出るのに時間が掛かり過ぎる
終電・終バスの時間が早い
電車代が高過ぎる。大阪市まで片道500円以上はありえない
舗装の凸凹を直してほしい
雨の日の通勤時間帯、通学時間帯の大渋滞
ぱらぱらとある住宅地。間にある耕作放棄地。あちこちにある市役所、図書館、ホール、公民館、何を目指しているのか不明
マンションは建つが児童は遊ぶ場所がない

【協働・コミュニティ】　（７件）

主な意見
広報でしか市の取り組みがわからない。若い人は広報を見ないため、市のホームページで公開するだけでなく、携帯・スマホに発信できるようにしてほしい
行政と市民の協働による取り組みが少ない
市民の声を市政へ反映する事が少ない
近所付き合い少ない。子どもが少ない。活気無い

【人口】　（７件）

主な意見
若者が昔の開発していった地域から少しずつ減少していっている。活気がなくなってる
この町に人が集まるよう何か考えてほしい
人口減が気になる。私の住んでいる町も老人が増え、子どもが少ない。子どもの声が聞こえない。淋し過ぎる
過去5万都市を目指すとの事であったが人口減少している
河内長野市をアピールする取り組みに斬新なアイデアがない
町内を見ても高齢者ばかり

【行財政】　（59 件）

主な意見
河内長野市がこれから先、何十年後、どういうまちづくりをしたいのかわからない
議員、職員が多すぎる
行政に市民の意見を取り入れているか。最近は行政主導で決めていないか
健全な市財政を確保してほしい
市役所の土・日のサービスがない

問６－４　問６－１以外に、特に重要と思われる事柄があれば、できるだけ具体的にお書きください。（FA）

※回答数が多いものを抜粋

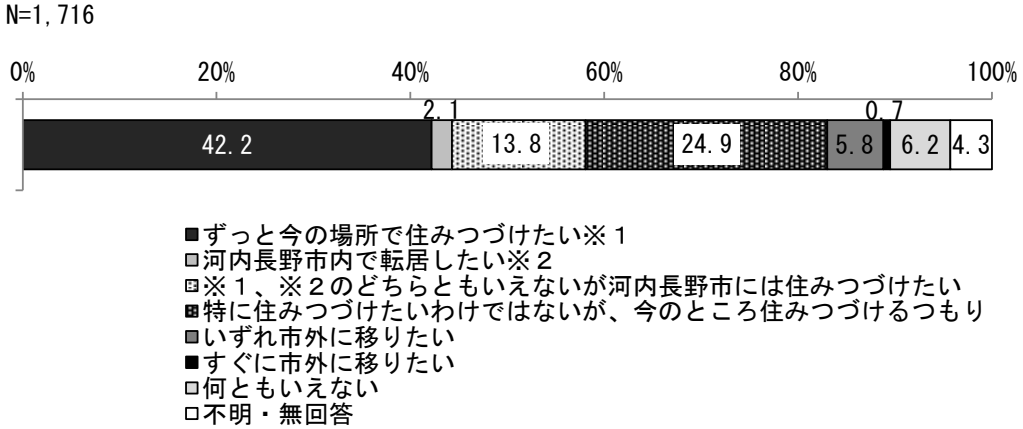
問６－１以外に、特に重要と思われる事柄についてみると、「道路・歩道の整備」が最も多く、次いで「若者を河内長野に呼び込む、若者が定住しやすいまち」「企業誘致」となっています。

自由回答	類似回答数
道路・歩道の整備	19
若者を河内長野に呼び込む、若者が定住しやすいまち	12
企業誘致	8
高速道路	7
安心・安全	7
駅周辺の活性化	6
子どもを育てやすいまちづくり、子育て支援	6
福祉、福祉サービスの充実	6
防犯	6

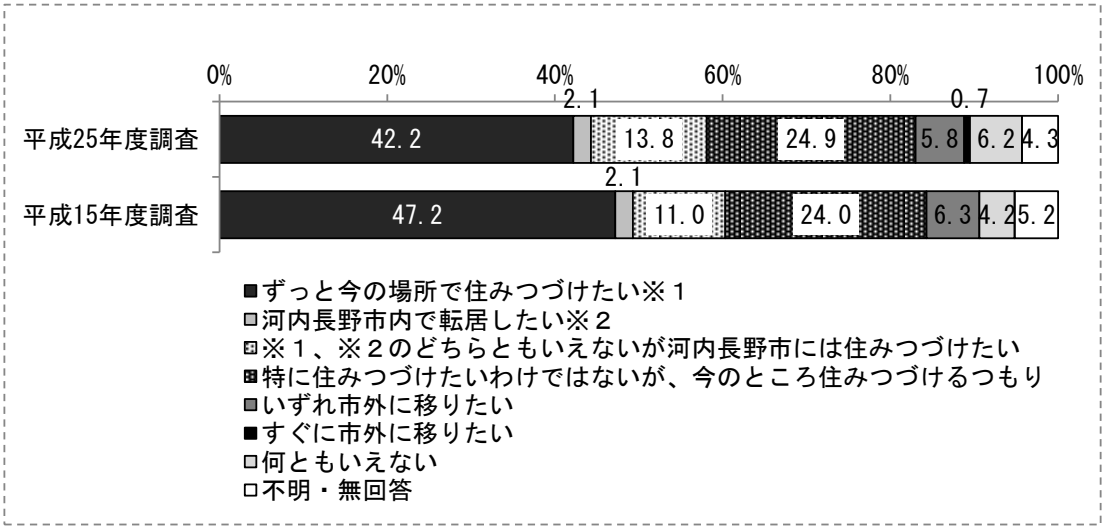
4. 河内長野市への定住意向について

問７　あなたは、これからも河内長野市に住みつづけたいと思いますか？あてはまる番号１つに○をつけてください。(SA)

これからも河内長野市に住みつづけたいと思うかについてみると、「ずっと今の場所で住みつづけたい」が 42.2%で最も高く、次いで「特に住みつづけたいわけではないが、今のところ住み続けるつもり」が 24.9%となっています。



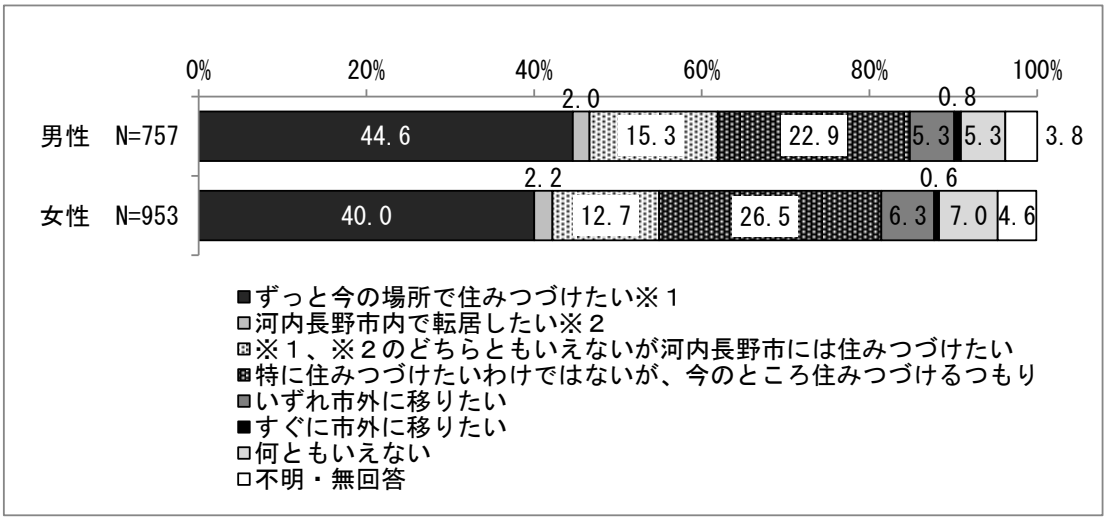
◆前回調査との比較〔問７〕



※平成 15 年度調査の選択肢　市外に移りたい

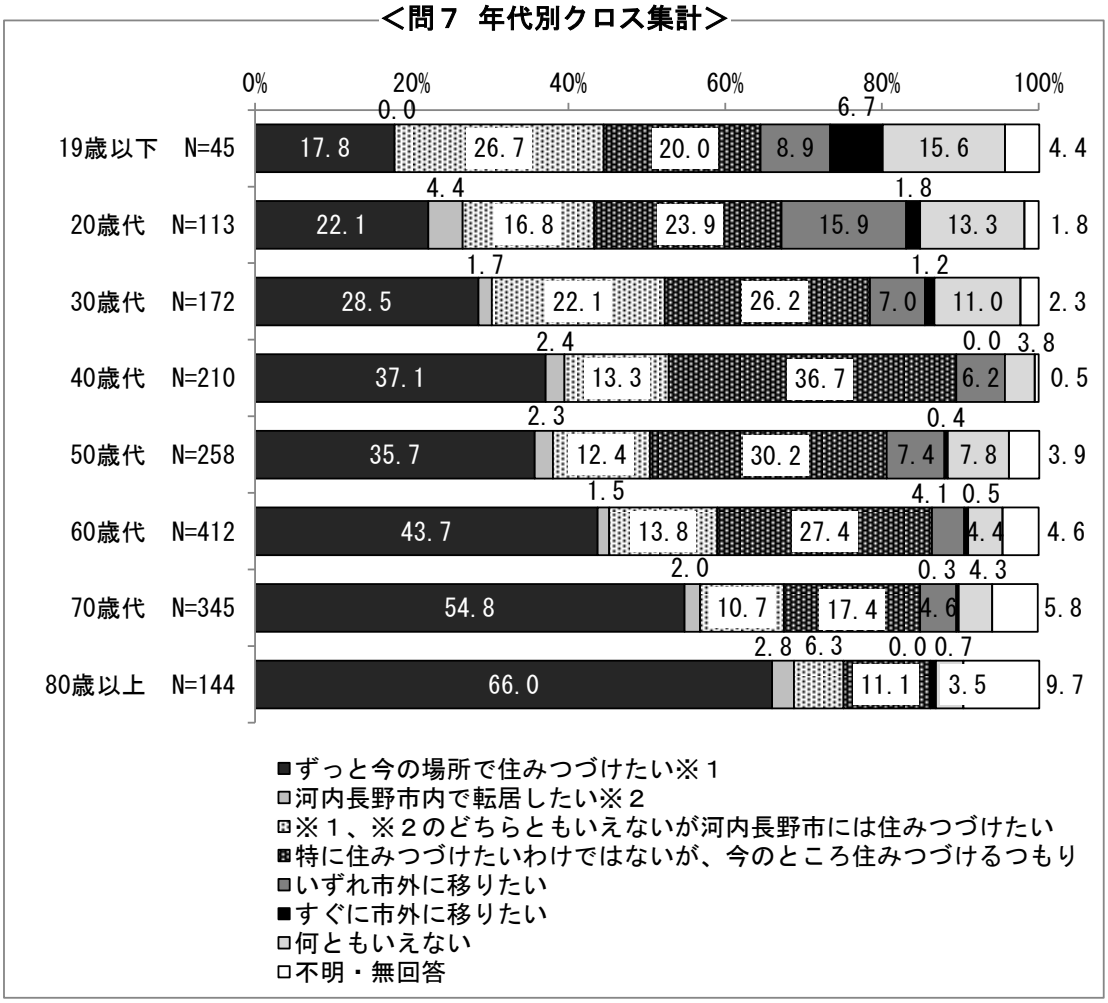
性別でみると、男女ともに「ずっと今の場所で住みつづけたい」の割合が最も高くなっています。

＜問７　性別クロス集計＞



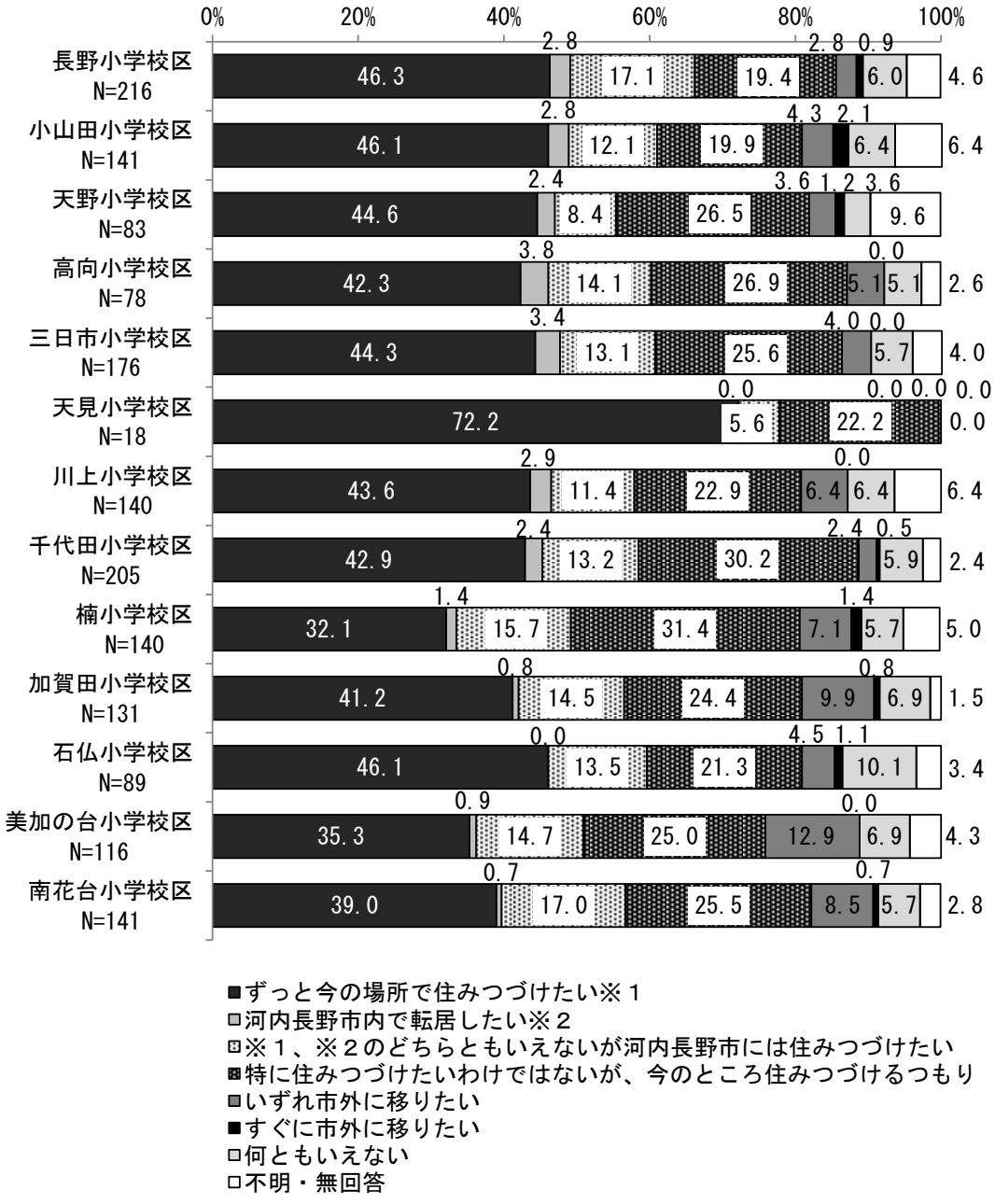
年代別でみると、高齢になるほど、「ずっと今の場所で住みつづけたい」の割合が高い傾向にあり、特に「70 歳代」「80 歳以上」では５割を超えています。

＜問７　年代別クロス集計＞



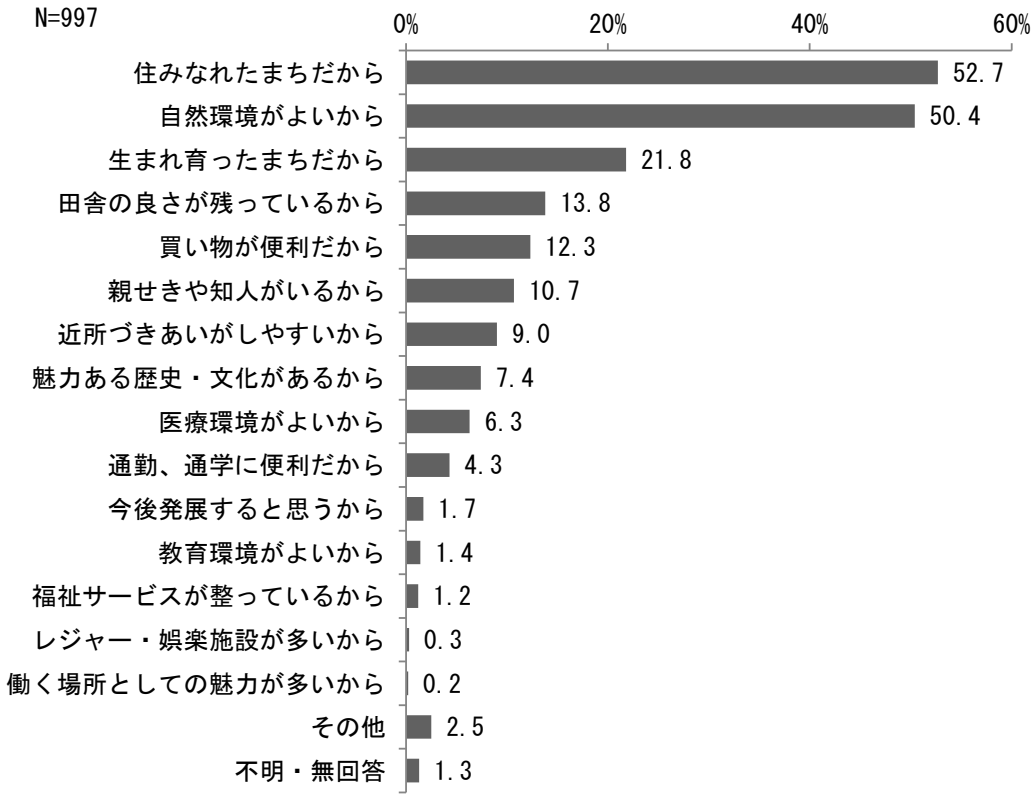
小学校区別でみると、すべての小学校区で「ずっと今の場所で住みつづけたい」の割合が最も高くなっています。特に、「天見小学校区」では、72.2%となっています。

＜問７　小学校区別クロス集計＞



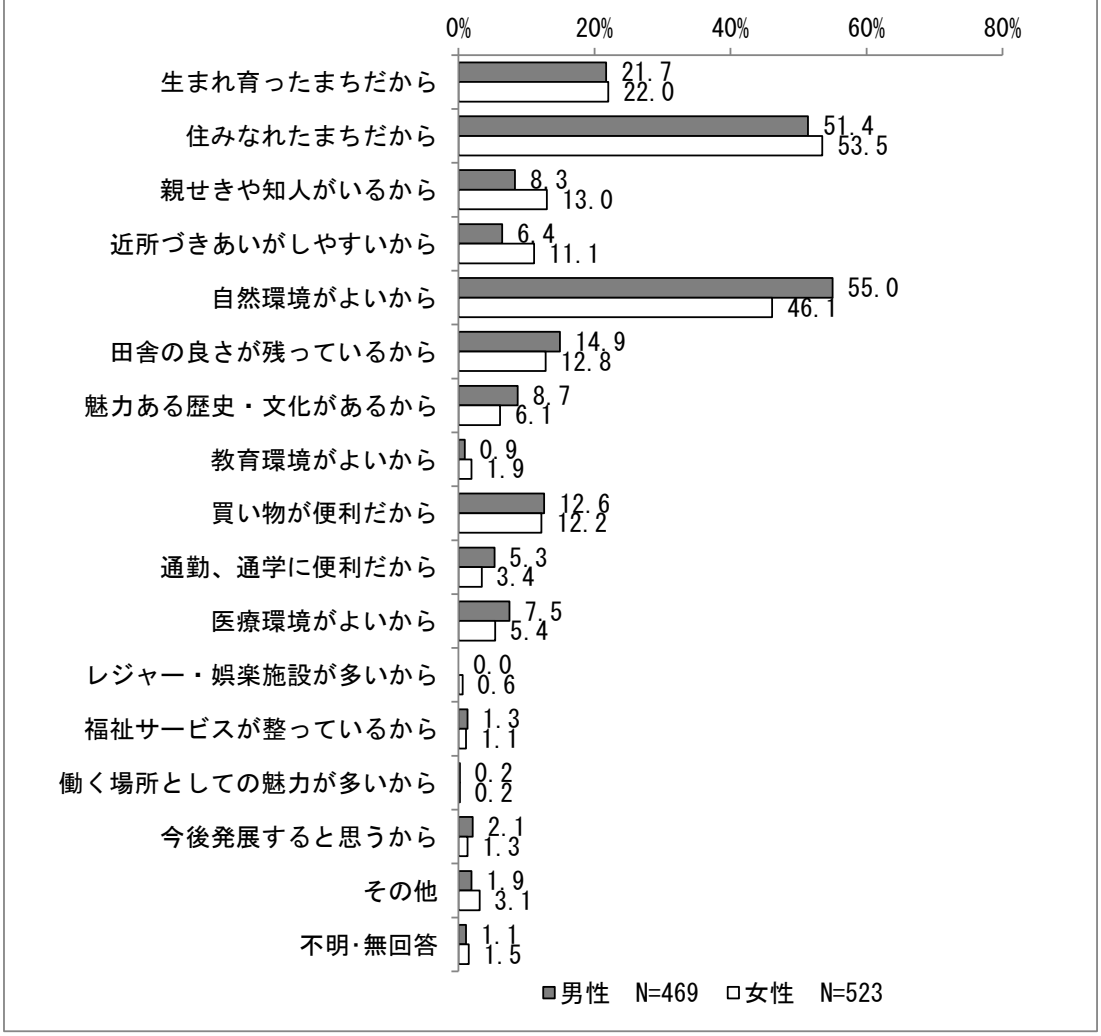
問８　住みつづけたい理由を２つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

住みつづけたい理由についてみると、「住みなれたまちだから」が 52.7%と最も高く、次いで「自然環境がよいから」が 50.4%、「生まれ育ったまちだから」が 21.8%となっています。



性別でみると、「男性」では「自然環境がよいから」が 55.0%と最も高く、次いで「住みなれたまちだから」が 51.4%となっています。「女性」では「住みなれたまちだから」が 53.5%最も高く、次いで「自然環境がよいから」が 46.1%となっています。

＜問８ 性別クロス集計＞



年代別でみると、30 歳代から 50 歳代と 70 歳代から 80 歳以上では「住みなれたまちだから」の割合が最も高くなっています。

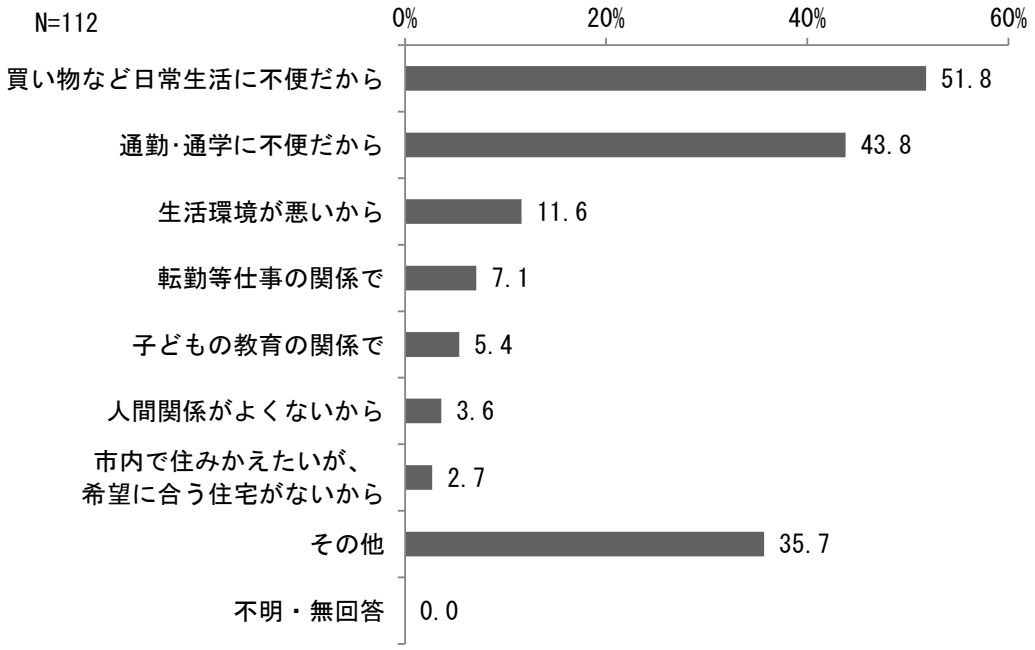
＜問８　年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	生まれ育ったまちだから	住みなれたまちだから	親せきや知人がいるから	近所づきあいがしやすいから	自然環境がよいから	田舎の良さが残っているから	魅力ある歴史・文化があるから	教育環境がよいから
合計	997	217	525	107	90	502	138	74	14
	100.0	21.8	52.7	10.7	9.0	50.4	13.8	7.4	1.4
19歳以下	20	12	10	1	1	5	6	－	－
	100.0	60.0	50.0	5.0	5.0	25.0	30.0	－	－
20歳代	49	23	23	6	1	24	5	1	2
	100.0	46.9	46.9	12.2	2.0	49.0	10.2	2.0	4.1
30歳代	90	22	45	15	5	45	16	2	4
	100.0	24.4	50.0	16.7	5.6	50.0	17.8	2.2	4.4
40歳代	111	38	54	9	6	48	21	7	6
	100.0	34.2	48.6	8.1	5.4	43.2	18.9	6.3	5.4
50歳代	130	24	78	11	9	70	15	4	1
	100.0	18.5	60.0	8.5	6.9	53.8	11.5	3.1	0.8
60歳代	243	37	132	27	25	135	39	24	1
	100.0	15.2	54.3	11.1	10.3	55.6	16.0	9.9	0.4
70歳代	233	42	119	25	26	118	18	24	－
	100.0	18.0	51.1	10.7	11.2	50.6	7.7	10.3	－
80歳以上	108	17	55	12	15	50	17	10	－
	100.0	15.7	50.9	11.1	13.9	46.3	15.7	9.3	－

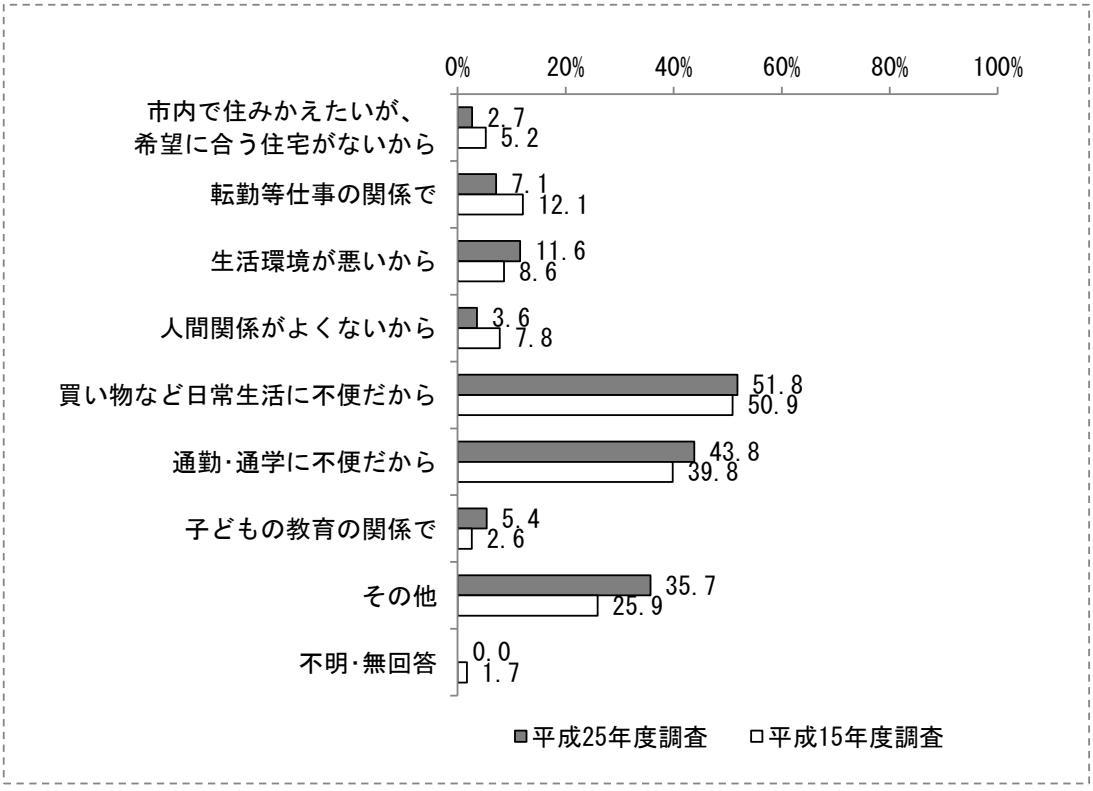
上段:回答数 下段:%	買い物が便利だから	通勤、通学に便利だから	医療環境がよいから	レジャー・娯楽施設が多いから	福祉サービスが整っているから	働く場所としての魅力が多いから	今後発展すると思うから	その他	不明･無回答
合計	123	43	63	3	12	2	17	25	13
	12.3	4.3	6.3	0.3	1.2	0.2	1.7	2.5	1.3
19歳以下	－	2	－	－	－	－	－	－	－
	－	10.0	－	－	－	－	－	－	－
20歳代	2	3	1	－	－	－	2	－	1
	4.1	6.1	2.0	－	－	－	4.1	－	2.0
30歳代	4	8	－	－	－	1	2	6	1
	4.4	8.9	－	－	－	1.1	2.2	6.7	1.1
40歳代	6	7	3	－	－	－	2	6	1
	5.4	6.3	2.7	－	－	－	1.8	5.4	0.9
50歳代	20	12	5	－	1	－	－	3	4
	15.4	9.2	3.8	－	0.8	－	－	2.3	3.1
60歳代	32	3	16	2	4	1	1	5	3
	13.2	1.2	6.6	0.8	1.6	0.4	0.4	2.1	1.2
70歳代	44	5	27	1	2	－	3	4	2
	18.9	2.1	11.6	0.4	0.9	－	1.3	1.7	0.9
80歳以上	14	3	9	－	5	－	7	1	1
	13.0	2.8	8.3	－	4.6	－	6.5	0.9	0.9

問９　市外に移りたい理由を２つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

市外に移りたい理由についてみると、「買い物など日常生活に不便だから」が 51.8%と最も高く、次いで「通勤・通学に不便だから」が 43.8%、「生活環境が悪いから」が 11.6%となっています。

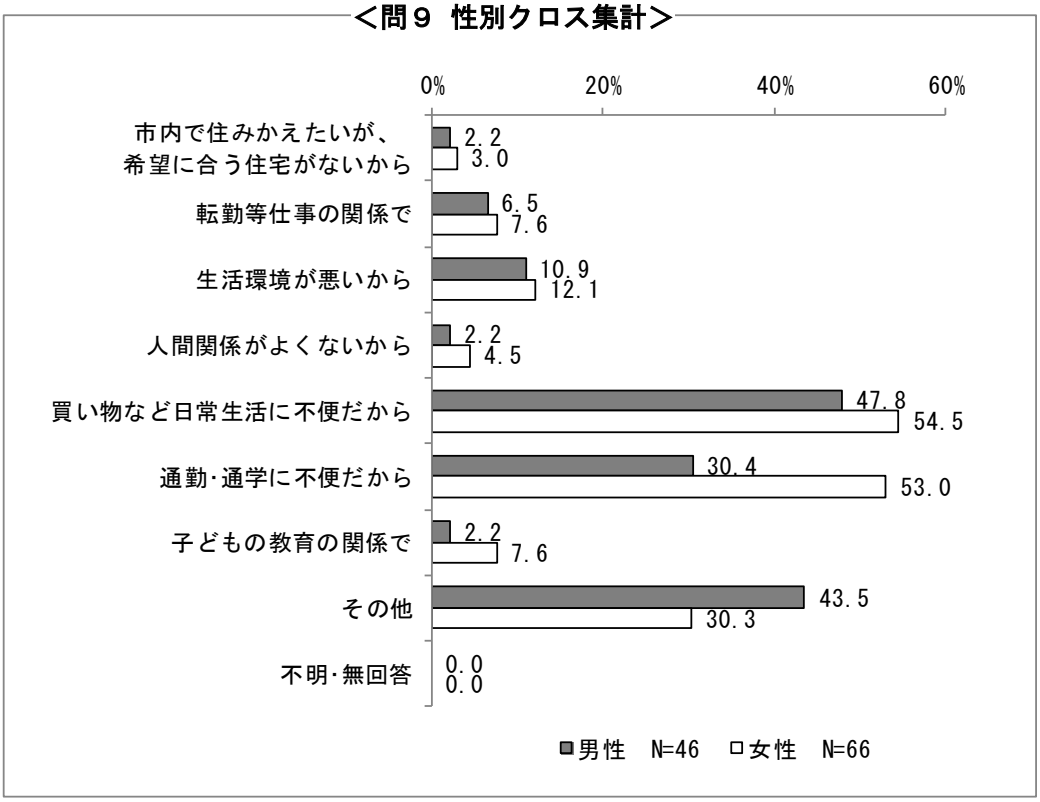


◆前回調査との比較〔問９〕



性別でみると、男女ともに、「買い物など日常生活に不便だから」の割合が最も高く、次いで「通勤・通学に不便だから」となっています。

＜問９ 性別クロス集計＞



年代別でみると、40 歳代以下では「通勤・通学に不便だから」の割合が最も高く、50 歳代から 70 歳代では「買い物など日常生活に不便だから」の割合が最も高くなっています。

＜問９ 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	市内で住みかえたいが、希望に合う住宅がないから	転勤等仕事の関係で	生活環境が悪いから	人間関係がよくないから	買い物など日常生活に不便だから	通勤･通学に不便だから	子どもの教育の関係で	その他
合計	112 100.0	3 2.7	8 7.1	13 11.6	4 3.6	58 51.8	49 43.8	6 5.4	40 35.7
19歳以下	7 100.0	－ －	－ －	2 28.6	－ －	3 42.9	4 57.1	1 14.3	1 14.3
20歳代	20 100.0	1 5.0	4 20.0	－ －	1 5.0	6 30.0	12 60.0	1 5.0	7 35.0
30歳代	14 100.0	－ －	2 14.3	2 14.3	－ －	4 28.6	9 64.3	3 21.4	2 14.3
40歳代	13 100.0	－ －	1 7.7	2 15.4	1 7.7	7 53.8	8 61.5	1 7.7	5 38.5
50歳代	20 100.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0	14 70.0	8 40.0	－ －	6 30.0
60歳代	19 100.0	－ －	－ －	4 21.1	1 5.3	14 73.7	4 21.1	－ －	10 52.6
70歳代	17 100.0	1 5.9	－ －	1 5.9	－ －	10 58.8	3 17.6	－ －	8 47.1
80歳以上	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	1 100.0	－ －	－ －

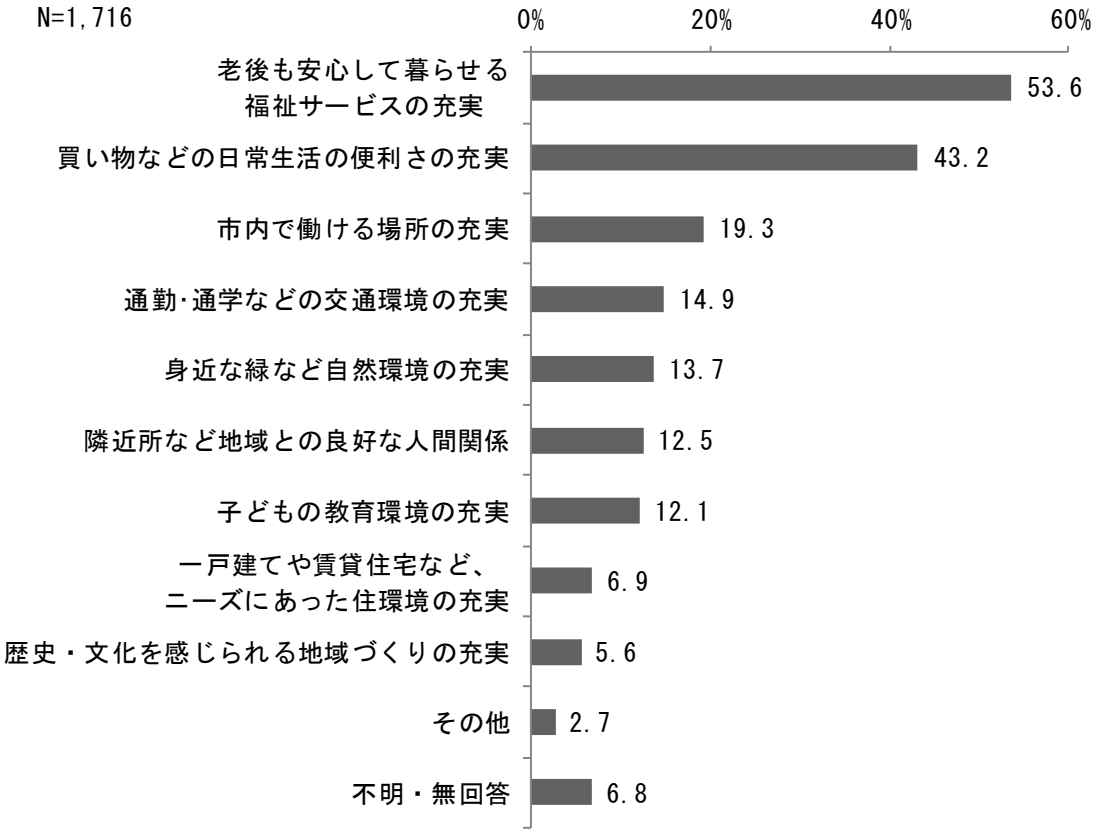
小学校区別でみると、「天野小学校区」「高向小学校区」「楠小学校区」「加賀田小学校区」「石仏小学校区」「美加の台小学校区」では、「買い物など日常生活に不便だから」の割合が最も高くなっています。また、「三日市小学校区」「川上小学校区」では、「通勤・通学に不便だから」が最も高くなっています。

＜問９ 小学校区別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	市内で住みかえたいが、希望に合う住宅がないから	転勤等仕事の関係で	生活環境が悪いから	人間関係がよくないから	買い物など日常生活に不便だから	通勤･通学に不便だから	子どもの教育の関係で	その他
合計	112 100.0	3 2.7	8 7.1	13 11.6	4 3.6	58 51.8	49 43.8	6 5.4	40 35.7
長野小学校区	8 100.0	－ －	2 25.0	－ －	－ －	2 25.0	3 37.5	2 25.0	3 37.5
小山田小学校区	9 100.0	1 11.1	－ －	1 11.1	1 11.1	3 33.3	3 33.3	1 11.1	3 33.3
天野小学校区	4 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	3 75.0	2 50.0	－ －	2 50.0
高向小学校区	4 100.0	－ －	－ －	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	－ －	1 25.0
三日市小学校区	7 100.0	－ －	1 14.3	1 14.3	－ －	2 28.6	5 71.4	1 14.3	2 28.6
天見小学校区	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
川上小学校区	9 100.0	－ －	1 11.1	1 11.1	－ －	4 44.4	6 66.7	－ －	3 33.3
千代田小学校区	6 100.0	－ －	1 16.7	3 50.0	－ －	2 33.3	3 50.0	－ －	－ －
楠小学校区	12 100.0	2 16.7	1 8.3	1 8.3	－ －	6 50.0	4 33.3	－ －	4 33.3
加賀田小学校区	14 100.0	－ －	－ －	1 7.1	1 7.1	11 78.6	7 50.0	－ －	4 28.6
石仏小学校区	5 100.0	－ －	－ －	1 20.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	－ －	2 40.0
美加の台小学校区	15 100.0	－ －	－ －	1 6.7	－ －	12 80.0	7 46.7	1 6.7	5 33.3
南花台小学校区	13 100.0	－ －	1 7.7	2 15.4	－ －	5 38.5	4 30.8	1 7.7	9 69.2

問 10　これからも河内長野市に住みつづけるためには、どんなことが必要だと思いますか？<u>２つまで</u>選んで、番号に○をつけてください。(MA)

これからも河内長野市に住みつづけるためには、どんなことが必要だと思うかについてみると、「老後も安心して暮らせる福祉サービスの充実」が 53.6%と最も高く、次いで「買い物など日常生活の便利さの充実」が 43.2%、「市内で働ける場所の充実」が 19.3%となっています。



年代別でみると、「30 歳代」と「50 歳代以上」では「老後も安心して暮らせる福祉サービスの充実」の割合が最も高くなっています。

＜問 10 年代別クロス集計＞

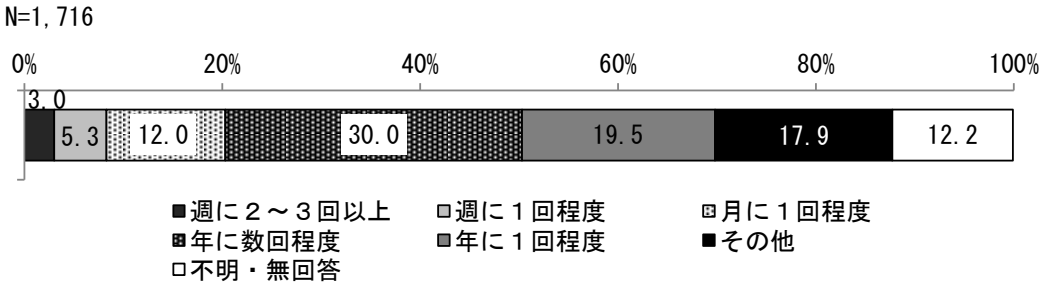
上段:回答数 下段:%	回答者数	一戸建てや賃貸住宅など、ニーズにあった住環境の充実	市内で働ける場所の充実	身近な緑など自然環境の充実	歴史・文化を感じられる地域づくりの充実	隣近所など地域との良好な人間関係
合計	1,716 100.0	118 6.9	332 19.3	235 13.7	96 5.6	214 12.5
19歳以下	45 100.0	5 11.1	14 31.1	6 13.3	3 6.7	3 6.7
20歳代	113 100.0	11 9.7	38 33.6	7 6.2	4 3.5	5 4.4
30歳代	172 100.0	16 9.3	47 27.3	18 10.5	4 2.3	14 8.1
40歳代	210 100.0	16 7.6	58 27.6	17 8.1	5 2.4	18 8.6
50歳代	258 100.0	20 7.8	59 22.9	28 10.9	8 3.1	27 10.5
60歳代	412 100.0	21 5.1	66 16.0	61 14.8	28 6.8	54 13.1
70歳代	345 100.0	21 6.1	32 9.3	69 20.0	34 9.9	62 18.0
80歳以上	144 100.0	8 5.6	15 10.4	26 18.1	8 5.6	26 18.1

上段:回答数 下段:%	買い物などの日常生活の便利さの充実	通勤･通学などの交通環境の充実	子どもの教育環境の充実	老後も安心して暮らせる福祉サービスの充実	その他	不明･無回答
合計	742 43.2	256 14.9	207 12.1	920 53.6	46 2.7	116 6.8
19歳以下	19 42.2	11 24.4	6 13.3	10 22.2	1 2.2	3 6.7
20歳代	45 39.8	33 29.2	25 22.1	26 23.0	8 7.1	12 10.6
30歳代	60 34.9	38 22.1	55 32.0	63 36.6	4 2.3	13 7.6
40歳代	97 46.2	50 23.8	42 20.0	93 44.3	10 4.8	7 3.3
50歳代	125 48.4	49 19.0	23 8.9	151 58.5	2 0.8	13 5.0
60歳代	190 46.1	43 10.4	30 7.3	252 61.2	10 2.4	30 7.3
70歳代	143 41.4	19 5.5	15 4.3	220 63.8	9 2.6	25 7.2
80歳以上	59 41.0	10 6.9	7 4.9	97 67.4	2 1.4	12 8.3

5. 地域活動への参加について

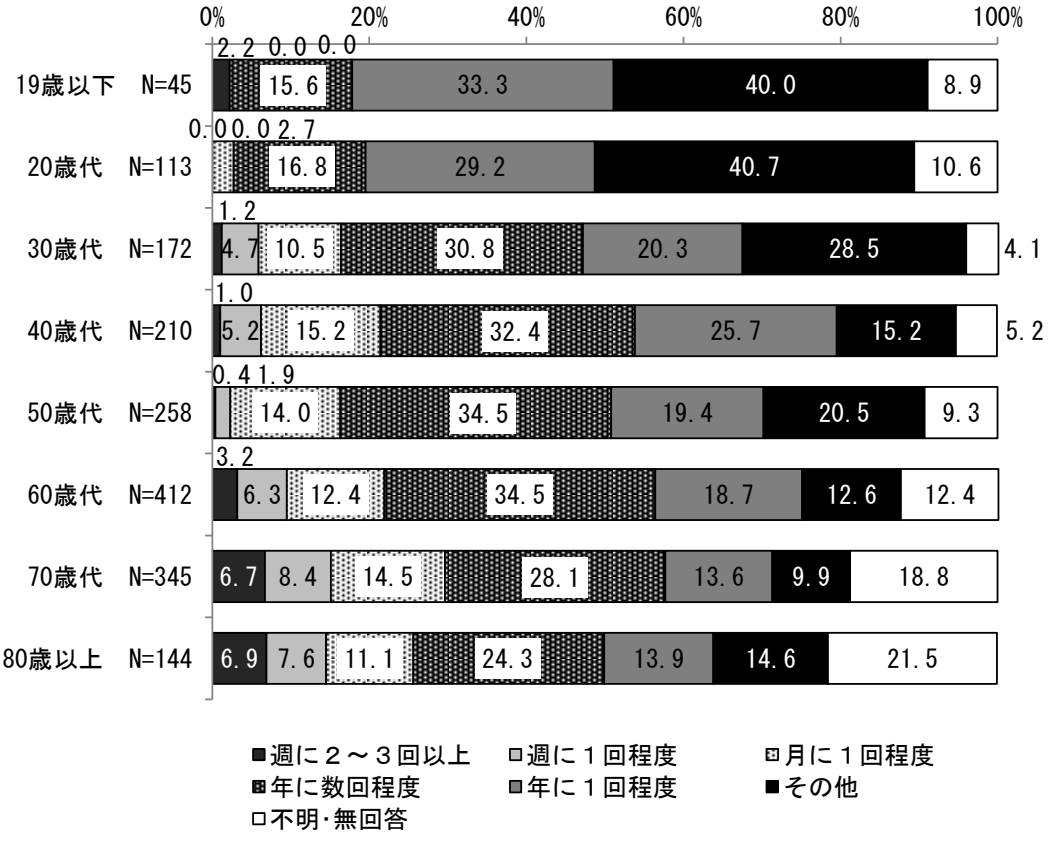
問 11　あなたはこの１年で、市内の「地域やまちづくり活動」にどの程度参加されましたか。あてはまる番号１つに○をつけてください。(SA)

この１年で、市内の「地域やまちづくり活動」にどの程度参加したかについてみると、「年に数回程度」が 30.0%と最も高く、次いで「年に１回程度」が 19.5%となっています。



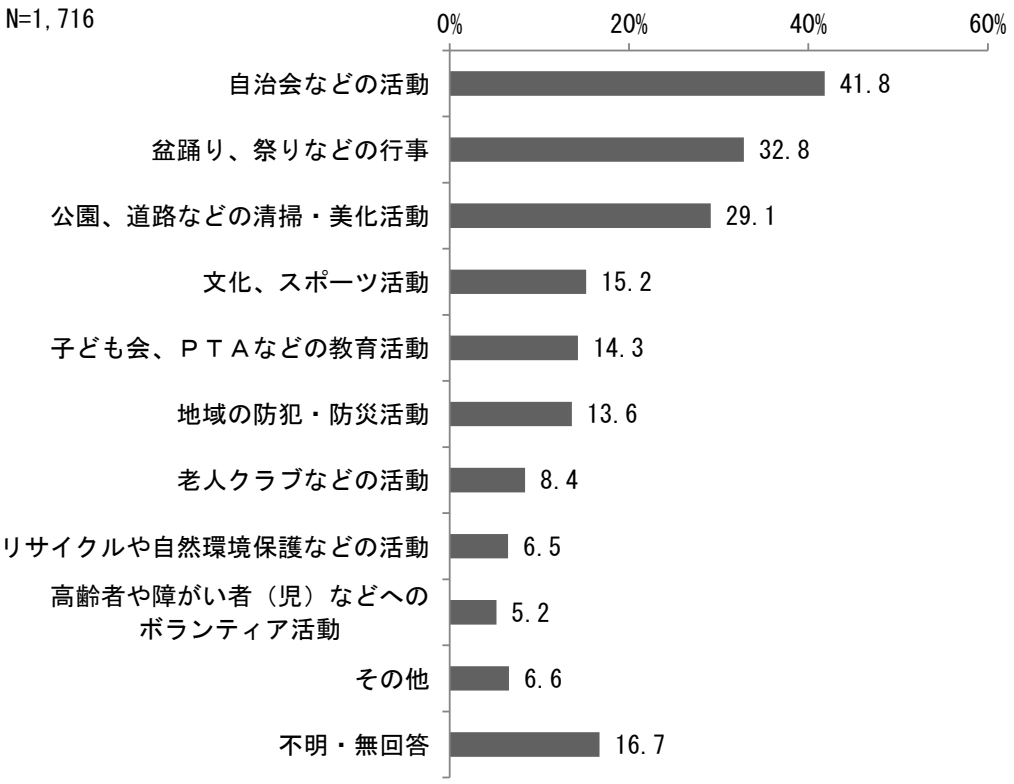
年代別でみると、30 歳代以上では「年に数回程度」の割合が最も高くなっています。20 歳代以下では「その他」に次いで「年に１回程度」の割合が高くなっています。

＜問 11 年代別クロス集計＞



問 12　あなたが参加したことのある活動はどんなものですか。あてはまる番号すべて選んで○をつけてください。（MA）

参加したことのある活動についてみると、「自治会などの活動」が 41.8%と最も高く、次いで「盆踊り、祭りなどの行事」が 32.8%、「公園、道路などの清掃・美化活動」が 29.1%となっています。



年代別でみると、30 歳代以下では「盆踊り、祭りなどの行事」の割合が最も高くなっており、40 歳代から 70 歳代では「自治会などの活動」の割合が最も高くなっています。

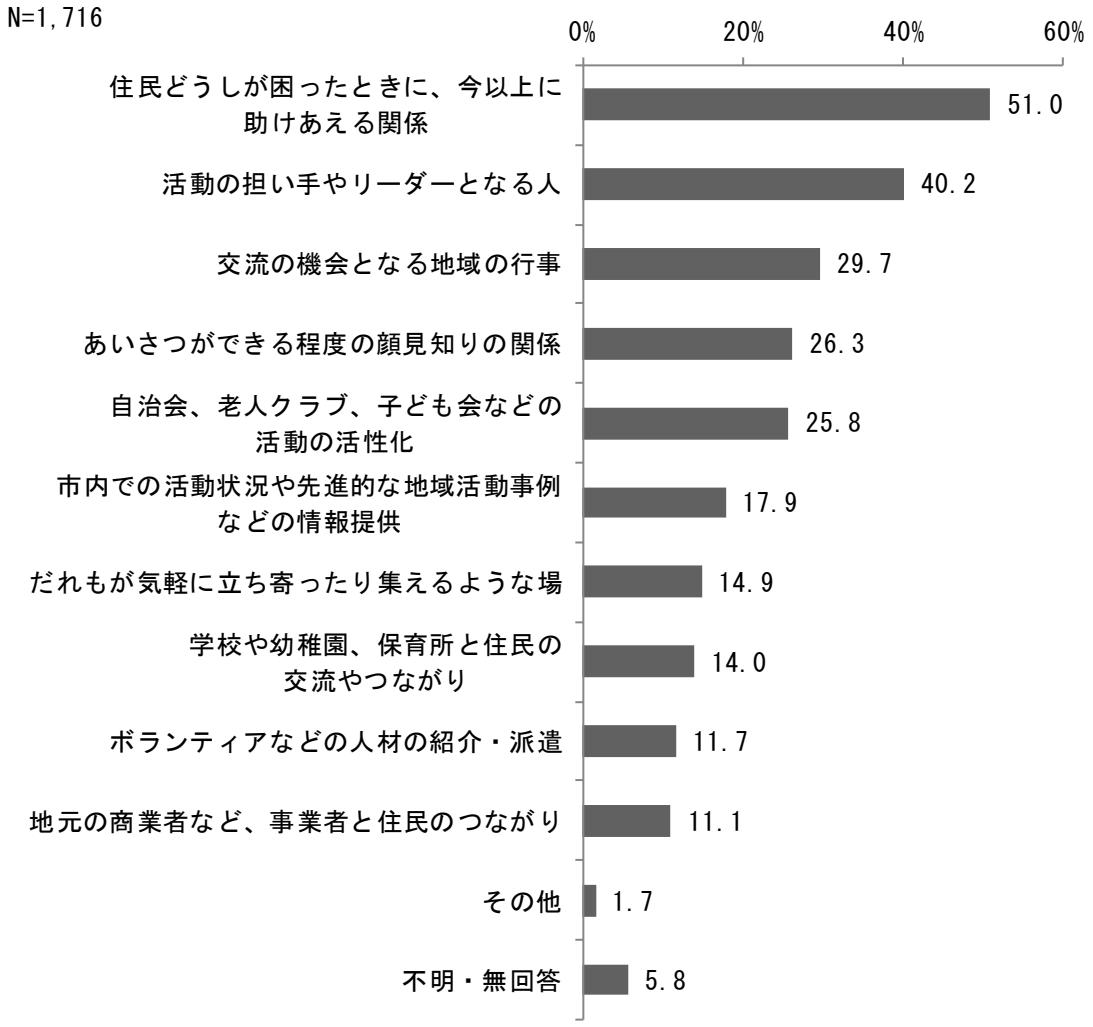
＜問 12 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	自治会などの活動	老人クラブなどの活動	子ども会、PTAなどの教育活動	リサイクルや自然環境保護などの活動	盆踊り、祭りなどの行事
合計	1,716 100.0	718 41.8	145 8.4	245 14.3	112 6.5	562 32.8
19歳以下	45 100.0	3 6.7	－ －	3 6.7	1 2.2	23 51.1
20歳代	113 100.0	14 12.4	1 0.9	17 15.0	5 4.4	39 34.5
30歳代	172 100.0	52 30.2	1 0.6	36 20.9	7 4.1	78 45.3
40歳代	210 100.0	84 40.0	1 0.5	73 34.8	11 5.2	81 38.6
50歳代	258 100.0	127 49.2	2 0.8	43 16.7	19 7.4	73 28.3
60歳代	412 100.0	218 52.9	27 6.6	43 10.4	35 8.5	127 30.8
70歳代	345 100.0	164 47.5	69 20.0	22 6.4	23 6.7	105 30.4
80歳以上	144 100.0	50 34.7	43 29.9	3 2.1	11 7.6	30 20.8

上段:回答数 下段:%	地域の防犯・防災活動	公園、道路などの清掃・美化活動	高齢者や障がい者(児)などへのボランティア活動	文化、スポーツ活動	その他	不明・無回答
合計	233 13.6	500 29.1	89 5.2	260 15.2	113 6.6	286 16.7
19歳以下	2 4.4	10 22.2	－ －	7 15.6	4 8.9	8 17.8
20歳代	5 4.4	26 23.0	4 3.5	20 17.7	13 11.5	32 28.3
30歳代	14 8.1	25 14.5	4 2.3	17 9.9	12 7.0	33 19.2
40歳代	31 14.8	56 26.7	8 3.8	30 14.3	18 8.6	18 8.6
50歳代	36 14.0	61 23.6	14 5.4	40 15.5	12 4.7	43 16.7
60歳代	67 16.3	137 33.3	24 5.8	74 18.0	16 3.9	59 14.3
70歳代	57 16.5	127 36.8	27 7.8	53 15.4	27 7.8	56 16.2
80歳以上	20 13.9	54 37.5	8 5.6	16 11.1	10 6.9	33 22.9

問 13　市民の皆さんが、いきいきと地域活動に取り組んでいただくために、どのようなことが大切だと思いますか。お考えに近いものを３つまで選んで番号に○をつけてください。(MA)

いきいきと地域活動に取り組むために、どのようなことが大切に思うかについてみると、「住民どうしが困ったときに、今以上に助けあえる関係」が 51.0%と最も高く、次いで「活動の担い手やリーダーとなる人」が 40.2%、「交流の機会となる地域の行事」が 29.7%となっています。



年代別でみると、すべての年代で「住民どうしが困ったときに、今以上に助けあえる関係」の割合が最も高くなっています。

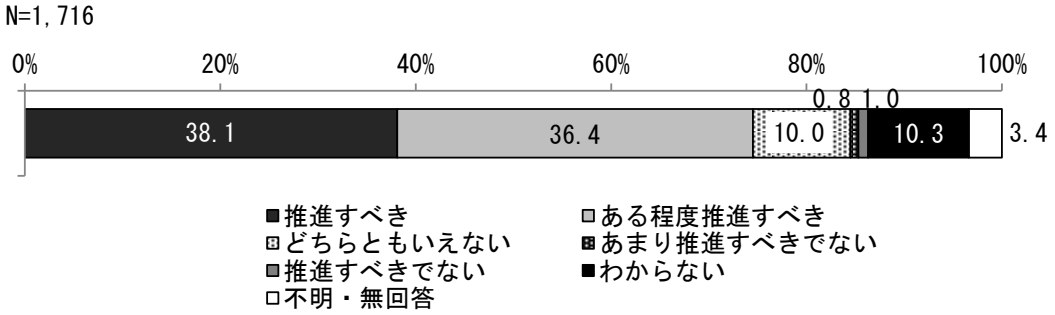
＜問 13 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	住民どうしが困ったときに、今以上に助けあえる関係	あいさつができる程度の顔見知りの関係	自治会、老人クラブ、子ども会などの活動の活性化	学校や幼稚園、保育所と住民の交流やつながり	地元の商業者など、事業者と住民のつながり	交流の機会となる地域の行事活動の担い手やリーダーとなる人
合計	1,716	876	452	443	240	191	510
	100.0	51.0	26.3	25.8	14.0	11.1	29.7
19歳以下	45	22	15	9	10	8	8
	100.0	48.9	33.3	20.0	22.2	17.8	17.8
20歳代	113	46	28	19	26	14	35
	100.0	40.7	24.8	16.8	23.0	12.4	31.0
30歳代	172	71	49	44	52	28	58
	100.0	41.3	28.5	25.6	30.2	16.3	33.7
40歳代	210	100	51	40	47	30	69
	100.0	47.6	24.3	19.0	22.4	14.3	32.9
50歳代	258	110	68	56	43	40	79
	100.0	42.6	26.4	21.7	16.7	15.5	30.6
60歳代	412	219	104	97	28	37	137
	100.0	53.2	25.2	23.5	6.8	9.0	33.3
70歳代	345	209	96	118	20	26	91
	100.0	60.6	27.8	34.2	5.8	7.5	26.4
80歳以上	144	90	35	56	10	7	29
	100.0	62.5	24.3	38.9	6.9	4.9	20.1

上段:回答数 下段:%	だれもが気軽に立ち寄ったり集えるような場	活動の担い手やリーダーとなる人	市内での活動状況や先進的な地域活動事例などの情報提供	ボランティアなどの人材の紹介・派遣	その他	不明・無回答
合計	255	689	308	200	29	99
	14.9	40.2	17.9	11.7	1.7	5.8
19歳以下	5	21	7	5	−	2
	11.1	46.7	15.6	11.1	−	4.4
20歳代	12	46	31	15	2	6
	10.6	40.7	27.4	13.3	1.8	5.3
30歳代	26	62	32	16	−	7
	15.1	36.0	18.6	9.3	−	4.1
40歳代	35	71	42	23	6	4
	16.7	33.8	20.0	11.0	2.9	1.9
50歳代	37	98	61	33	5	12
	14.3	38.0	23.6	12.8	1.9	4.7
60歳代	76	179	72	61	8	22
	18.4	43.4	17.5	14.8	1.9	5.3
70歳代	46	161	43	31	4	25
	13.3	46.7	12.5	9.0	1.2	7.2
80歳以上	14	47	16	16	4	19
	9.7	32.6	11.1	11.1	2.8	13.2

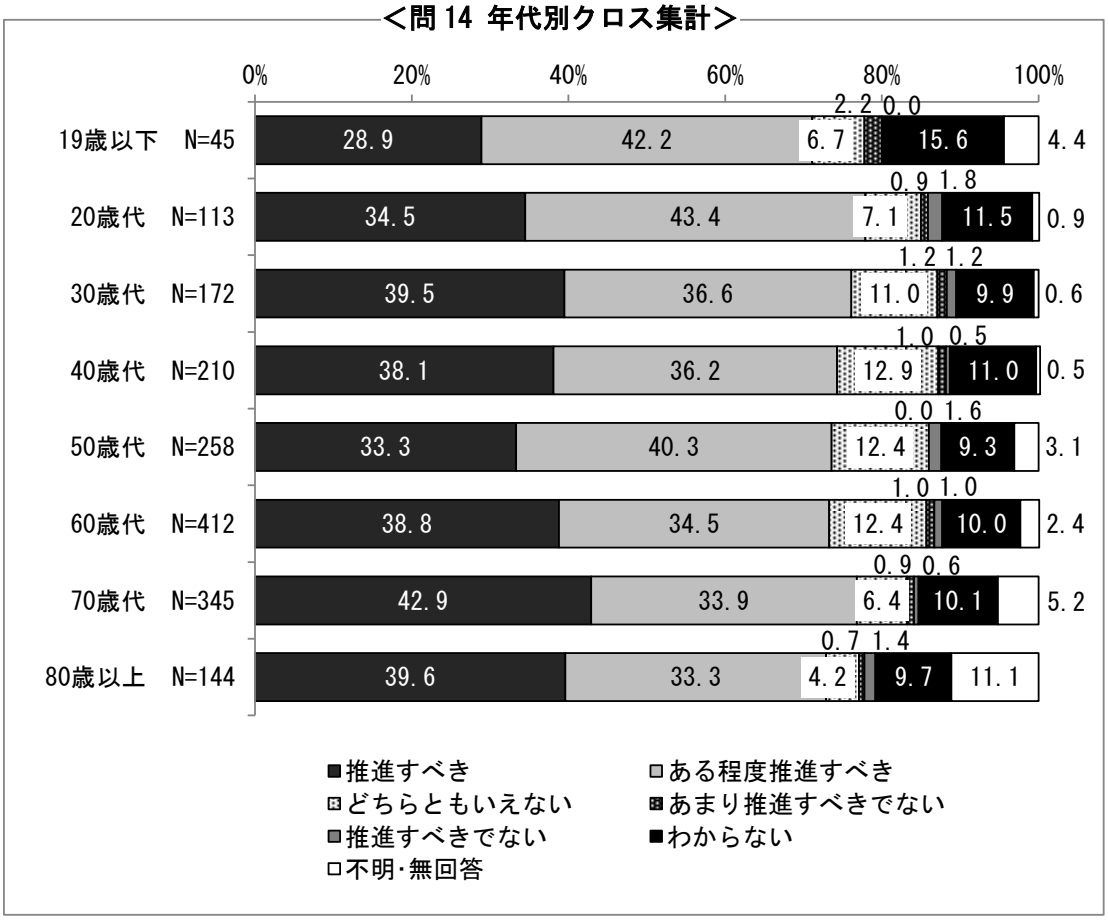
問 14　市では、協働によるまちづくり（市民の皆さんと市がともに役割を担いながらまちづくりを進めていくこと）を目指しています。あなたは、このことについてどう考えますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。（SA）

協働によるまちづくりについてどう考えるかについてみると、「推進すべき」が 38.1%と最も高く、次いで「ある程度推進すべき」が 36.4%となっています。



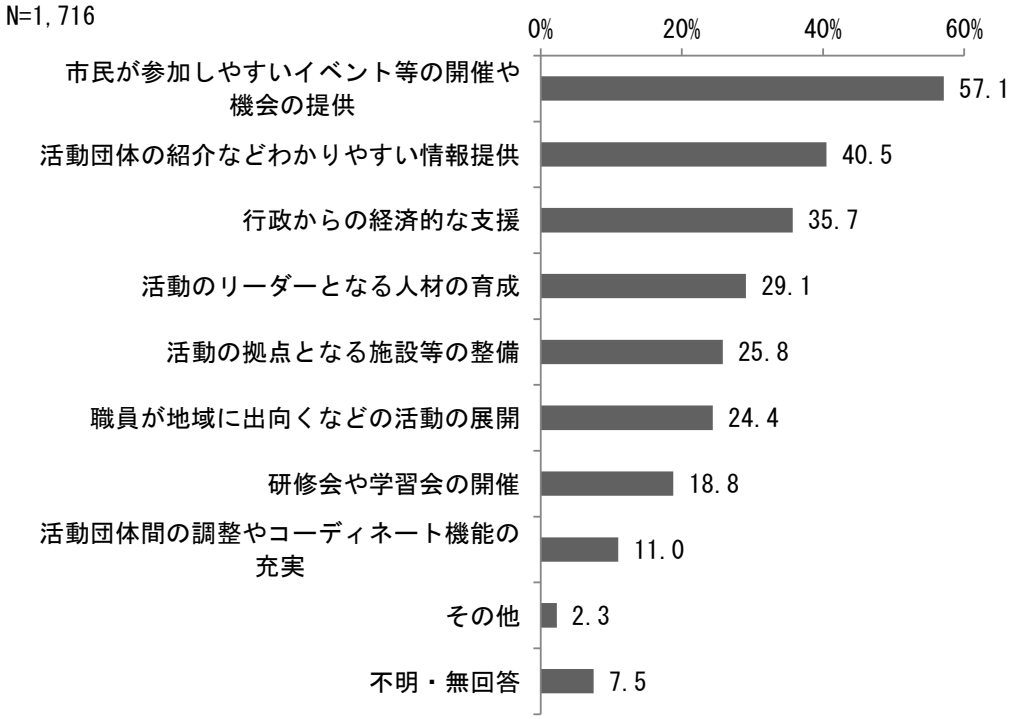
年代別でみると、すべての年代で「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計が７割を超えています。

＜問 14 年代別クロス集計＞



問 15　協働を進めるために必要なことは何ですか。あてはまる番号すべて選んで○をつけてください。（MA）

協働を進めるために必要なことについてみると、「市民が参加しやすいイベント等の開催や機会の提供」が 57.1%と最も高く、次いで「活動団体の紹介などわかりやすい情報提供」が 40.5%、「行政からの経済的な支援」が 35.7%となっています。



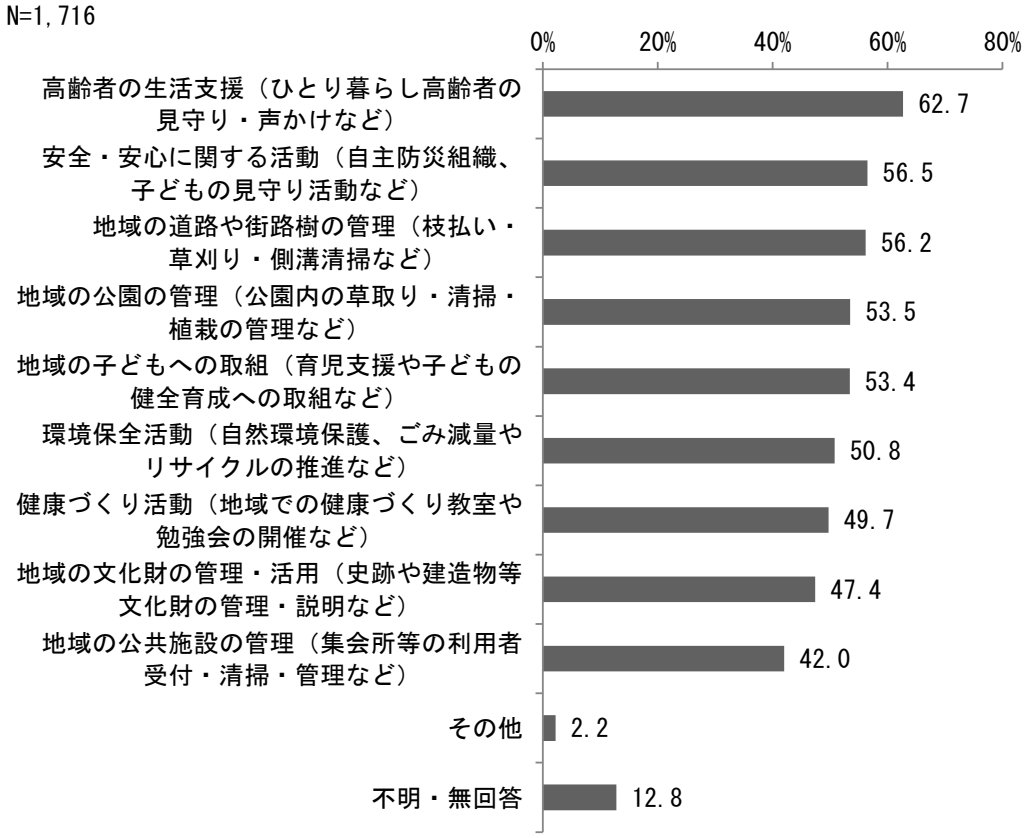
年代別でみると、すべての年代で「市民が参加しやすいイベント等の開催や機会の提供」の割合が最も高くなっています。

＜問 15 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	市民が参加しやすいイベント等の開催や機会の提供	活動団体の紹介などわかりやすい情報提供	行政からの経済的な支援	職員が地域に出向くなどの活動の展開	活動団体間の調整やコーディネート機能の充実	研修会や学習会の開催	活動の拠点となる施設等の整備	活動のリーダーとなる人材の育成	その他	不明・無回答
合計	1,716	979	695	612	419	189	322	443	499	39	128
	100.0	57.1	40.5	35.7	24.4	11.0	18.8	25.8	29.1	2.3	7.5
19歳以下	45	25	15	16	9	1	6	9	10	1	2
	100.0	55.6	33.3	35.6	20.0	2.2	13.3	20.0	22.2	2.2	4.4
20歳代	113	71	53	40	30	17	25	28	29	1	3
	100.0	62.8	46.9	35.4	26.5	15.0	22.1	24.8	25.7	0.9	2.7
30歳代	172	123	70	76	34	24	29	37	43	5	10
	100.0	71.5	40.7	44.2	19.8	14.0	16.9	21.5	25.0	2.9	5.8
40歳代	210	129	95	86	35	28	36	46	51	6	5
	100.0	61.4	45.2	41.0	16.7	13.3	17.1	21.9	24.3	2.9	2.4
50歳代	258	141	115	103	62	32	46	65	74	4	18
	100.0	54.7	44.6	39.9	24.0	12.4	17.8	25.2	28.7	1.6	7.0
60歳代	412	229	162	127	101	40	77	127	128	9	28
	100.0	55.6	39.3	30.8	24.5	9.7	18.7	30.8	31.1	2.2	6.8
70歳代	345	188	134	113	97	34	75	97	111	8	37
	100.0	54.5	38.8	32.8	28.1	9.9	21.7	28.1	32.2	2.3	10.7
80歳以上	144	66	45	48	46	11	25	30	49	3	21
	100.0	45.8	31.3	33.3	31.9	7.6	17.4	20.8	34.0	2.1	14.6

問 16　次のうち「市民と行政が協働で取り組んだ方がよいもの」、「あなたが取り組めると思うもの」について、それぞれあてはまる項目の空欄すべてに○をつけてください。(MA)

協働で取り組んだ方がよいものについてみると、「高齢者の生活支援（ひとり暮らし高齢者の見守り・声かけなど)」が 62.7%と最も高く、次いで「安全・安心に関する活動（自主防災組織、子どもの見守り活動など)」が 56.5%となっています。



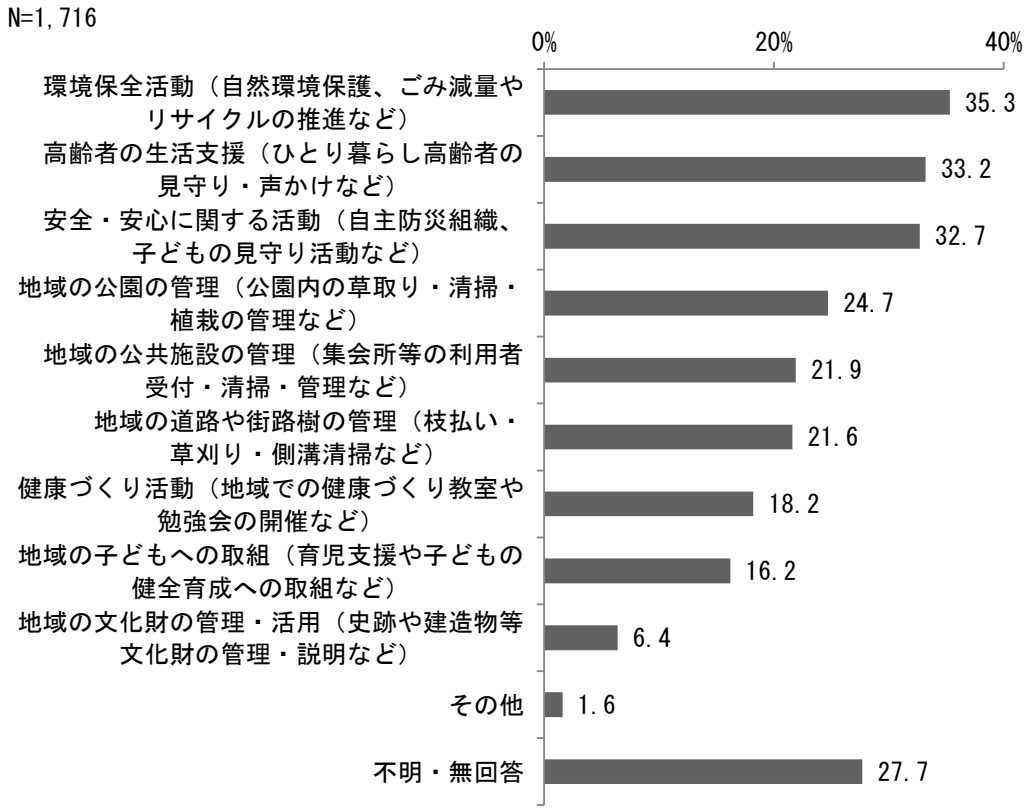
年代別でみると、「19 歳以下」を除くすべての年代で「高齢者の生活支援（ひとり暮らし高齢者の見守り・声かけなど)」の割合が最も高くなっています。「20 歳代」では、「地域の子どもへの取組（育児支援や子どもの健全育成への取組など)」の割合も高くなっています。

＜問 16 市民と行政が協働で取り組んだ方がよいもの　年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	地域の道路や街路樹の管理(枝払い・草刈り・側溝清掃など)	地域の公園の管理(公園内の草取り・清掃・植栽の管理など)	環境保全活動(自然環境保護、ごみ減量やリサイクルの推進など)	地域の文化財の管理・活用(史跡や建造物等文化財の管理・説明など)	高齢者の生活支援(ひとり暮らし高齢者の見守り・声かけなど)
合計	1,716	965	918	872	814	1,076
	100.0	56.2	53.5	50.8	47.4	62.7
19歳以下	45	25	30	28	30	29
	100.0	55.6	66.7	62.2	66.7	64.4
20歳代	113	72	76	67	71	84
	100.0	63.7	67.3	59.3	62.8	74.3
30歳代	172	108	109	92	88	120
	100.0	62.8	63.4	53.5	51.2	69.8
40歳代	210	131	128	125	115	135
	100.0	62.4	61.0	59.5	54.8	64.3
50歳代	258	152	140	130	121	167
	100.0	58.9	54.3	50.4	46.9	64.7
60歳代	412	233	218	212	198	263
	100.0	56.6	52.9	51.5	48.1	63.8
70歳代	345	174	154	156	146	192
	100.0	50.4	44.6	45.2	42.3	55.7
80歳以上	144	58	54	54	37	73
	100.0	40.3	37.5	37.5	25.7	50.7

上段:回答数 下段:%	健康づくり活動(地域での健康づくり教室や勉強会の開催など)	地域の子どもへの取組(育児支援や子どもの健全育成への取組など)	安全・安心に関する活動(自主防災組織、子どもの見守り活動など)	地域の公共施設の管理(集会所等の利用者受付・清掃・管理など)	その他	不明・無回答
合計	853	917	969	721	38	220
	49.7	53.4	56.5	42.0	2.2	12.8
19歳以下	28	29	34	23	2	4
	62.2	64.4	75.6	51.1	4.4	8.9
20歳代	70	84	71	69	1	7
	61.9	74.3	62.8	61.1	0.9	6.2
30歳代	86	112	108	82	2	17
	50.0	65.1	62.8	47.7	1.2	9.9
40歳代	113	133	131	106	6	9
	53.8	63.3	62.4	50.5	2.9	4.3
50歳代	116	142	159	107	8	29
	45.0	55.0	61.6	41.5	3.1	11.2
60歳代	226	225	233	168	11	40
	54.9	54.6	56.6	40.8	2.7	9.7
70歳代	163	141	164	118	7	63
	47.2	40.9	47.5	34.2	2.0	18.3
80歳以上	43	42	60	42	1	49
	29.9	29.2	41.7	29.2	0.7	34.0

自分自身が取り組めると思うものについてみると、「環境保全活動（自然環境保護、ごみ減量やリサイクルの推進など)」が 35.3%と最も高く、次いで「高齢者の生活支援（ひとり暮らし高齢者の見守り・声かけなど)」が 33.2%、「安全・安心に関する活動（自主防災組織、子どもの見守り活動など)」が 32.7%となっています。



年代別でみると、「60 歳代」と「70 歳代」を除くすべての年代で「環境保全活動（自然環境保護、ごみ減量やリサイクルの推進など)」の割合が最も高くなっています。

＜問 16 あなたが取り組めると思うもの　年代別クロス集計＞

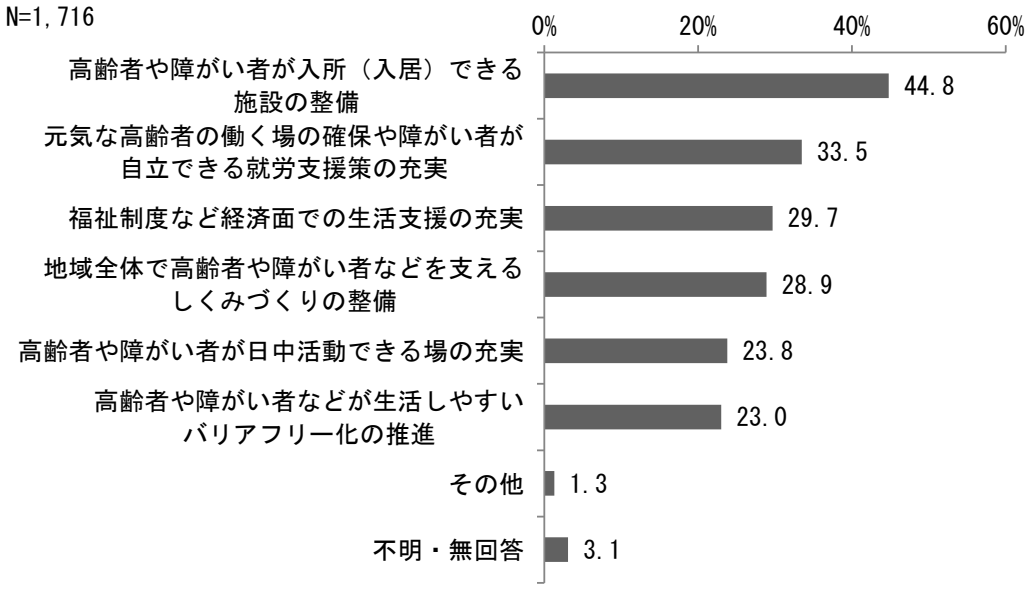
上段:回答数 下段:%	回答者数	地域の道路や街路樹の管理(枝払い・草刈り・側溝清掃など)	地域の公園の管理(公園内の草取り・清掃・植栽の管理など)	環境保全活動(自然環境保護、ごみ減量やリサイクルの推進など)	地域の文化財の管理・活用(史跡や建造物等文化財の管理・説明など)	高齢者の生活支援(ひとり暮らし高齢者の見守り・声かけなど)
合計	1,716	371	424	606	110	569
	100.0	21.6	24.7	35.3	6.4	33.2
19歳以下	45	18	11	18	3	8
	100.0	40.0	24.4	40.0	6.7	17.8
20歳代	113	35	32	46	10	36
	100.0	31.0	28.3	40.7	8.8	31.9
30歳代	172	42	50	83	9	49
	100.0	24.4	29.1	48.3	5.2	28.5
40歳代	210	48	67	92	17	70
	100.0	22.9	31.9	43.8	8.1	33.3
50歳代	258	50	65	89	20	86
	100.0	19.4	25.2	34.5	7.8	33.3
60歳代	412	89	106	163	24	170
	100.0	21.6	25.7	39.6	5.8	41.3
70歳代	345	69	71	86	18	124
	100.0	20.0	20.6	24.9	5.2	35.9
80歳以上	144	18	20	25	9	23
	100.0	12.5	13.9	17.4	6.3	16.0

上段:回答数 下段:%	健康づくり活動(地域での健康づくり教室や勉強会の開催など)	地域の子どもへの取組(育児支援や子どもの健全育成への取組など)	安全・安心に関する活動(自主防災組織、子どもの見守り活動など)	地域の公共施設の管理(集会所等の利用者受付・清掃・管理など)	その他	不明・無回答
合計	312	278	561	376	27	475
	18.2	16.2	32.7	21.9	1.6	27.7
19歳以下	6	2	8	11	1	12
	13.3	4.4	17.8	24.4	2.2	26.7
20歳代	22	28	37	16	1	22
	19.5	24.8	32.7	14.2	0.9	19.5
30歳代	26	54	72	35	2	33
	15.1	31.4	41.9	20.3	1.2	19.2
40歳代	39	59	83	46	2	38
	18.6	28.1	39.5	21.9	1.0	18.1
50歳代	42	42	87	67	6	68
	16.3	16.3	33.7	26.0	2.3	26.4
60歳代	86	48	149	109	9	89
	20.9	11.7	36.2	26.5	2.2	21.6
70歳代	69	35	105	74	5	118
	20.0	10.1	30.4	21.4	1.4	34.2
80歳以上	21	8	16	15	1	86
	14.6	5.6	11.1	10.4	0.7	59.7

6. これからの河内長野市のまちづくりについて

問 17　あなたは、福祉を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

福祉を充実させるために、今後力を入れるべきことについてみると、「高齢者や障がい者が入所（入居）できる施設の整備」が 44.8%と最も高く、次いで「元気な高齢者の働く場の確保や障がい者が自立できる就労支援策の充実」が 33.5%となっています。



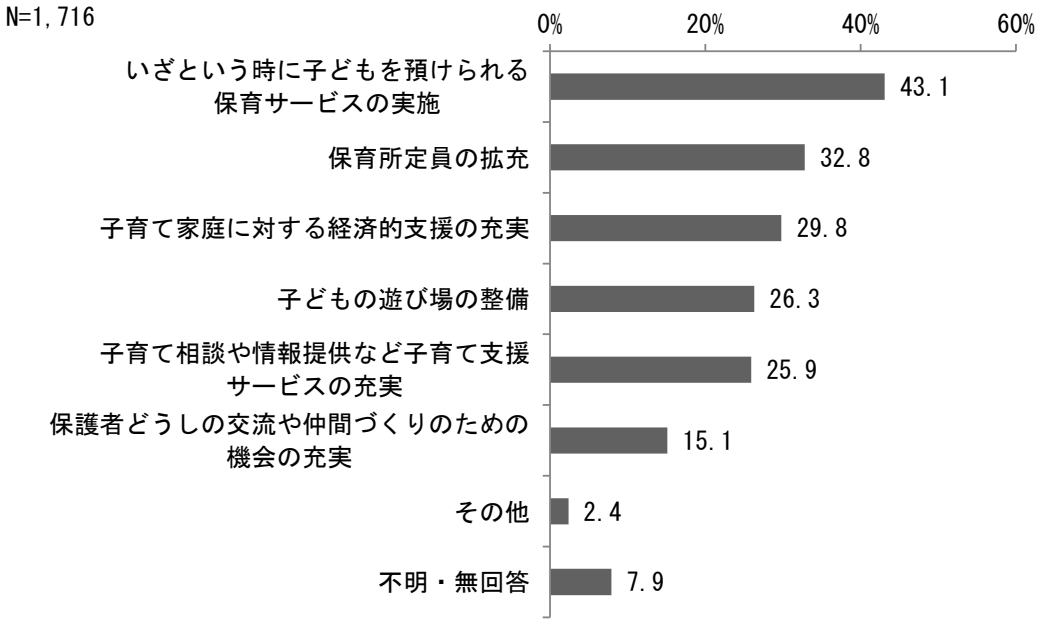
年代別でみると、40 歳代以上では「高齢者や障がい者が入所（入居）できる施設の整備」の割合が最も高くなっています。

＜問 17 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	高齢者や障がい者が入所(入居)できる施設の整備	高齢者や障がい者が日中活動できる場の充実	高齢者や障がい者などが生活しやすいバリアフリー化の推進	地域全体で高齢者や障がい者などを支えるしくみづくりの整備	福祉制度など経済面での生活支援の充実	元気な高齢者の働く場の確保や障がい者が自立できる就労支援策の充実	その他	不明･無回答
合計	1,716	768	409	395	496	510	575	23	54
	100.0	44.8	23.8	23.0	28.9	29.7	33.5	1.3	3.1
19歳以下	45	16	11	21	7	15	13	2	1
	100.0	35.6	24.4	46.7	15.6	33.3	28.9	4.4	2.2
20歳代	113	41	23	33	36	30	45	2	1
	100.0	36.3	20.4	29.2	31.9	26.5	39.8	1.8	0.9
30歳代	172	48	53	45	44	44	72	2	6
	100.0	27.9	30.8	26.2	25.6	25.6	41.9	1.2	3.5
40歳代	210	79	54	45	53	71	74	3	3
	100.0	37.6	25.7	21.4	25.2	33.8	35.2	1.4	1.4
50歳代	258	115	65	59	55	83	106	1	6
	100.0	44.6	25.2	22.9	21.3	32.2	41.1	0.4	2.3
60歳代	412	206	106	86	119	121	140	3	11
	100.0	50.0	25.7	20.9	28.9	29.4	34.0	0.7	2.7
70歳代	345	182	67	66	132	97	92	8	11
	100.0	52.8	19.4	19.1	38.3	28.1	26.7	2.3	3.2
80歳以上	144	76	26	34	43	44	29	2	13
	100.0	52.8	18.1	23.6	29.9	30.6	20.1	1.4	9.0

問 18　あなたは、子育て環境を充実するためにはどのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。（MA）

子育て環境を充実するために力を入れるべきことについてみると、「いざという時に子どもを預けられる保育サービスの実施」が 43.1%と最も高く、次いで「保育所定員の拡充」が 32.8%となっています。



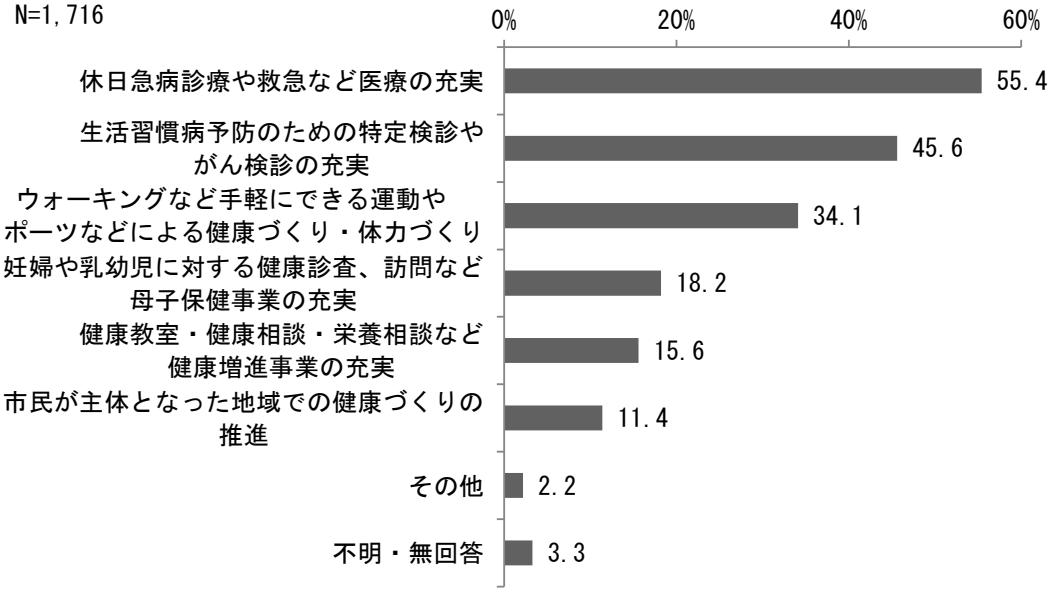
年代別でみると、「19 歳以下」と「30 歳代」を除くすべての年代で「いざという時に子どもを預けられる保育サービスの実施」の割合が最も高くなっており、子育て世帯が多いと思われる「30 歳代」では「子育て家庭に対する経済的支援の充実」が最も高くなっています。

＜問 18 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	子育て家庭に対する経済的支援の充実	保育所定員の拡充	子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実	子どもの遊び場の整備	保護者どうしの交流や仲間づくりのための機会の充実	いざという時に子どもを預けられる保育サービスの実施	その他	不明･無回答
合計	1,716	512	563	445	452	259	739	42	136
	100.0	29.8	32.8	25.9	26.3	15.1	43.1	2.4	7.9
19歳以下	45	17	10	11	23	8	18	－	－
	100.0	37.8	22.2	24.4	51.1	17.8	40.0	－	－
20歳代	113	41	36	31	37	17	45	2	2
	100.0	36.3	31.9	27.4	32.7	15.0	39.8	1.8	1.8
30歳代	172	97	56	30	56	24	60	6	3
	100.0	56.4	32.6	17.4	32.6	14.0	34.9	3.5	1.7
40歳代	210	72	41	60	77	31	83	8	4
	100.0	34.3	19.5	28.6	36.7	14.8	39.5	3.8	1.9
50歳代	258	79	99	75	66	36	119	6	8
	100.0	30.6	38.4	29.1	25.6	14.0	46.1	2.3	3.1
60歳代	412	93	163	116	88	62	230	5	23
	100.0	22.6	39.6	28.2	21.4	15.0	55.8	1.2	5.6
70歳代	345	76	113	86	70	61	134	11	51
	100.0	22.0	32.8	24.9	20.3	17.7	38.8	3.2	14.8
80歳以上	144	33	40	34	30	18	44	4	40
	100.0	22.9	27.8	23.6	20.8	12.5	30.6	2.8	27.8

問 19　あなたは、健康づくりを充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

健康づくりを充実させるために力を入れるべきことについてみると、「休日急病診療や救急など医療の充実」が 55.4%と最も高く、次いで「生活習慣病予防のための特定検診やがん検診の充実」が 45.6%、「ウォーキングなど手軽にできる運動やスポーツなどによる健康づくり・体力づくり」が 34.1%となっています。



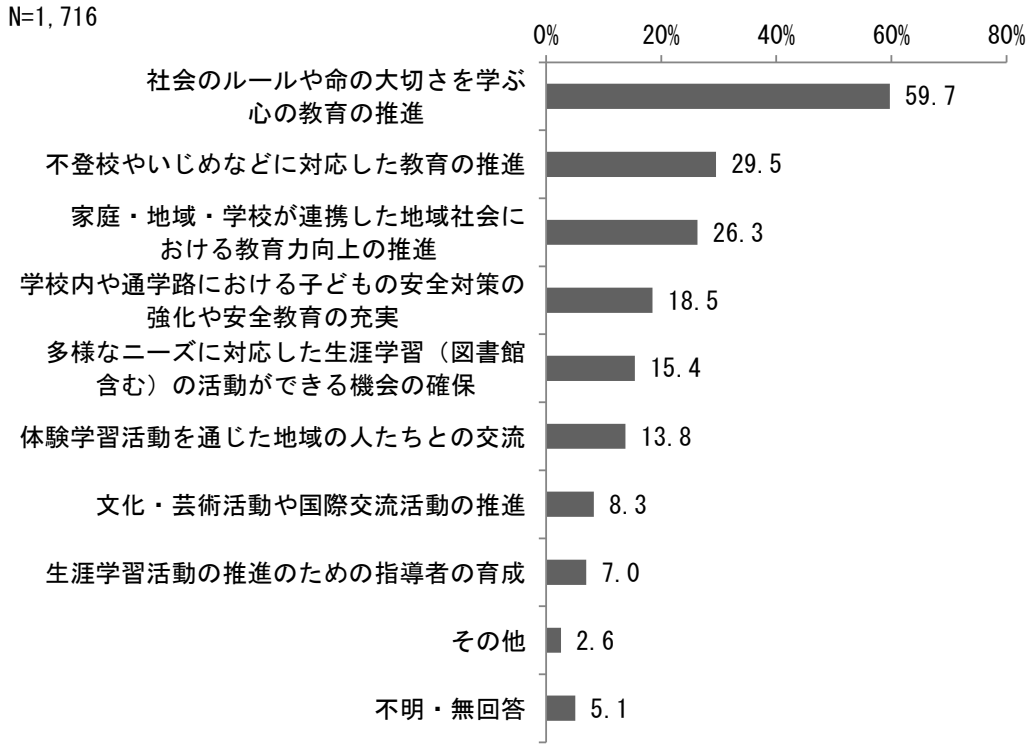
年代別でみると、「20 歳代」と「30 歳代」を除くすべての年代で「休日急病診療や救急など医療の充実」の割合が最も高くなっています。

＜問 19 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	妊婦や乳幼児に対する健康診査、訪問など母子保健事業の充実	生活習慣病予防のための特定検診やがん検診の充実	健康教室・健康相談・栄養相談など健康増進事業の充実	休日急病診療や救急など医療の充実	ウォーキングなど手軽にできる運動やスポーツなどによる健康づくり・体力づくり	市民が主体となった地域での健康づくりの推進	その他	不明・無回答
合計	1,716	313	782	268	951	585	195	37	56
	100.0	18.2	45.6	15.6	55.4	34.1	11.4	2.2	3.3
19歳以下	45	11	20	4	29	15	2	1	−
	100.0	24.4	44.4	8.9	64.4	33.3	4.4	2.2	−
20歳代	113	31	64	15	59	34	8	1	1
	100.0	27.4	56.6	13.3	52.2	30.1	7.1	0.9	0.9
30歳代	172	55	95	22	93	43	12	3	3
	100.0	32.0	55.2	12.8	54.1	25.0	7.0	1.7	1.7
40歳代	210	36	95	34	132	66	15	8	1
	100.0	17.1	45.2	16.2	62.9	31.4	7.1	3.8	0.5
50歳代	258	50	114	36	159	88	25	7	5
	100.0	19.4	44.2	14.0	61.6	34.1	9.7	2.7	1.9
60歳代	412	69	194	57	222	163	55	6	12
	100.0	16.7	47.1	13.8	53.9	39.6	13.3	1.5	2.9
70歳代	345	42	135	70	172	127	61	6	18
	100.0	12.2	39.1	20.3	49.9	36.8	17.7	1.7	5.2
80歳以上	144	16	59	29	77	43	14	4	14
	100.0	11.1	41.0	20.1	53.5	29.9	9.7	2.8	9.7

問 20　あなたは、教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

教育を充実させるために力を入れるべきことについてみると、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」が 59.7%と最も高く、次いで「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」が 29.5%、「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」が 26.3%となっています。



年代別でみると、すべての年代で「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」の割合が最も高くなっています。

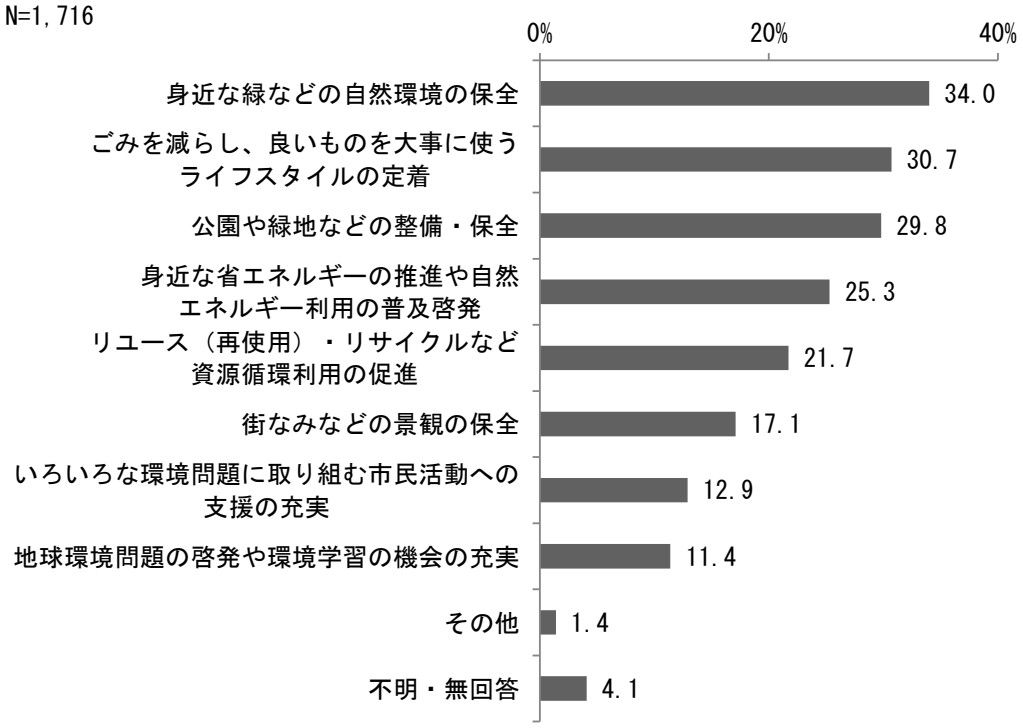
＜問 20 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進	体験学習活動を通じた地域の人たちとの交流	家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進	不登校やいじめなどに対応した教育の推進	学校内や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の充実
合計	1,716	1,025	236	452	506	317
	100.0	59.7	13.8	26.3	29.5	18.5
19歳以下	45	21	7	9	18	8
	100.0	46.7	15.6	20.0	40.0	17.8
20歳代	113	61	25	24	29	20
	100.0	54.0	22.1	21.2	25.7	17.7
30歳代	172	80	43	45	49	40
	100.0	46.5	25.0	26.2	28.5	23.3
40歳代	210	119	26	63	61	43
	100.0	56.7	12.4	30.0	29.0	20.5
50歳代	258	161	33	59	85	56
	100.0	62.4	12.8	22.9	32.9	21.7
60歳代	412	260	49	103	143	65
	100.0	63.1	11.9	25.0	34.7	15.8
70歳代	345	228	39	109	86	55
	100.0	66.1	11.3	31.6	24.9	15.9
80歳以上	144	89	10	38	29	27
	100.0	61.8	6.9	26.4	20.1	18.8

上段:回答数 下段:%	多様なニーズに対応した生涯学習（図書館含む）の活動ができる機会の確保	生涯学習活動の推進のための指導者の育成	文化・芸術活動や国際交流活動の推進	その他	不明・無回答
合計	265	120	142	44	88
	15.4	7.0	8.3	2.6	5.1
19歳以下	9	2	7	3	1
	20.0	4.4	15.6	6.7	2.2
20歳代	27	6	13	4	1
	23.9	5.3	11.5	3.5	0.9
30歳代	27	13	18	4	7
	15.7	7.6	10.5	2.3	4.1
40歳代	31	15	22	7	4
	14.8	7.1	10.5	3.3	1.9
50歳代	32	17	18	10	13
	12.4	6.6	7.0	3.9	5.0
60歳代	72	31	26	6	16
	17.5	7.5	6.3	1.5	3.9
70歳代	46	23	29	8	21
	13.3	6.7	8.4	2.3	6.1
80歳以上	19	12	7	2	22
	13.2	8.3	4.9	1.4	15.3

問 21　あなたは、環境を良くするためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

環境を良くするために力を入れるべきことについてみると、「身近な緑などの自然環境の保全」が 34.0%と最も高く、次いで「ごみを減らし、良いものを大事に使うライフスタイルの定着」が 30.7%、「公園や緑地などの整備・保全」が 29.8%となっています。



年代別でみると、「19 歳以下」「50 歳代」「60 歳代」「80 歳以上」では「ごみを減らし、良いものを大事に使うライフスタイルの定着」の割合が最も高くなっています。

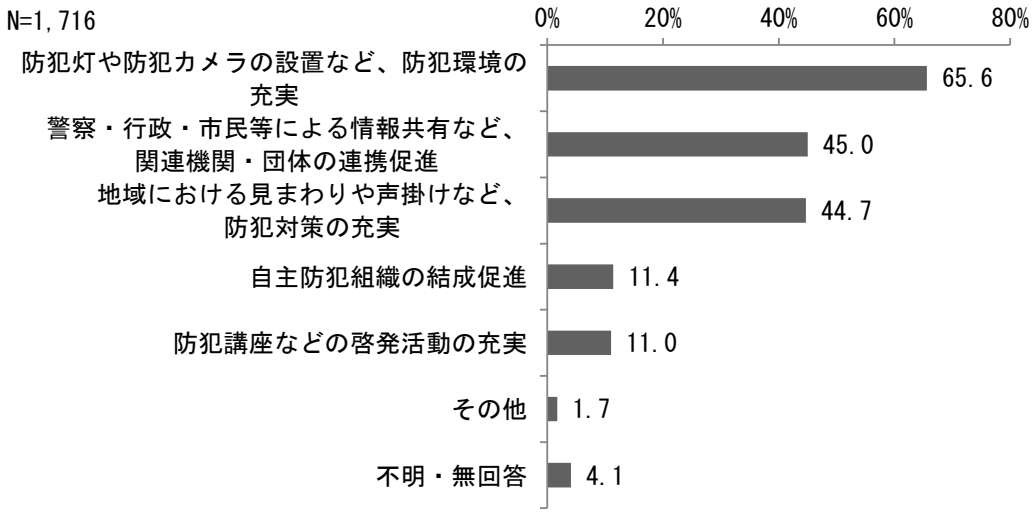
＜問 21 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	身近な省エネルギーの推進や自然エネルギー利用の普及啓発	地球環境問題の啓発や環境学習の機会の充実	身近な緑などの自然環境の保全	公園や緑地などの整備・保全	街なみなどの景観の保全
合計	1,716	434	195	584	512	293
	100.0	25.3	11.4	34.0	29.8	17.1
19歳以下	45	12	1	13	15	4
	100.0	26.7	2.2	28.9	33.3	8.9
20歳代	113	27	15	40	38	20
	100.0	23.9	13.3	35.4	33.6	17.7
30歳代	172	51	15	45	74	27
	100.0	29.7	8.7	26.2	43.0	15.7
40歳代	210	73	22	57	59	43
	100.0	34.8	10.5	27.1	28.1	20.5
50歳代	258	67	26	83	81	42
	100.0	26.0	10.1	32.2	31.4	16.3
60歳代	412	93	39	171	112	72
	100.0	22.6	9.5	41.5	27.2	17.5
70歳代	345	80	60	115	97	52
	100.0	23.2	17.4	33.3	28.1	15.1
80歳以上	144	24	17	54	31	30
	100.0	16.7	11.8	37.5	21.5	20.8

上段:回答数 下段:%	リユース(再使用)・リサイクルなど資源循環利用の促進	ごみを減らし、良いものを大事に使うライフスタイルの定着	いろいろな環境問題に取り組む市民活動への支援の充実	その他	不明・無回答
合計	372	526	221	24	71
	21.7	30.7	12.9	1.4	4.1
19歳以下	14	18	2	2	1
	31.1	40.0	4.4	4.4	2.2
20歳代	28	27	15	1	1
	24.8	23.9	13.3	0.9	0.9
30歳代	49	37	17	2	4
	28.5	21.5	9.9	1.2	2.3
40歳代	52	58	13	3	4
	24.8	27.6	6.2	1.4	1.9
50歳代	65	87	17	3	12
	25.2	33.7	6.6	1.2	4.7
60歳代	93	127	64	8	14
	22.6	30.8	15.5	1.9	3.4
70歳代	44	114	71	3	21
	12.8	33.0	20.6	0.9	6.1
80歳以上	24	57	20	1	11
	16.7	39.6	13.9	0.7	7.6

問 22　あなたは、防犯に対する取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。（MA）

防犯に対する取り組みとして力を入れるべきことについてみると、「防犯灯や防犯カメラの設置など、防犯環境の充実」が 65.6％と最も高く、次いで「警察・行政・市民等による情報共有など、関連機関・団体の連携促進」が 45.0％となっています。



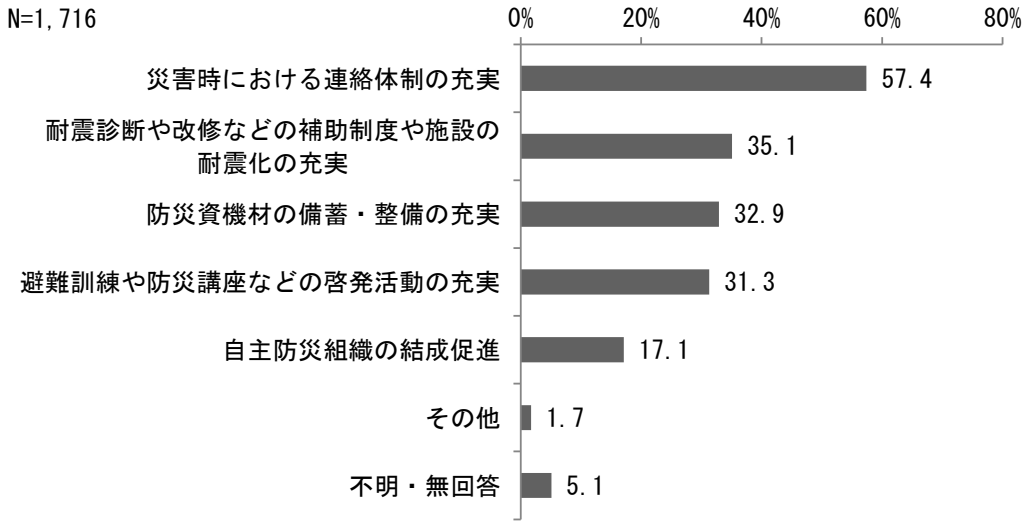
年代別でみると、すべての年代で「防犯灯や防犯カメラの設置など防犯環境の充実」の割合が最も高くなっています。

＜問 22 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	防犯講座などの啓発活動の充実	自主防犯組織の結成促進	地域における見まわりや声掛けなど、防犯対策の充実	防犯灯や防犯カメラの設置など、防犯環境の充実	警察・行政・市民等による情報共有など、関連機関・団体の連携促進	その他	不明・無回答
合計	1,716	189	195	767	1,125	772	30	71
	100.0	11.0	11.4	44.7	65.6	45.0	1.7	4.1
19歳以下	45	9	10	21	28	13	2	1
	100.0	20.0	22.2	46.7	62.2	28.9	4.4	2.2
20歳代	113	13	17	55	61	57	3	1
	100.0	11.5	15.0	48.7	54.0	50.4	2.7	0.9
30歳代	172	22	15	88	115	73	4	5
	100.0	12.8	8.7	51.2	66.9	42.4	2.3	2.9
40歳代	210	26	21	83	132	119	2	4
	100.0	12.4	10.0	39.5	62.9	56.7	1.0	1.9
50歳代	258	23	19	109	176	121	8	13
	100.0	8.9	7.4	42.2	68.2	46.9	3.1	5.0
60歳代	412	29	50	185	282	194	6	15
	100.0	7.0	12.1	44.9	68.4	47.1	1.5	3.6
70歳代	345	51	42	162	229	132	3	17
	100.0	14.8	12.2	47.0	66.4	38.3	0.9	4.9
80歳以上	144	13	19	59	93	55	2	13
	100.0	9.0	13.2	41.0	64.6	38.2	1.4	9.0

問 23　あなたは、防災に対する取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。（MA）

防災に対する取り組みとして力を入れるべきことについてみると、「災害時における連絡体制の充実」が 57.4％と最も高く、次いで「耐震診断や改修などの補助制度や施設の耐震化の充実」が 35.1％となっています。



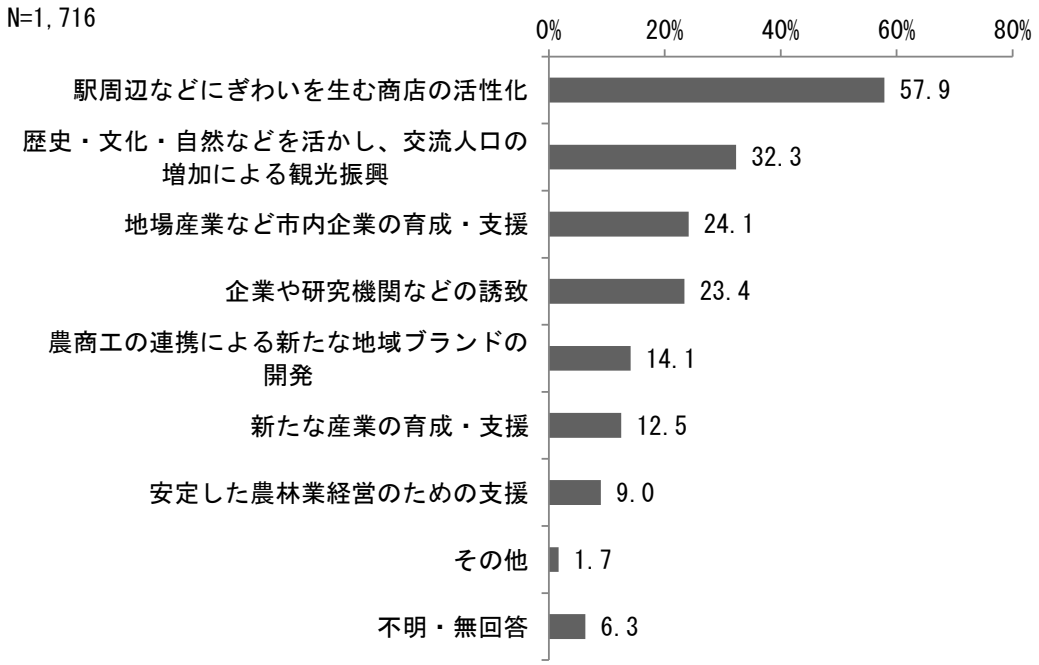
年代別でみると、すべての年代で「災害時における連絡体制の充実」の割合が最も高くなっています。

＜問 23 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	避難訓練や防災講座などの啓発活動の充実	自主防災組織の結成促進	耐震診断や改修などの補助制度や施設の耐震化の充実	防災資機材の備蓄・整備の充実	災害時における連絡体制の充実	その他	不明・無回答
合計	1,716	537	294	603	564	985	30	87
	100.0	31.3	17.1	35.1	32.9	57.4	1.7	5.1
19歳以下	45	11	8	18	19	25	1	1
	100.0	24.4	17.8	40.0	42.2	55.6	2.2	2.2
20歳代	113	31	18	52	50	53	3	1
	100.0	27.4	15.9	46.0	44.2	46.9	2.7	0.9
30歳代	172	53	19	75	74	90	3	6
	100.0	30.8	11.0	43.6	43.0	52.3	1.7	3.5
40歳代	210	71	23	77	89	116	4	4
	100.0	33.8	11.0	36.7	42.4	55.2	1.9	1.9
50歳代	258	62	28	101	96	141	8	18
	100.0	24.0	10.9	39.1	37.2	54.7	3.1	7.0
60歳代	412	137	78	139	117	254	6	15
	100.0	33.3	18.9	33.7	28.4	61.7	1.5	3.6
70歳代	345	134	79	96	83	214	3	20
	100.0	38.8	22.9	27.8	24.1	62.0	0.9	5.8
80歳以上	144	35	38	39	29	85	2	20
	100.0	24.3	26.4	27.1	20.1	59.0	1.4	13.9

問 24　あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

産業振興・活性化のために力を入れるべきことについてみると、「駅周辺などのにぎわいを生む商店の活性化」が 57.9%と最も高く、次いで「歴史・文化・自然などを活かし、交流人口の増加による観光振興」が 32.3%となっています。



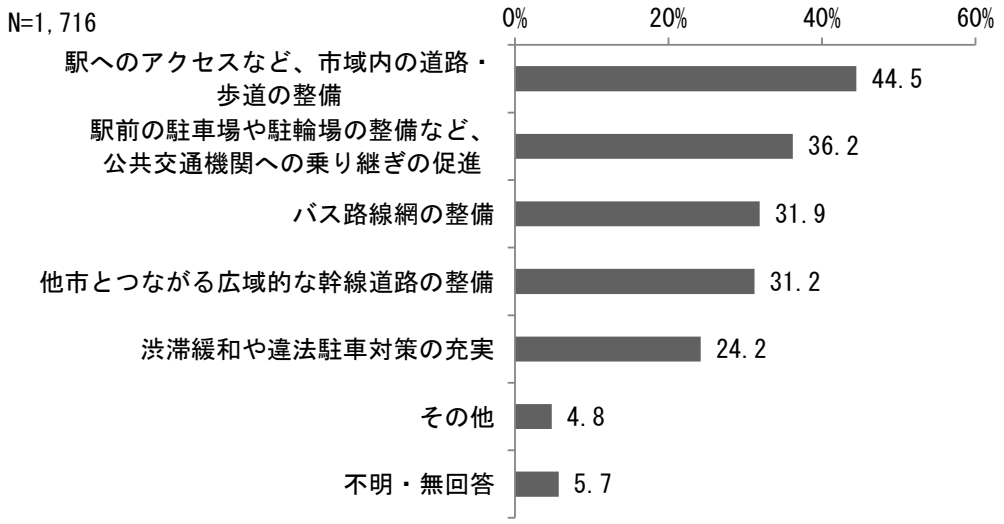
年代別でみると、すべての年代で「駅周辺などにぎわいを生む商店の活性化」の割合が最も高くなっています。

＜問 24 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	駅周辺などにぎわいを生む商店の活性化	企業や研究機関などの誘致	新たな産業の育成・支援	地場産業など市内企業の育成・支援	安定した農林業経営のための支援	農商工の連携による新たな地域ブランドの開発	歴史・文化・自然などを活かし、交流人口の増加による観光振興	その他	不明・無回答
合計	1,716	994	402	214	414	154	242	554	30	108
	100.0	57.9	23.4	12.5	24.1	9.0	14.1	32.3	1.7	6.3
19歳以下	45	26	12	5	10	6	8	8	1	1
	100.0	57.8	26.7	11.1	22.2	13.3	17.8	17.8	2.2	2.2
20歳代	113	72	30	14	21	10	19	38	－	2
	100.0	63.7	26.5	12.4	18.6	8.8	16.8	33.6	－	1.8
30歳代	172	113	42	25	38	18	18	49	4	7
	100.0	65.7	24.4	14.5	22.1	10.5	10.5	28.5	2.3	4.1
40歳代	210	127	58	28	50	17	36	56	2	6
	100.0	60.5	27.6	13.3	23.8	8.1	17.1	26.7	1.0	2.9
50歳代	258	156	54	38	63	22	42	65	5	17
	100.0	60.5	20.9	14.7	24.4	8.5	16.3	25.2	1.9	6.6
60歳代	412	237	102	47	104	35	58	160	8	16
	100.0	57.5	24.8	11.4	25.2	8.5	14.1	38.8	1.9	3.9
70歳代	345	182	81	42	89	32	44	123	8	34
	100.0	52.8	23.5	12.2	25.8	9.3	12.8	35.7	2.3	9.9
80歳以上	144	71	21	11	38	13	15	51	1	22
	100.0	49.3	14.6	7.6	26.4	9.0	10.4	35.4	0.7	15.3

問 25　あなたは、交通の整備を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

交通の整備を充実させるために今後力を入れるべきことについてみると、「駅へのアクセスなど、市域内の道路・歩道の整備」が 44.5%と最も高く、次いで「駅前の駐車場や駐輪場の整備など、公共交通機関への乗り継ぎの促進」が 36.2%となっています。



年代別でみると、「30 歳代」と「80 歳以上」を除くすべての年代で「駅へのアクセスなど、市域内の道路・歩道の整備」の割合が最も高くなっています。

＜問 25 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	他市とつながる広域的な幹線道路の整備	駅へのアクセスなど、市域内の道路・歩道の整備	バス路線網の整備	駅前の駐車場や駐輪場の整備など、公共交通機関への乗り継ぎの促進	渋滞緩和や違法駐車対策の充実	その他	不明・無回答
合計	1,716	535	764	548	622	415	82	98
	100.0	31.2	44.5	31.9	36.2	24.2	4.8	5.7
19歳以下	45	14	27	12	12	11	－	1
	100.0	31.1	60.0	26.7	26.7	24.4	－	2.2
20歳代	113	31	55	44	40	26	5	3
	100.0	27.4	48.7	38.9	35.4	23.0	4.4	2.7
30歳代	172	64	71	45	77	42	8	7
	100.0	37.2	41.3	26.2	44.8	24.4	4.7	4.1
40歳代	210	72	80	60	75	64	15	4
	100.0	34.3	38.1	28.6	35.7	30.5	7.1	1.9
50歳代	258	80	124	70	96	63	12	14
	100.0	31.0	48.1	27.1	37.2	24.4	4.7	5.4
60歳代	412	140	190	134	139	110	19	16
	100.0	34.0	46.1	32.5	33.7	26.7	4.6	3.9
70歳代	345	91	159	125	134	67	15	26
	100.0	26.4	46.1	36.2	38.8	19.4	4.3	7.5
80歳以上	144	39	52	53	42	29	6	24
	100.0	27.1	36.1	36.8	29.2	20.1	4.2	16.7

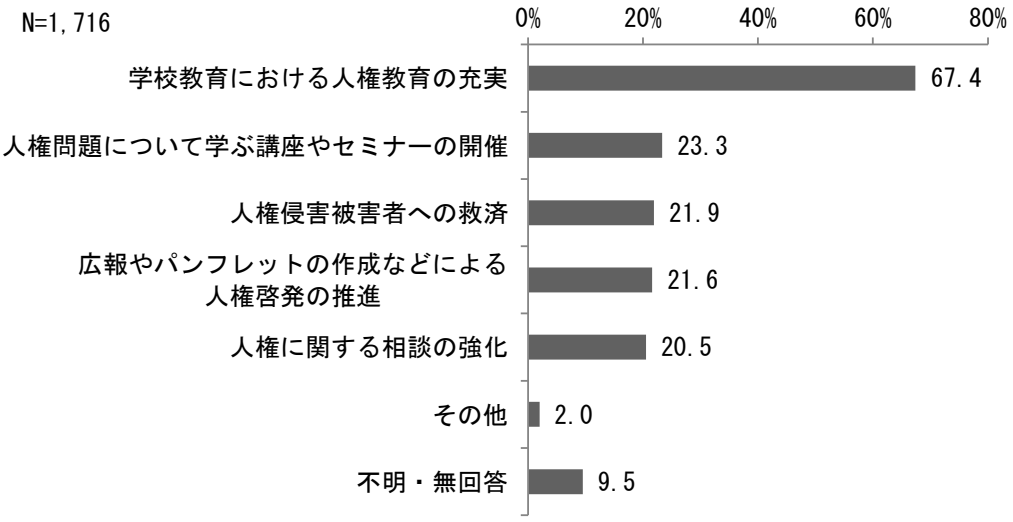
小学校区別でみると、「天野小学校区」と「加賀田小学校区」では「バス路線網の整備」の割合が最も高くなっています。

＜問 25 小学校区別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	他市とつながる広域的な幹線道路の整備	駅へのアクセスなど、市域内の道路・歩道の整備	バス路線網の整備	駅前の駐車場や駐輪場の整備など、公共交通機関への乗り継ぎの促進	渋滞緩和や違法駐車対策の充実	その他	不明・無回答
合計	1,716	535	764	548	622	415	82	98
	100.0	31.2	44.5	31.9	36.2	24.2	4.8	5.7
長野小学校区	216	61	114	39	95	52	7	15
	100.0	28.2	52.8	18.1	44.0	24.1	3.2	6.9
小山田小学校区	141	39	54	37	59	46	7	13
	100.0	27.7	38.3	26.2	41.8	32.6	5.0	9.2
天野小学校区	83	25	34	38	36	14	3	3
	100.0	30.1	41.0	45.8	43.4	16.9	3.6	3.6
高向小学校区	78	24	37	30	24	17	3	5
	100.0	30.8	47.4	38.5	30.8	21.8	3.8	6.4
三日市小学校区	176	52	78	51	62	51	13	6
	100.0	29.5	44.3	29.0	35.2	29.0	7.4	3.4
天見小学校区	18	8	6	4	7	3	1	1
	100.0	44.4	33.3	22.2	38.9	16.7	5.6	5.6
川上小学校区	140	50	67	52	41	26	5	9
	100.0	35.7	47.9	37.1	29.3	18.6	3.6	6.4
千代田小学校区	205	68	87	51	84	57	4	9
	100.0	33.2	42.4	24.9	41.0	27.8	2.0	4.4
楠小学校区	140	31	57	47	57	38	7	9
	100.0	22.1	40.7	33.6	40.7	27.1	5.0	6.4
加賀田小学校区	131	36	62	63	35	25	12	5
	100.0	27.5	47.3	48.1	26.7	19.1	9.2	3.8
石仏小学校区	89	31	35	33	34	22	6	3
	100.0	34.8	39.3	37.1	38.2	24.7	6.7	3.4
美加の台小学校区	116	40	46	40	36	24	9	9
	100.0	34.5	39.7	34.5	31.0	20.7	7.8	7.8
南花台小学校区	141	61	70	54	40	29	3	4
	100.0	43.3	49.6	38.3	28.4	20.6	2.1	2.8

問 26　あなたは、人権問題を解決するためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

人権問題を解決するために今後力を入れるべきことについてみると、「学校教育における人権教育の充実」が 67.4%と最も高く、次いで「人権問題について学ぶ講座やセミナーの開催」が 23.3%となっています。



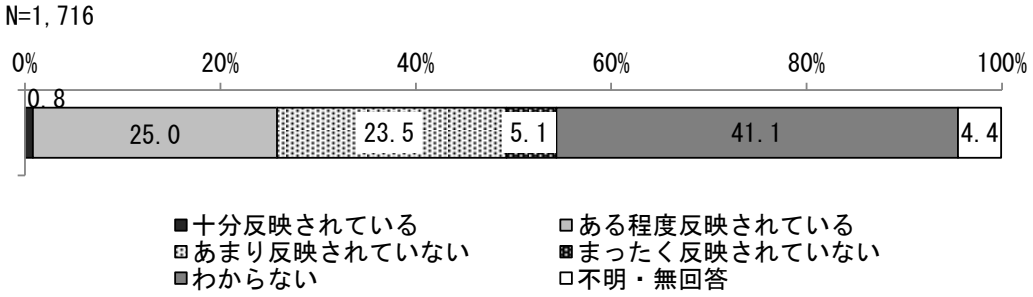
年代別でみると、すべての年代で「学校教育における人権教育の充実」の割合が最も高くなっています。

＜問 26 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	人権問題について学ぶ講座やセミナーの開催	学校教育における人権教育の充実	人権に関する相談の強化	人権侵害被害者への救済	広報やパンフレットの作成などによる人権啓発の推進	その他	不明･無回答
合計	1,716	399	1,157	352	375	370	34	163
	100.0	23.3	67.4	20.5	21.9	21.6	2.0	9.5
19歳以下	45	9	30	12	12	9	1	3
	100.0	20.0	66.7	26.7	26.7	20.0	2.2	6.7
20歳代	113	24	79	33	29	18	2	6
	100.0	21.2	69.9	29.2	25.7	15.9	1.8	5.3
30歳代	172	33	131	28	43	35	6	10
	100.0	19.2	76.2	16.3	25.0	20.3	3.5	5.8
40歳代	210	37	139	50	56	36	3	17
	100.0	17.6	66.2	23.8	26.7	17.1	1.4	8.1
50歳代	258	59	178	53	59	40	8	23
	100.0	22.9	69.0	20.5	22.9	15.5	3.1	8.9
60歳代	412	110	295	86	88	84	5	28
	100.0	26.7	71.6	20.9	21.4	20.4	1.2	6.8
70歳代	345	85	220	60	64	101	5	48
	100.0	24.6	63.8	17.4	18.6	29.3	1.4	13.9
80歳以上	144	40	74	27	21	44	4	24
	100.0	27.8	51.4	18.8	14.6	30.6	2.8	16.7

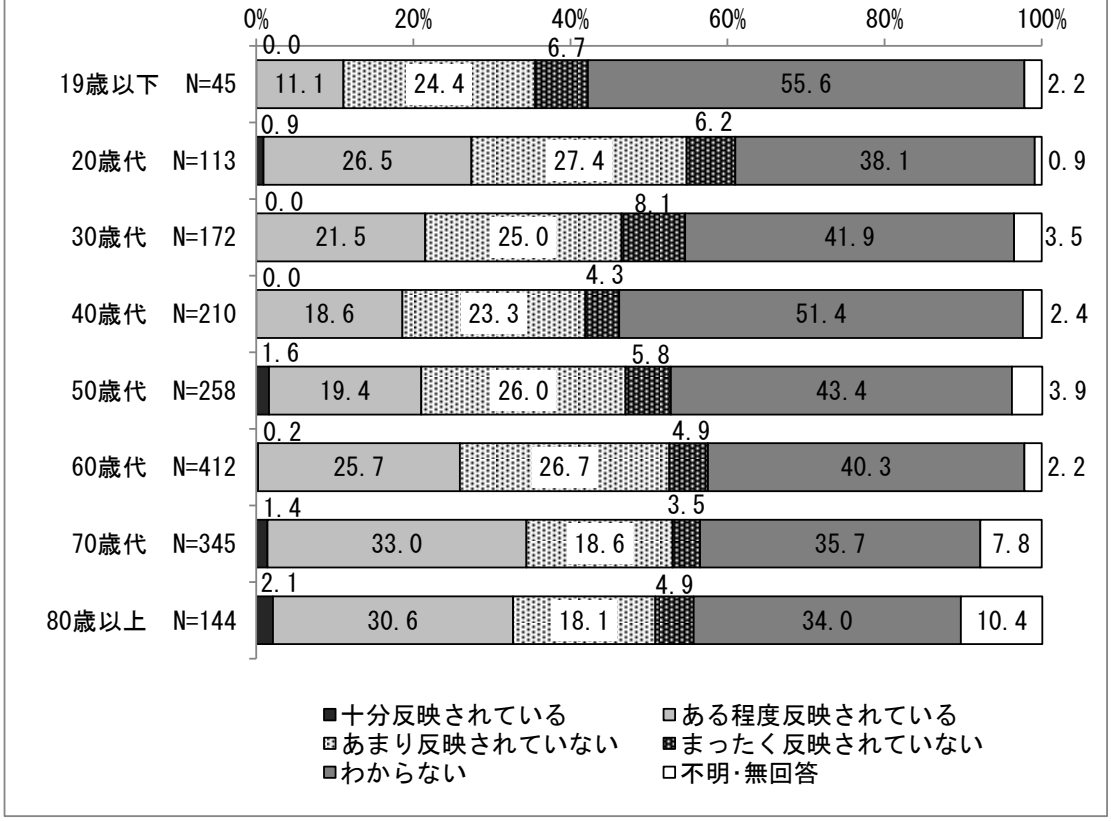
問 27　あなたは、現在の市政に市民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。(SA)

市政に市民の意向がどの程度反映されているかについてみると、「わからない」が 41.1%と最も高く、次いで「ある程度反映されている」が 25.0%、「あまり反映されていない」が 23.5%となっています。



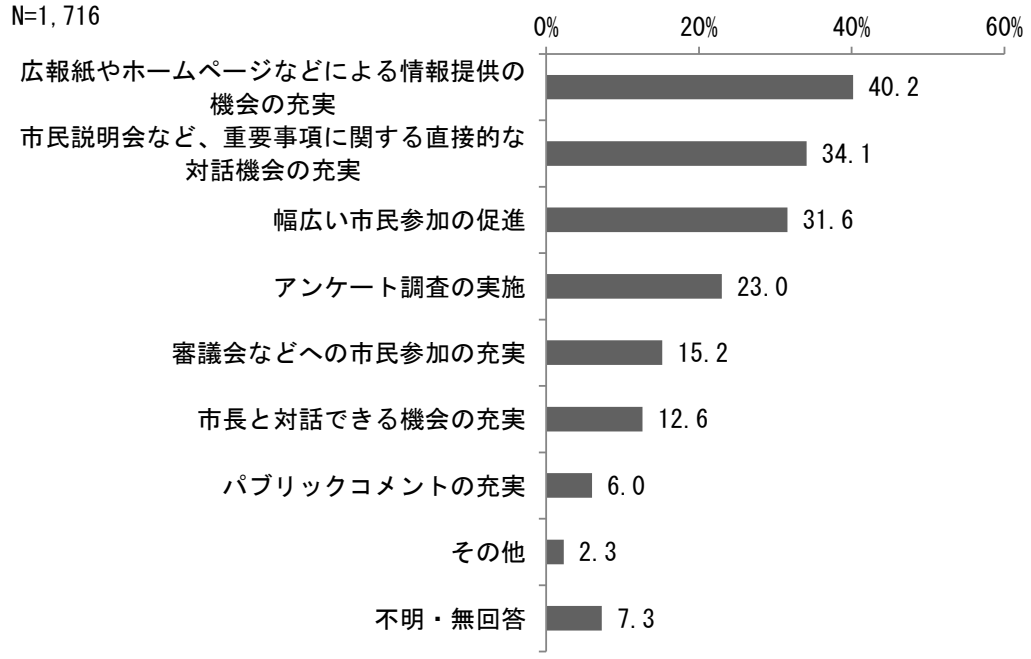
年代別でみると、すべての年代で「わからない」の割合が最も高くなっています。また、19 歳以下から 60 歳代では「わからない」に次いで「あまり反映されていない」の割合が高くなっています。

＜問 27 年代別クロス集計＞



問 28　あなたは、できるだけ多くの市民の意向を市政に反映させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

できるだけ多く市民の意向を市政に反映させるために力を入れるべきことについてみると、「広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実」が 40.2%と最も高く、次いで「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」が 34.1%、「幅広い市民参加の促進」が 31.6%となっています。



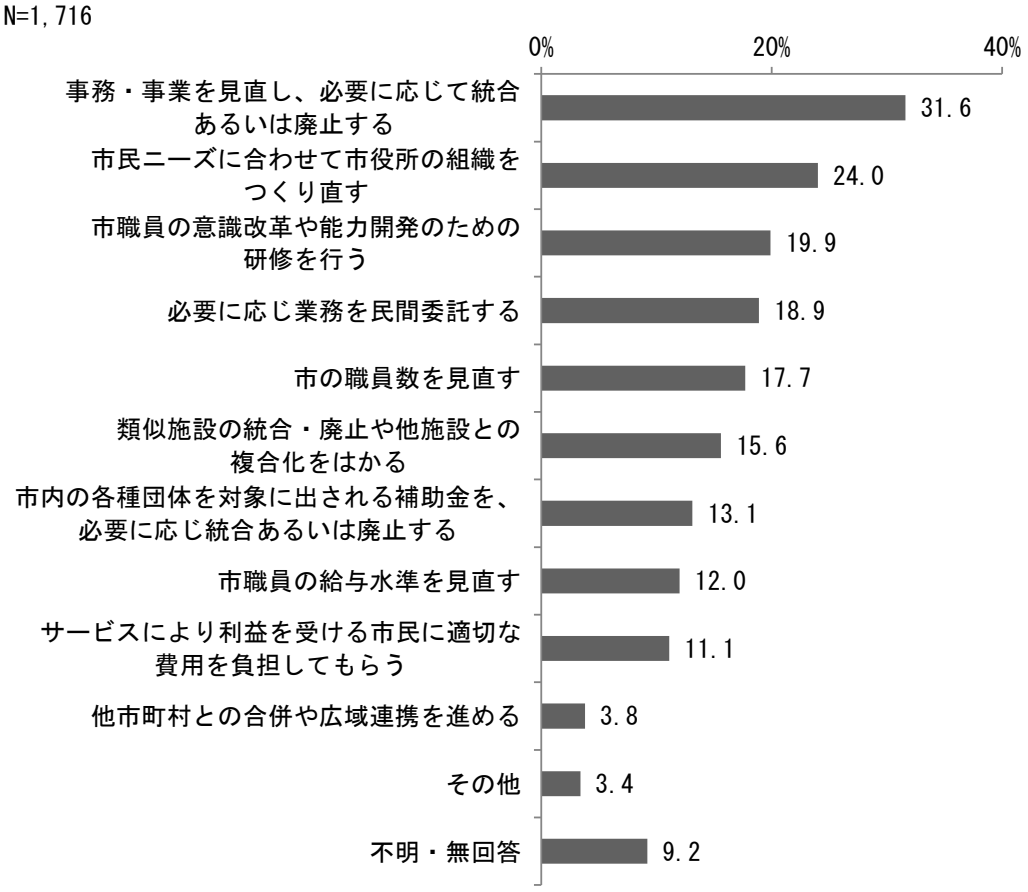
年代別でみると、「19 歳以下」「20 歳代」「70 歳代」を除くすべての年代で「広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実」の割合が最も高くなっています。

＜問 28 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	市長と対話できる機会の充実	市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実	幅広い市民参加の促進	審議会などへの市民参加の充実	アンケート調査の実施	パブリックコメントの充実	広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実	その他	不明・無回答
合計	1,716	217	586	543	260	395	103	690	40	126
	100.0	12.6	34.1	31.6	15.2	23.0	6.0	40.2	2.3	7.3
19歳以下	45	9	14	13	5	19	3	16	2	1
	100.0	20.0	31.1	28.9	11.1	42.2	6.7	35.6	4.4	2.2
20歳代	113	20	35	34	19	32	16	32	4	2
	100.0	17.7	31.0	30.1	16.8	28.3	14.2	28.3	3.5	1.8
30歳代	172	26	49	51	20	65	15	66	5	9
	100.0	15.1	28.5	29.7	11.6	37.8	8.7	38.4	2.9	5.2
40歳代	210	33	55	53	36	65	23	90	3	6
	100.0	15.7	26.2	25.2	17.1	31.0	11.0	42.9	1.4	2.9
50歳代	258	23	84	79	45	61	19	104	10	14
	100.0	8.9	32.6	30.6	17.4	23.6	7.4	40.3	3.9	5.4
60歳代	412	52	149	157	60	70	15	185	11	27
	100.0	12.6	36.2	38.1	14.6	17.0	3.6	44.9	2.7	6.6
70歳代	345	35	142	114	52	54	8	138	3	41
	100.0	10.1	41.2	33.0	15.1	15.7	2.3	40.0	0.9	11.9
80歳以上	144	17	50	38	21	27	3	55	2	22
	100.0	11.8	34.7	26.4	14.6	18.8	2.1	38.2	1.4	15.3

問 29　あなたは、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、どのような方策が必要だと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

効果的かつ効率的な行政サービスを提供するために必要な方策についてみると、「事務・事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」が 31.6%と最も高く、次いで「市民ニーズに合わせて市役所の組織をつくり直す」が 24.0%、「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」が 19.9%となっています。



年代別でみると、すべての年代で「事務・事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」の割合が最も高くなっています。

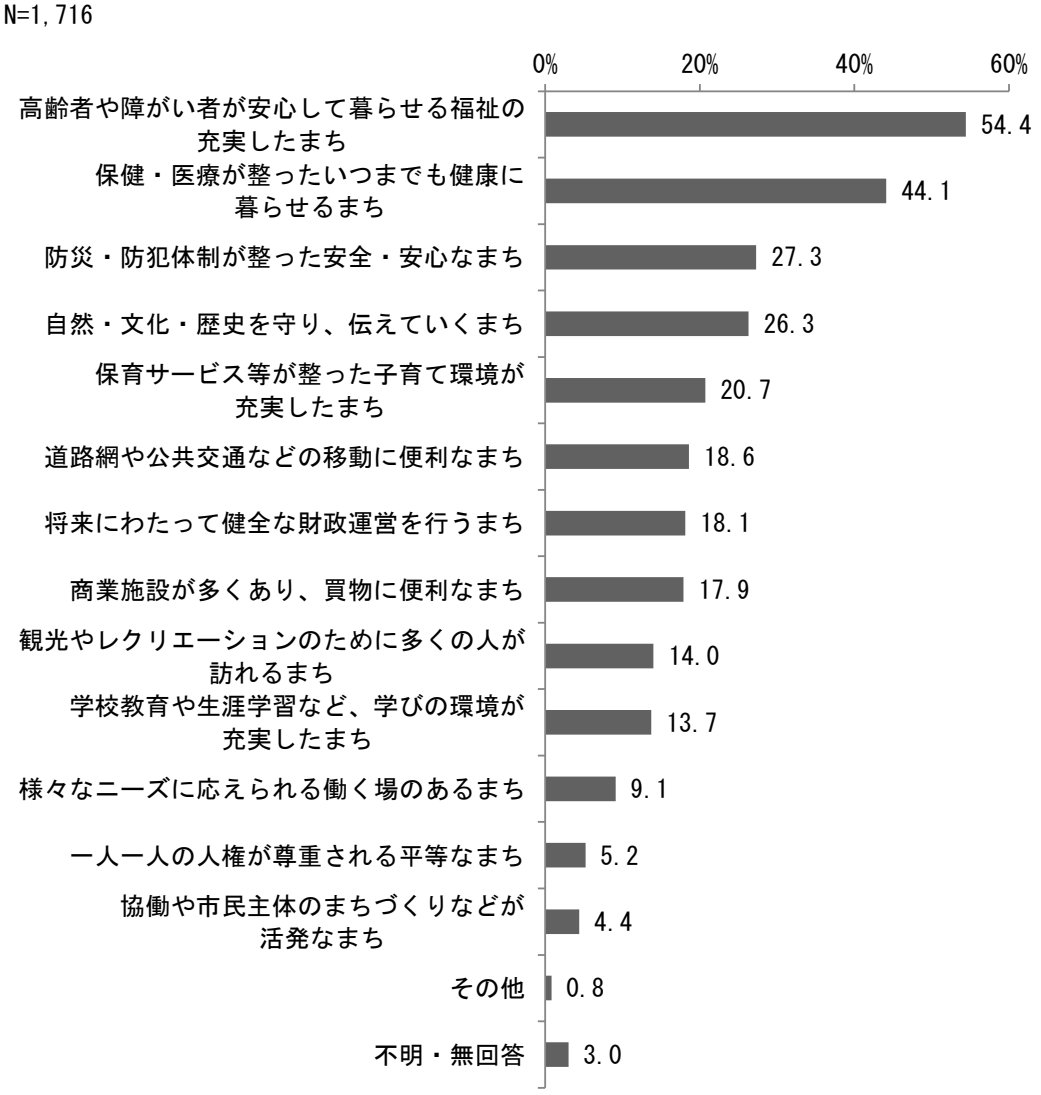
＜問 29 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	事務･事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する	市民ニーズに合わせて市役所の組織をつくり直す	市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う	市内の各種団体を対象に出される補助金を、必要に応じ統合あるいは廃止する	サービスにより利益を受ける市民に適切な費用を負担してもらう	類似施設の統合･廃止や他施設との複合化をはかる
合計	1,716	542	411	341	224	190	267
	100.0	31.6	24.0	19.9	13.1	11.1	15.6
19歳以下	45	13	12	11	7	7	8
	100.0	28.9	26.7	24.4	15.6	15.6	17.8
20歳代	113	35	26	18	13	8	17
	100.0	31.0	23.0	15.9	11.5	7.1	15.0
30歳代	172	65	46	23	20	25	36
	100.0	37.8	26.7	13.4	11.6	14.5	20.9
40歳代	210	70	52	34	27	29	28
	100.0	33.3	24.8	16.2	12.9	13.8	13.3
50歳代	258	80	65	45	27	26	40
	100.0	31.0	25.2	17.4	10.5	10.1	15.5
60歳代	412	137	99	86	61	37	66
	100.0	33.3	24.0	20.9	14.8	9.0	16.0
70歳代	345	101	77	92	48	41	49
	100.0	29.3	22.3	26.7	13.9	11.9	14.2
80歳以上	144	33	28	31	20	17	21
	100.0	22.9	19.4	21.5	13.9	11.8	14.6

上段:回答数 下段:%	他市町村との合併や広域連携を進める	必要に応じ業務を民間委託する	市の職員数を見直す	市職員の給与水準を見直す	その他	不明･無回答
合計	65	325	303	206	58	158
	3.8	18.9	17.7	12.0	3.4	9.2
19歳以下	1	7	4	6	1	1
	2.2	15.6	8.9	13.3	2.2	2.2
20歳代	10	24	14	22	4	6
	8.8	21.2	12.4	19.5	3.5	5.3
30歳代	8	47	19	21	7	7
	4.7	27.3	11.0	12.2	4.1	4.1
40歳代	7	48	30	31	10	13
	3.3	22.9	14.3	14.8	4.8	6.2
50歳代	7	58	43	27	11	24
	2.7	22.5	16.7	10.5	4.3	9.3
60歳代	13	66	109	54	10	33
	3.2	16.0	26.5	13.1	2.4	8.0
70歳代	15	52	60	28	11	44
	4.3	15.1	17.4	8.1	3.2	12.8
80歳以上	4	20	20	12	4	30
	2.8	13.9	13.9	8.3	2.8	20.8

問 30　あなたは、河内長野市が将来どのようなイメージのまちになっていてほしいと思いますか。お考えに近いものを３つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

河内長野市が将来どのようなイメージのまちになってほしいかについてみると、「高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉の充実したまち」が 54.4%と最も高く、次いで「保健・医療が整ったいつまでも健康に暮らせるまち」が 44.1%、「防災・防犯体制が整った安全・安心なまち」が 27.3%となっています。



年代別でみると、「40 歳代」を除くすべての年代で「高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉の充実したまち」の割合が最も高くなっています。

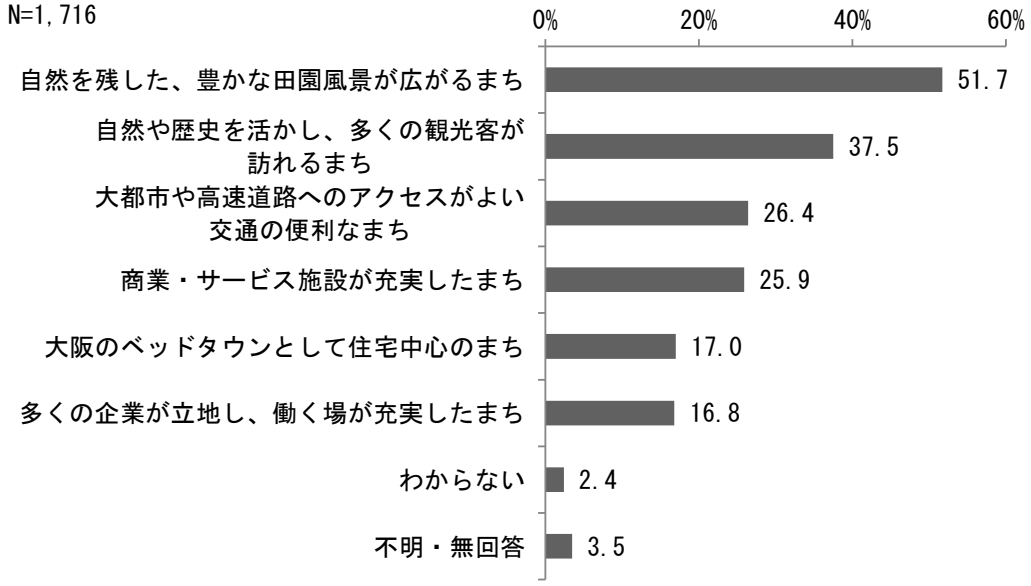
＜問 30 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉の充実したまち	保育サービス等が整った子育て環境が充実したまち	保健・医療が整ったいつまでも健康に暮らせるまち	学校教育や生涯学習など、学びの環境が充実したまち	自然・文化・歴史を守り、伝えていくまち	防災・防犯体制が整った安全・安心なまち	商業施設が多くあり、買物に便利なまち
合計	1,716	933	355	756	235	451	469	307
	100.0	54.4	20.7	44.1	13.7	26.3	27.3	17.9
19歳以下	45	18	10	15	10	14	15	9
	100.0	40.0	22.2	33.3	22.2	31.1	33.3	20.0
20歳代	113	54	37	39	18	33	26	32
	100.0	47.8	32.7	34.5	15.9	29.2	23.0	28.3
30歳代	172	67	63	65	37	42	49	35
	100.0	39.0	36.6	37.8	21.5	24.4	28.5	20.3
40歳代	210	91	40	102	47	53	64	39
	100.0	43.3	19.0	48.6	22.4	25.2	30.5	18.6
50歳代	258	141	48	116	31	69	76	50
	100.0	54.7	18.6	45.0	12.0	26.7	29.5	19.4
60歳代	412	242	70	196	43	120	110	72
	100.0	58.7	17.0	47.6	10.4	29.1	26.7	17.5
70歳代	345	212	60	152	33	83	92	48
	100.0	61.4	17.4	44.1	9.6	24.1	26.7	13.9
80歳以上	144	99	22	62	11	35	32	21
	100.0	68.8	15.3	43.1	7.6	24.3	22.2	14.6

上段:回答数 下段:%	様々なニーズに応えられる働く場のあるまち	観光やレクリエーションのために多くの人が訪れるまち	道路網や公共交通などの移動に便利なまち	一人一人の人権が尊重される平等なまち	協働や市民主体のまちづくりなどが活発なまち	将来にわたって健全な財政運営を行うまち	その他	不明・無回答
合計	156	241	320	90	76	311	14	52
	9.1	14.0	18.6	5.2	4.4	18.1	0.8	3.0
19歳以下	5	8	11	3	1	4	1	−
	11.1	17.8	24.4	6.7	2.2	8.9	2.2	−
20歳代	16	19	18	5	5	17	−	1
	14.2	16.8	15.9	4.4	4.4	15.0	−	0.9
30歳代	23	19	27	4	7	34	1	6
	13.4	11.0	15.7	2.3	4.1	19.8	0.6	3.5
40歳代	20	30	37	10	11	31	1	2
	9.5	14.3	17.6	4.8	5.2	14.8	0.5	1.0
50歳代	19	38	49	16	13	36	4	8
	7.4	14.7	19.0	6.2	5.0	14.0	1.6	3.1
60歳代	40	61	93	16	20	75	3	7
	9.7	14.8	22.6	3.9	4.9	18.2	0.7	1.7
70歳代	24	45	64	24	17	79	3	16
	7.0	13.0	18.6	7.0	4.9	22.9	0.9	4.6
80歳以上	7	20	19	12	2	33	−	12
	4.9	13.9	13.2	8.3	1.4	22.9	−	8.3

問 31　あなたは、河内長野市の土地利用などを含めた将来のまちの姿について、どのようになってほしいとお考えですか。あてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

将来のまちの姿についてどのようになってほしいかについてみると、「自然を残した、豊かな田園風景が広がるまち」が 51.7%と最も高く、次いで「自然や歴史を活かし、多くの観光客が訪れるまち」が 37.5%となっています。



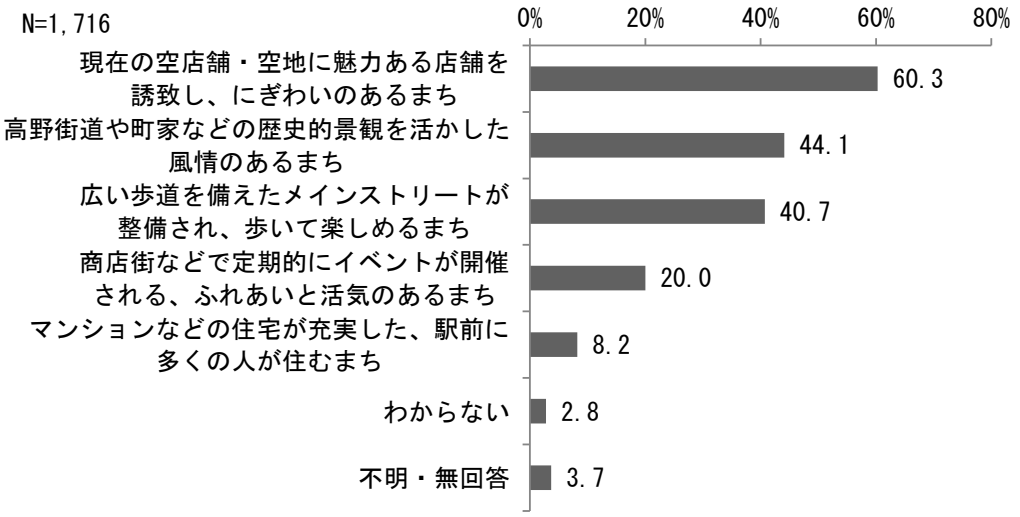
年代別でみると、すべての年代で「自然を残した、豊かな田園風景が広がるまち」の割合が最も高くなっています。

＜問 31 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	大阪のベッドタウンとして住宅中心のまち	自然を残した、豊かな田園風景が広がるまち	自然や歴史を活かし、多くの観光客が訪れるまち	多くの企業が立地し、働く場が充実したまち	商業・サービス施設が充実したまち	大都市や高速道路へのアクセスがよい交通の便利なまち	わからない	不明・無回答
合計	1,716	291	887	643	289	444	453	42	60
	100.0	17.0	51.7	37.5	16.8	25.9	26.4	2.4	3.5
19歳以下	45	9	26	14	8	16	9	−	−
	100.0	20.0	57.8	31.1	17.8	35.6	20.0	−	−
20歳代	113	27	52	36	17	43	28	−	2
	100.0	23.9	46.0	31.9	15.0	38.1	24.8	−	1.8
30歳代	172	32	93	52	18	58	48	3	5
	100.0	18.6	54.1	30.2	10.5	33.7	27.9	1.7	2.9
40歳代	210	36	107	69	28	51	63	10	4
	100.0	17.1	51.0	32.9	13.3	24.3	30.0	4.8	1.9
50歳代	258	35	128	91	43	77	65	8	10
	100.0	13.6	49.6	35.3	16.7	29.8	25.2	3.1	3.9
60歳代	412	63	219	167	82	107	117	11	6
	100.0	15.3	53.2	40.5	19.9	26.0	28.4	2.7	1.5
70歳代	345	58	182	152	65	59	86	5	21
	100.0	16.8	52.8	44.1	18.8	17.1	24.9	1.4	6.1
80歳以上	144	28	71	54	25	28	35	3	12
	100.0	19.4	49.3	37.5	17.4	19.4	24.3	2.1	8.3

問 32　中心市街地（河内長野駅周辺など）では、どのようなまちづくりを進めるべきだとお考えですか。あてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。（MA）

中心市街地では、どのようなまちづくりを進めるべきかについてみると、「現在の空き店舗・空地に魅力ある店舗を誘致し、にぎわいのあるまち」が 60.3%と最も高く、次いで「高野街道や町家などの歴史的景観を活かした風情のあるまち」が 44.1%となっています。



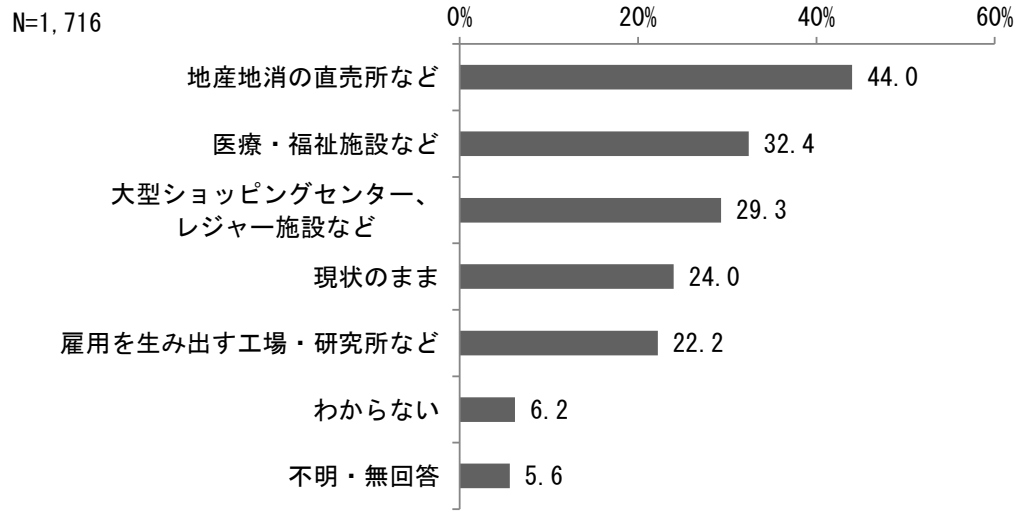
年代別でみると、すべての年代で「現在の空き店舗・空地に魅力ある店舗を誘致し、にぎわいのあるまち」の割合が最も高くなっています。

＜問 32 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	広い歩道を備えたメインストリートが整備され、歩いて楽しめるまち	高野街道や町家などの歴史的景観を活かした風情のあるまち	現在の空店舗・空地に魅力ある店舗を誘致し、にぎわいのあるまち	商店街などで定期的にイベントが開催される、ふれあいと活気のあるまち	マンションなどの住宅が充実した、駅前に多くの人が住むまち	わからない	不明・無回答
合計	1,716	699	757	1035	343	141	48	64
	100.0	40.7	44.1	60.3	20.0	8.2	2.8	3.7
19歳以下	45	12	16	27	16	5	−	1
	100.0	26.7	35.6	60.0	35.6	11.1	−	2.2
20歳代	113	43	42	72	31	18	−	2
	100.0	38.1	37.2	63.7	27.4	15.9	−	1.8
30歳代	172	59	76	120	32	11	4	5
	100.0	34.3	44.2	69.8	18.6	6.4	2.3	2.9
40歳代	210	80	96	131	40	16	6	3
	100.0	38.1	45.7	62.4	19.0	7.6	2.9	1.4
50歳代	258	99	113	163	47	15	8	12
	100.0	38.4	43.8	63.2	18.2	5.8	3.1	4.7
60歳代	412	179	202	246	81	31	14	6
	100.0	43.4	49.0	59.7	19.7	7.5	3.4	1.5
70歳代	345	154	146	189	73	29	13	22
	100.0	44.6	42.3	54.8	21.2	8.4	3.8	6.4
80歳以上	144	66	55	78	21	16	3	12
	100.0	45.8	38.2	54.2	14.6	11.1	2.1	8.3

問 33　幹線道路沿いに田畑や森林が広がる地域について、どのような土地利用を行うべきとお考えですか。あてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。(MA)

幹線道路沿いに田畑や森林が広がる地域について、どのような土地利用を行うべきかについてみると、「地産地消の直売所など」が 44.0%と最も高く、次いで「医療・福祉施設など」が 32.4%となっています。



年代別でみると、「19 歳以下」と「30 歳代」「80 歳以上」を除くすべての年代で「地産地消の直売所」の割合が最も高くなっています。

＜問 33 年代別クロス集計＞

上段:回答数 下段:%	回答者数	現状のまま	地産地消の直売所など	大型ショッピングセンター、レジャー施設など	雇用を生み出す工場・研究所など	医療・福祉施設など	わからない	不明・無回答
合計	1,716	412	755	503	381	556	106	96
	100.0	24.0	44.0	29.3	22.2	32.4	6.2	5.6
19歳以下	45	14	17	19	6	6	3	－
	100.0	31.1	37.8	42.2	13.3	13.3	6.7	－
20歳代	113	38	46	44	12	29	5	4
	100.0	33.6	40.7	38.9	10.6	25.7	4.4	3.5
30歳代	172	51	75	79	29	35	6	4
	100.0	29.7	43.6	45.9	16.9	20.3	3.5	2.3
40歳代	210	57	96	79	33	50	16	9
	100.0	27.1	45.7	37.6	15.7	23.8	7.6	4.3
50歳代	258	68	103	76	53	77	16	14
	100.0	26.4	39.9	29.5	20.5	29.8	6.2	5.4
60歳代	412	92	193	98	104	160	26	21
	100.0	22.3	46.8	23.8	25.2	38.8	6.3	5.1
70歳代	345	70	160	70	100	129	23	26
	100.0	20.3	46.4	20.3	29.0	37.4	6.7	7.5
80歳以上	144	19	59	33	39	65	10	16
	100.0	13.2	41.0	22.9	27.1	45.1	6.9	11.1

問 34　10 年後の河内長野市を住みやすいまちにするために、どのようなことが必要だと思いますか。あなたのご意見をご自由にお書きください。

【高齢者・高齢化社会について】

主な意見
10 年後には高齢化が進み、1人で家で生活できない高齢者が増える。受け入れ施設を増やすのも考えだが、住み慣れた家の近くに診療所、介護タクシー、駅まで行けるバス停、買い物できる店（食品、日用品）が増えれば自力で生きていけるのではないか。市の事業の一つとして値段も安めにし、誰でも利用できる環境を実現してほしい
65 歳以上の住民が健康で元気に充実した老後を過ごせるまちづくりとして、1）65 歳以上がお小遣い程度、自分達で収入が得れる場づくり、2）公園内に健康遊具の設置、3）地元ウォーキングイベントなどの充実等を行ってほしい
75 歳以上はバス代を安くしてもらえる、低所得者はバス代無料等の支援がほしい
今以上にバリアフリーを進め、高齢者や障がい者の方でも不便なく暮らせるようにしてほしい
人口が減少し、老齢化が進んでいる。特養など介護施設の増設をお願いしたい
今の河内長野市が住みにくいわけではないが、10 年後は若者が減少し寿命が延び高齢化が進む。60 歳前後の定年から寿命までの長い間の高齢者の持つ「力」を活用する場が望まれる
今よりも高齢者が多くなるため、今まで以上に高齢者の意見などを聞いて良いまちづくりをしたらよい
お年寄りでも使えるインターネットのサポート体制
河内長野の自然と歴史を活かす事を中心に高齢者問題への対応で評判のまちになってほしい
河内長野は坂が多く、高齢者にとって足に負担がかかるまちだと思う。バリアフリーを進めて高齢者が生き生きと過ごせるまちを作ってほしい
今は車に乗れるので良いが運転ができなくなると買い物や病院など車なしでは生活できないので困ると考えている
元気な高齢者が増えるので公園、休憩所等を道路沿いに作って買い物、散歩の途中で休める場所があるとよい
河内長野市コミュニティバスなどをきめ細かく網羅し、外出の機会を増やし生きがいある元気なまちづくりに知恵を絞ってほしい
高齢化が進む中でお年寄りに住みやすいまちづくりをしてほしい。例えば市役所、病院、郵便局など一か所に（近くに）あれば一度で用事を済ます事ができ必要以上に体力を消耗せず帰りにはショッピングなど買い物もでき、バスで帰る事が可能ならば生活しやすくなるのではないか
高齢化社会へと進む中、高齢者の雇用確保や市の財政基盤を確実なものとするための企業誘致が必要
高齢者・障がい者の人達が安心して暮らせるまちになってほしい。買い物や病院に気軽に行けるように、介護タクシーの補助、駐車場の車イス専用の場所を多くする。車イスでも外出しやすい道路整備
高齢者が安心して暮らせる福祉の充実。介護サービスを受けている人は2割位の値上げをしても良いのではないか
高齢者が多い地域などへの配慮（声掛け、見回りなど）
高齢者が国民年金でも入れる施設多くしてほしい。子ども達に負担掛けず生活ができる、住み良い河内長野市を望む
高齢者が長くやりがいを持ち、動き続けられる（仕事、スポーツ、ボランティア）ピンピンコロリ政策をしてほしい
高齢者でも気軽に参加できるサークルが増えると良い
高齢者同士や地域住民が触れ合えるイベントの催し
寝たきり高齢者を減らすために市や地域で健康づくりを推進して元気な生きがいのある生活ができる場や施設が必要
老人ホームと保育施設を同じ敷地内に作り交流できるようにしたらどうか
若者と老人が共生できるまちづくり。共に活用できる公園、公共施設の充実
空店舗や空き家を利用して老人パワー、趣味パワーを活用してはどうか
孤独死の人が出ないように努める

【子ども・子育てについて】

主な意見
巣立った若者が結婚して河内長野市に戻り、安心して子育てができるまちにしてほしい
医療費（子ども）を中学3年生まで無料にしてほしい
幼い子どもを持つ母親が外で働くために保育所の定員を増加してほしい
もっと子育てしやすい環境をつくり、若い人を呼び込む事が将来的に大事
公立の幼稚園・保育所を増やしてほしい
学校給食の充実や地域のお年寄りたちと一緒に学べる場所など子育てしやすいまちづくりをしてもらえると嬉しい
子育て世代も生活しやすい環境づくり（あいっくはとても良い）
子育てや介護など負担が大きくなる現役層に対する経済的・精神的フォローを充実させてほしい
子育てをしながら働きやすい環境が必要。朝、子どもを預けてから仕事に行ったり、夕方迎えに行くのが便利な場所に保育園や幼稚園がほしい。また、商業施設や娯楽施設の充実が必要だと思う。まちに活気が感じられないので、もっと活気のあるまちづくりをしていかないといけない
子どもを育てるのにお金の掛からないまちにしてほしい
子育てサークルを増やし、母子ともに安心して子育てできるようにする
子どもが田畑や森林で遊びやすくなればいいなと思う
小中学生の山間部では、自宅までの送迎で子育て世代が住める環境整備し、人口流出を防ぐ
男性に優しい河内長野にしてほしい。今は女性に手厚い手当があるが、父子家庭が置き去りになっている
母子家庭・父子家庭への経済的支援の充実

【若者について】

主な意見
住宅地が全部老人ばかりになる。若い人が住む方法を考えてほしい
若い家族が他府県から河内長野に住みたいと思うように補助金を出したり住居を提供したり（京都の町家のように）若者がものづくりなどできる環境を作って人口を増やせたら良い
河内長野市で育った子ども達が親の近くで住みたいと思えるどの世代でも住めるような地域になってほしい
昔ながらのやり方や仕組みが通用しなくなってきている今、世代交代などで若い人へ任せていく仕組みなど考えていく事も必要
若い世代は色々なアイデアを生かせる場を探しているし、インターネット社会の今、都会でないと事業ができないという事はない
ボランティア活動など若者達の参加が必要。祭りに力を注げるエネルギーを自治会や市民活動にも向けてもらえれば、市の発展も望める
ラブリーホール等で、若い人向けのイベントをもっとしたら良い
若い人が住みたいと思う魅力のあるまちにする。都会へのアクセスが良く、自然も美しいまちとしてアピールする。子育てがしやすく、教育施設も充実して子どもがすくすく育つようなまちづくり。良いまちだが、他の地域の人に良さを十分アピールできていない
若い人が他市に流出するのを防ぐためにも安い家賃の賃貸住宅などもっと整備すべき
若者を呼べる企業・商業を誘致してこの町に住んでもらえる方策（空き家がありあまっている）
若者の夢ある活動の場の提供、作家の活動拠点の提供

【障がい者支援について】

主な意見
精神障害者の自立について公的支援や地域の支援が得やすく住みやすいまちになってほしい
電話もインターホンも使用できない、聴覚障がい者に対する対応方法をお願いしたい
バリアフリー、車での移動、駐車がしやすいまちにしてほしい
福祉分野を充実させていく事が大切。障がいのある方に対するサービスや情報の充実。困ってから相談しに行くよりある程度情報を持っていれば安心できる
公民館や集会所や公共の場の全てにエレベーターやスロープを付けてバリアフリーにする
障がい者への施設、支援、他市に劣らないように充実させていく（当事者になり全て他市に頼っているが、その市在住者しか利用できない事もあり、できる事なら引っ越ししたい気持ちになる）
重度の障がい者の生活施設（入所施設・グループホームなど）事業所任せにせず、行政の責任で設置してほしい

【健康・スポーツについて】

主な意見
自然環境を充実し、散歩など楽しめる、健康推進を中心としたまちづくりに力を入れてほしい
スポーツ施設の充実ですべての市民が集えるような取り組み（大会などを増すのではなく、楽しい集い）
福祉施設のお世話になるべくならないで老人が自立して生きていけるように若い頃からの健康維持対策
無料でスポーツできる所を増やしてほしい
リタイヤ世代が充実した余生を過ごせるように医療施設、病気にならないまちづくりを
若い人達に魅力的だと思われるまちにするため、レクリエーション（スポーツ）施設やフィットネスクラブをつくる
河内長野シティーマラソン大会のようなスポーツイベントの開催
元気なお年寄りや子ども達が運動のできる広場をもっと増やしてほしい
地域に出張して健診や健康相談の充実（要望が無くても）

【医療・福祉について】

主な意見
10年後に住みやすいとなると、もう着手しないと間に合わない。先をみて福祉の街“大阪河内長野市”を全国にPR（目指すべき）すべき
医療・福祉関係の充実、工場など導入に力を入れる事により人が増える充実した市が生まれる
医療施設の充実、特に救急病院が不足している事の問題解決が最も求められる
医療や介護が必要になると思うので、安く診療を受けられるようにしてほしい
河内長野駅前のノバティ南館に医院を集めてメディカルビル風にし、商店街付近にマンションを建設し道路も整備してほしい
交通の便が悪い山奥に住んでいても住宅医療が充実し、買い物に不便を感じない市にしてほしい
高齢化社会になり医療、特に休日急患診療所を整備してほしい
高齢者に限らず、新生児から市民全体が健全であるために、医療施設の充実が必要
自宅でできるだけ長く暮らせるよう、訪問在宅医療の充実、老人ホーム、介護施設の誘致なども必要
自然を活かした医療施設などがあると良い。温泉も出るし、サイクリングロードもあるから、活かしてほしい
乳がん検診は河内長野市には専門の乳腺外来がなく、再診になれば市外の病院に行く事になるがすごく不安。病気になった時などに安心して行ける病院が市内にあってほしい
地域医療の面から河内長野市に「市民病院」がないのが残念
医療機関も進歩的なものを作って北摂方面に劣らないものを住民のためになるようにしてほしい

【教育について】

主な意見
10 年後に大人になる子ども達を勉強だけでなく徳を備えた大人に育てるため、教育を考えた方が良い
学校教育の充実（土曜日も授業をするなど）
学校でも生活教育をする（しつけ）
教育研究を重点とした大学院大学を公私共同型として誘致すべき
公立学校のレベルアップ、地元の公立小・中に通わす事をためらってしまう現状はどうかと思う。同市内なのに教育環境の差があり過ぎる。せめて市内どこの小中学校でも入学できるようにしてほしい
子ども達の成長に配意した教育の場を作っていく。夜間の徘徊、モラルの低下、運動不足など問題を解決していかないといけないと思う。親のモラル低下などにも問題視すべき。子どもは親を見て育つものだから、子が悪いのは親の責任
子どもの教育。ダメな事はしっかりとダメと怒れる社会へ。親（モンスターペアレント）にしっかり意見を言ってほしい
小学1年生がランドセルを背負って小学校から歩いて帰っているのを見ると可哀想。坂道が多く、通学バスが出せたら良い。下りは楽なので坂の上の方までバスが来てくれるようになったら嬉しい
あの小学校・中学校に通学したいと他市から転居してくる位の教育面での充実を計る事が将来につながると思う
将来河内長野を背負ってくれる中学生の生活態度などで人に迷惑を掛けない人達に育ってもらいたい
青少年の道徳教育
中学も給食にして体づくりに力を入れてほしい
通学路の見直し
福祉・環境・健康・防犯・充分とは言えないが、教育・人権がこれからの子ども達に一番大事。これらの根本ができていないと河内長野市は永遠に良くならない。これからを担う子ども達の住み良いまちを学校と共に築いていただきたい

主な意見
文化・教育施設の充実
第1は子ども達に対する基本的道徳の教育。中学生の通学路に面しているため、最近の子ども達（特に中学生）の生活態度の悪化（劣化？）が目立つ。家庭も巻き込んだ生活教育（道徳教育）を充実させる事が市の発展の一番の近道
まずは他の市の良い所を取り入れる（大阪狭山市の中学給食）
幼稚園児や小学生の子ども達が10年後社会に出る時「河内長野に住み、仕事をしながら生活していきたい」と思ってもらえるように、大人はそれを意識しながら努力していかなければいけない。1人1人が家族を、まちや地域を作り上げているという事を自覚すべき
教育の場としての河内長野市は良いイメージがあるため、不便でも子育てのために戻って来た。近年の教師不足は残念。地域とも交流して色々しているが、授業の安定の方が親にとっては大事。アシスタントや講師が多過ぎ不満。子育て世代にお金の支援よりも質の良い教育支援をした方が税金を払う人口が増えて老人の多い市のサービスにもつながる
学校教育では児童に対して善悪の区別をつけ、主体性を持てるような指導を行う
教育環境の改善、学校教育の向上
学校の耐震化
若い人を呼び込むためには小・中学校の先生のレベルの高さをPRする（レベルが高いか？）

【自然・景観・歴史について】

主な意見
いつまでも自然を残して空気がきれいなまちと豊かな水に。美味しい水であってほしい
田舎を売りにしていく。自然が大好きで、河内長野が大好きなので、自然を大切にしていく事で住みやすくなると思う。山を切り開いたり、畑や田んぼをつぶすのは良くない
人をある程度呼び込む事は重要だが、自然が破壊されてしまうのは本末転倒。河内長野の魅力を活かしながら、人々のつながりを強化する事が大切
歴史、自然が豊富なので、それを感じて市民が自覚するとさらに良いまちになる
多くの文化史跡を持ち、環境の良い河内長野市の立ち位置を見ると人口を増やし、文化や人々の暮らしやすさに重点を置くべき
大阪府下で河内長野市は最も緑の残された市の１つであり、温暖化によるヒートアイランドの少ないまち。自然と住宅商業地とのバランスを常に考えたまちづくりを望む
大阪へのベッドタウンから脱皮し、自然環境を大事に文化度の高い都市づくりをしてほしい
自然環境に恵まれているにも関わらず、景観とその推進活動が疎かになっている。中高年層の知恵と行動力を活かして魅力ある自然環境を有効活用するべき
自然破壊が進んでいるが、自覚しているか。当市に越して来た時は遠くまで緑が見えて環境の良い所だったが田んぼが消え宅地となり、建売住宅ができて景観が損なわれてる。建て方、型をもっと規制してはいかがか
自然環境について歴史と現代を融合させた新しく古いまちを目指してほしい。歴史、文化の町を前面に押し出してほしい
住宅地の割に街並みが雑然としている感があり、もう少し植樹など並びに道路沿いに一工夫必要
府内自治体のどこにも負けないのは自然。家賃補助だけで人は来ない。大阪市内までちょっと遠いけど、自然がいっぱい。これは選択の問題「選ぶのはあなたです」
森林・田畑を整備し、おしゃれな自然という全体的な構想を中心として人が集まってくるような市民が休日をここで楽しめるような魅力あるまちを作って、ここで店を持ちたいと思う人が出て来れば良い
地域ごとに特徴のある町並みを（テーマ）を決定し誘導する（古民家街、花壇、街路樹（さくら他）レンガ路 etc）
道路沿いにのぼりが立ち、汚いのでがっかり。高野街道を中心に古き良きところを残し、素敵な美しい町になるよう力を入れてほしい
歴史講座などを数多く開催し、1 人でも多くの人に歴史に関心を持たせ人も地域も歴史に誇りを持てるようにすべき
奥河内の自然の良さ、酒造など地元の人がもっと積極的に足を運び活発化されれば良い
景観の統一。貴望ヶ丘のバス道はレンガの歩道で歩きやすく見映えも良かった。最近、水道管の工事でアスファルトで埋め立てられ残念。町の歩道をレンガにすれば景観がかなり良くなると思う
大自然の活用・維持（豊かな田園風景の活用“貸農園など”）
豊富な自然の有効利用　名所・旧蹟をつなぐ遊歩道やサイクリング道路の設置

【防犯について】

主な意見
安全である事（防犯環境：防犯灯、防犯カメラの充実）
街灯が少ないため夜歩く時不安に感じる。もっと街灯を増やすと良い
車が増えているので、通学路を整備したり、見守りをする事で安心して子どもが学校へ行けるようにする事（防犯）
交番には必ずお巡りさんが常駐していただき、交通ルール違反の人々を見回ってほしい。パトロールは小さな道でも入れるように巡回してもらいたい。青少年の犯罪を防ぐために
防犯のないまちづくりを考え子どもを犯罪から守る取り組みが必要
皆がマナーを守って交通事故、犯罪のない街を目指して他の市のモデルとなるように願っている
警察は、もっと巡回の回数を増やしてほしい。警官の姿を見るだけで防犯効果が向上する。警察も内部事務量を減らしてもっと街中の防犯（現場）に出る事
警察を含めた夜間見回り体制
風致地区を指定し、防犯、セキュリティーの高い付加価値がある地域にしてほしい

【防災について】

主な意見
市内の各地区特性に応じた防災計画の策定と各地区の特性を補強する相互支援
市民が安心して住めるまちづくりのために、防災体制を見直し、充実してほしい
災害に備えての環境づくりをもっと力を入れるべき
山間部で防災無線が聞こえないので防災の見直しを
防災について近所の人達と連携して助け合えるコミュニティづくりが重要

【救急について】

主な意見
救急の場合、市内で受け入れられる体制が必要
救急対応が大変悪い。救急隊が来ても受け入れてくれる所が見つからない。何のための救急なのかわからない

【商業について】

主な意見
大型ショッピングセンターが空き地にできれば活性化される
多くの団地で商業施設の撤退で困っている。買い物難民のための施設をお願いしたい
市が支援できる食品、日用品を販売する店舗を作ってほしい。環境・防犯なども大事だが、毎日に必要な食生活が一番の問題
高齢化も進んでいるので、お年寄りの運動のためにも歩いて行ける地産池消の直売所を何ヶ所かに作ってほしい
これ以上商業施設は必要なし
坂が多いので将来歩いて買い物ができ、買い物がしやすくなってほしい。高齢者が行きやすい所が増えてほしい
自然を大切に残しつつ、市民や市外の人々が集まって来る活気さがあっても良い。岸和田市の「愛菜ランド」のような地産池消の大型の直売所やレストランなどは、河内長野の雰囲気に合って良いのでは
住環境に適した自然は保護しつつ、中心市街地、及び幹線道路沿いには大型・中型の商業施設を誘致するなど場所に応じた開発を進めてほしい
外環沿いの田畑を商業施設にしていく
バスで駅前に行かなくても近くにスーパーがあると高齢者や小さな子どもがいる家庭には助かる
老人でも歩いて行ける範囲に生活必需品が買える施設（ミニスーパー、コンビニ、移動物販者など）年金を引き出せるATMの設置
住宅団地ごとに商業区を作る。または移動スーパーがほしい

【レジャー・娯楽について】

主な意見
今ある自然などを利用しつつもレジャーや娯楽施設も作ることで観光などに力を入れて産業を発展させる
河南町の石川のように整備してスポーツやバーベキューなど楽しめる場所を作ってほしい
河内長野市は他市に比べてパチンコ店が多い。狭山には一店もない。河内長野に行けば簡単に受け入れてくれるとみんな来る
花の文化園などあるが、レジャー施設なども作り他市から人が集まるようになれば河内のイメージも変わる
娯楽施設を増やしてほしい（カラオケ・ボーリング・バッティングセンターなど）

【農業について】

主な意見
自然環境を生かした農業の促進（市民への農作物の供給といちご狩りや梨狩りなどの施設を設け、近隣の方が出掛けて行くような）
せっかく自然が多いのだから、田畑・森林を活かし、地産池消をすべき
田畑のお持ちの方でそのまま放置されている方を管理し、放置年数を決めて罰則やその他の利用をできるように活性化したり、若い世代にも物づくりを楽しさ教えるよう導いてほしい
農業の育成も大切。経営が成り立つ農業への専門的指導も検討すべき。河内長野産、地元産の野菜、果物は以前から評判は良い。しかし規模が小さい（特に野菜）
農業を中心とした直売所の設置やネット販売によるまちおこし
休耕地も市民、府外の方に貸農園などにして農業のベテランの方に指導してもらって、野菜作りや米作りを楽しんでもらって活用すると良い
農産物を企業が作るという意味で田畑など企業化できないのか

【地場産業について】

主な意見
人口減少を防ぐために農業・工芸などを活かした地場産業の確立を行うと経済的にも雇用にも良いし、若い人が働き、家庭を持てるような環境になる
地場産の物を全国に広め収入にする

【観光・ＰＲについて】

主な意見
「〇〇〇のまち、河内長野」を全国に轟かせる
駅前に足湯があれば、高野街道と併せて市の目玉としてアピールできる
大阪市内などに住む人はほとんど河内長野を知らない。イメージをよくするために市民だけでなく、他エリアの人達へ河内長野の現況と未来をアピールしてほしい。「奥河内」PRをせっかく始めたので、広域に浸透するようにしてほしい
自然と歴史を残しながら観光に力を入れて駅前に大集客のホテルなどを誘致し、活気あふれた賑わいのある全国に注目されるお寺、まちなみをアピールすべき。古いお寺や文化財がありながら知名度が低いのは残念。
関空に近く、有名な寺など多いので、外国からの旅行者が多い。空港の便（国内・国外）を多くし、発展してほしい
河内長野でしかないお土産や産物を販売すべき
河内長野ならではの施設を作り人がたくさん訪れるまちづくり。外貨を資金源とし、どんどん新しく作っていく
貴重な文化遺産を多くの人に身近に感じてもらえる努力が必要ではないか。小中学生の見学コースや一般の人、高齢者のゆったりコースなど考えた観光など
金剛山行の客は多く立ち寄りたくなる店の充実、店の看板を出す事も大切
和歌山から 371 号線を走っていると、紀見トンネルの入口に「文化財の町、河内長野市へようこそ」とあり、このキャッチフレーズは印象に残っている。国宝、重要文化財を多くの人に観て頂けるよう市民一人一人がPRに協力する事も大切
自然に恵まれ、桃・ぶどう・みかんとフルーツも豊かで、寺も立派なものがあるにも関わらず、観光に力が入っていない。プロデュースする人を招きアドバイスしてもらい、観光収入を増やせば良い。産直で売れるものがいっぱいある
自然を活かし、高野街道などを中心にハイキングコースを作り観光客を呼び込む。駅から花の文化園へのコースも可
空気の美味しさについて科学的資料を作成し、PRする
「奥河内」のポスターをミナミなどでも見かけるが、具体的な寺、人物などを取り上げると歴史好きの人に足を運んでもらえる。河内長野駅前を歴史のあるまちなみにしたら良い
市外から訪れる、通過する人がお金を落とすシステムを考える。観光客だけでなく学研都市のイメージも持ち、学会などが開催されるようなまちになってほしい
はとバスのように1人でも観光ができる駅前から観光地を案内するバスを出したら良い

【企業、研究機関等の誘致について】

主な意見
環境が良いので学園都市にしたらどうか
企業の誘致で人口の増加を図り、将来誇れるまちとして活性化されるのでは
空気がきれいなので工場など研究所誘致できれば良いのではないか
河内長野にどのようにして人、企業を呼び込むか。市職員が外国の方、日本の方も訪ねてもらうようまち全体で連携して取り組んではどうか。河内長野駅だけでなく、他の都市にもパンフレットをおいてもらい、来てもらうとまちが活気に満ちて潤って行き、財政も豊かになっていくと思う
医学・薬学・工学の何れかの研究所の拠点化、大学誘致またはIT特区を基本とした実践的なITセキュリティーエンジニアの育成拠点化（国際的にトップレベルを目指す）を魅力ある街の特色として提案し、特に後者は資格者は多くても実力者は今の日本に枯渇している。上記誘致の際には京奈和自動車道や関空への利便性を訴えると良い。必要道路整備は誘致後でも可能、駅前の活性化、移住者の増加が期待できる
自然環境を維持しつつ、歴史や文化を守り、かつ先端技術の研究開発を行う施設があるまちを目指す
当市は山林面積が多いが材木価格の低迷で崩壊しているので、チップ工場を何ヶ所かに造り、雇用・山林の有効利用の検討をお願いしたい

【雇用について】

主な意見
お年寄り中心のまちになっているので、若い方にも目を向け、大型ショッピングセンターを建て、若い方が雇用できるようにすればよいと思う
企業を誘致し、若い世代が職住ともに市内で行えるようになれば子育て世代が住みやすくなると思う
健康な老人を増やし、これから高齢者の仲間入りする世代の元気な人には働ける場（ボランティア地域活動でも可）を提供してすべての世代が活気のあるまちにしてほしい
市の将来を担う若い人達の生活が安定できる職場が多く、雇用を生み出す工場・研究所や医療・福祉施設などを確保しなければ、若い人達が市外に出て、20～30 年後には限界都市、「河内長野」になる
地産池消はもちろんだが、若い人が地域で働き、地域で生活できるように働く場所を作る事が大切だと思う。介護施設だけでなく企業を誘致して若者が定着するまちにしてほしい
若い人に住んでもらわないと先の河内長野は持たないので中小企業など働ける場は重要
新規起業者への支援が必要

【公共交通について】

主な意見
日常の買い物などに利用する交通機関が充実していてほしい（駅までのバスなど）
病院に行くアクセスをよくしてほしい。タクシー代や送迎してくれる人の無い者はどうしたらよいのだろうと思う
朝夕の送迎による渋滞がひどく電車に乗り遅れる。何のためにバスに乗っているのかわからない。社会人になって大阪市内へ出たものの、子育てのためUターンしたが、住みづらい（仕事をしていない人には住みやすい）環境である
大阪市内行きの交通網の充実（大阪地下鉄の延長）
南海バスとは別で団地の前までバスが来たら高齢者、障がい者がもっと外に出られるのでまちの活性化につながっていくのではないか。南海バスの通らない所を通るバスがあったら便利だと思う
車（自家用車）を利用しなくても便利なまちになってほしい
交通の良さ（1人でも乗れて）病院・スーパーマーケットなど気軽に出掛けられる（特にスーパーマーケット、図書などは気晴らしになる。自宅に閉じ込めない）健康にも良い。孤独な高齢者にならないようにしてほしい
南海、近鉄とも料金が京阪と比較すると2倍くらいする。通勤通学の負担が多いと人の流出は止まらない
坂が多い地域では通勤通学にバスを利用する必要があるが、21時以降のバスの数が少な過ぎる
市内循環バス（100円バス）が必要
千代田駅周辺に駐車場がほしい。千代田駅に急行を止めてほしい
乗り換えなしでバス1本で市内中行けたら便利
バスの路線の乗継の円滑化と均一料金（どこまで乗っても同一料金）の実現
公共交通機関を使いやすくする。バスは電車の接続を考慮したダイヤにする
市内のどの地区からでも市役所・病院などに行くための巡回バスを走らせてほしい

【道路について】

主な意見
堺市や大阪狭山市などへのアクセスを容易にする事。他市の間の流通が盛んになり、経済効果が期待できる
違法駐車ができない道路にしてほしい
駅周辺の道幅を広げ歩道も広く自転車レーンもある清潔なまちにしてほしい
駅の前または近くに無料の駐輪場を作ってほしい。無断駐輪などが無くなると思う。もっと路道の幅を広くする事で、小学生・高齢者の車・バイクとの交通事故を防げると思う
河内長野駅前広場からラブリーホール間歩車道の拡幅計画の上実施希望する
河内長野は不便というイメージが強いのは車の便が悪いから。高速ICまで30～45分掛かる。高速を延ばすのは現実的ではないので、バイパス整備をするべき
幹線道路の整備（渋滞緩和）と住宅街の通行規制
交通事故の無いまち。R371バイパスの完成
交通騒音対策
自転車専用。オートバイ用、専門道路を大規模に充実させてほしい
住宅地の車輌通行規制
信号機の歩行者時間が短過ぎる。横断歩道で待っていても車が止まってくれないため、押しボタン式信号機取付けてほしい
道路や溝などのメンテや道路標示の点検補修など
七ツ辻・河内長野駅周辺の狭い道路・交通渋滞を少しでも緩和できるよう検討を願いたい
メインストリート（河内長野駅前からラブリーホール間など）の歩道整備（拡幅・カラークリート（床仕上げ）・電柱などの工夫）による景観の向上
小学生の通学路に歩道がない箇所で安全確保のための方策、対策を早急に実施してもらいたい
郊外集落（日野など）と市街地を結ぶ道路の整備

【公園・緑地について】

主な意見
小さな公園でも近くに少し大きめの駐車場が必要
公園は子どもが遊び、老人が集い、日向ぼっこのできる場として整備してほしい
子どもを1日遊ばせるような公園がないのでいつも富田林まで行っている
市内に緑地公園を作り、多くの人が訪れるまちづくり。入園料なしの公園
広い公園やグラウンドを増やしてほしい
公園の整備（桜が少なくなった）
公園の遊び場を整備してほしい。木でうっそうとしていて、草がいっぱいで子どもが遊べない。きれいにしてほしい
寺ヶ池公園周回遊歩道の整備
小さな子どもが自転車を練習したり、交通ルールを学べる公園の設置（富田林の寺内町にあった）

【市街地整備について】

主な意見
河内長野商店街を昔のようなにぎやかな店ができたらと思う。いつ通っても寂しい
駅・周辺の開発したところは道路が狭く、駐車場所も少なくバスとタクシーとも多い。食べ物の店も少ないので目当てに行く事が少ない。飲食店が多ければ人も集まって来るし活気あふれたまちになるのでは
駅前開発（大型ショッピング・高層マンションの建設）、地産の直売、集中的な地域開発、稲作・果物作物・工場など
駅前が賑わって誰でも楽しめるイベントの開催
駅前がゆったりしてタクシーにすぐ乗車できる事
河内長野駅前に市役所、図書館、総合病院、電気屋（大型）、郵便局、大型スーパーが集結し、高齢化社会になる中で駅前で事足りるようになれば、とても便利だと思う

【住宅について】

主な意見
今住んでいる地域が調整区域なので、家を建築する事ができない。もっと多くの人が住めるまちにしてほしい
当市は産業発展ではなく、住環境の整備をしてこじんまりした地域で良い
特色のある街をつくる。都市計画のないままできた住宅地の迷路解消。袋小路（ゆき上りのような住宅地）のような所の解消。商店不在（買い物不便）地、孤島の解消

【生活環境について】

主な意見
生ゴミシールは多少ストレスに感じる。環境への意識は理解するが、これがいちばん住みにくい理由に挙げられる（粗大ごみは良いが）
犬を飼っている人に税金を掛ける（糞対策）、ゴミのポイ捨て禁止
加賀田の道路（汚水処理場）など人通りの少ない所へゴミが捨てられている。天見のトンネルの近くの道路はゴミが多い。トンネルの上からつる草がぶら下がっている
下水道と都市ガスの100%の整備
ゴミ置き場が遠く将来不安。他市（橋本市）のように4軒に1ヶ所に置く、各住宅の前（堺市）ごとなど、考えてほしい
ゴミのシールの配布方法が1人でも2人でも同じ枚数で郵送されるが出るゴミの量が違う。人数による枚数配布を希望する
犬の糞の不始末の徹底（罰金化）
山林の不法投棄の取り締まり。川や池のゴミ（リサイクル云々より環境に悪い）

【協働について】

主な意見
最近、市の取り組みが良い方に変わったと思う。河内長野の特性を活かしながら行政側と市民が協働で取り組める機会の充実・啓発を進めて行くことが大切だと思う
自然環境を残し子ども達の健全な育成、高齢者の生活支援、交通ルールを守り地域活動の参加、公共施設の使用、清掃など、安心安全なまちづくりに行政と市民が声掛けして頑張って住みやすいまちにしていきたい
少子高齢化、医療・介護の資源不足、基幹産業の空洞化、人口流出、財源不足等を乗り越えるには市役所だけでは困難だと思うので、河内長野市にある全ての企業や団体（自治会も含む）で勉強会などをして課題の共有や、上手く乗り越えて持ちこたえている自治体やコーディネーターにヒントをもらう
住みやすいベッドタウンとして脱大阪の田舎イメージに市・住民協働活動環境を作る。若者家族、高齢者ともに生活に不便を感じないシステムづくりに取り組む。各まちづくり協議会、自治会などの集まりに市からも部署にこだわらず、参加して、直接住民の声を聞き、市政に反映させ、人口減少を防ぐ。自然環境の歴史文化遺産の活用で駅周辺・各ルートマップ周辺の活性化を考え市と協力する住民意識の高揚を図る
多方面に市民パワーの協力を得る。ボランティアへの市側の援助も必要かと思う

【地域コミュニティについて】

主な意見
安心して生活できる環境づくり。乳児から高齢者までが安心できる社会＝近隣者の連携による助け合い
今は現役で地域とのつながりが少ないが、10年後には積極的にボランティアなどで関わっていきたい。市民が参加しやすい形ができ上がっていればいいと思う
同じ町内に住んでいながら隣の人がどんな人達が住んでいるのかわからない。回覧板でも郵便受けに入れたまま誰が入れたものか不明
小グループが（地域で）集える場所があれば地域活動を趣味を通して会話（囲碁・手芸など）を楽しめたらと思う
近所付き合いが自然とできるような環境づくり。自然と他人とお話し・会話・あいさつし合えるような環境を作り、騒音が少なくなり、若者・高齢者・障害者などが違和感・偏見なく過ごせるようなまちづくり
公共施設にお金を掛けたりするより、人とのつながりを大切にするまちづくり。河内長野市内でのイベントを行ったり、ボランティアでまち・公園・川などの清掃活動を行ったりする。また災害ボランティアの参加の仕方がわからないので、人を募ってボランティアに参加する事で地域内のつながりもできると思う
子どもから高齢者まで人と人との触れ合いや、ともに語り合う事を大切に互いに学び心が満ちてゆとりができるようにまち全体が助け合え、危機があった時も支え合えて行けたらと思う
市民1人1人が助け合いの気持ちを持つ人が多くなるほど住みやすい市になると思う
知らない人でも顔を合わせたら挨拶くらいできるようにしていきたい
町会、自治会組織をもっと強化し、昔の隣近所付き合い制度の復活が必要
個人情報の壁をある程度取り払い近所に気兼ねしない環境を作る事が大切と思われる

【行財政について】

主な意見
「河内長野市」を名称変更し、南大阪市にしてほしい。どこの地域かと問われる事が多い
市長公室、企画政策室のいかにもかたい名称は何とかしたい。まちづくり課など
市民アンケートや市民以外の人達の意見をまとめ、1つのプロジェクトチーム結成してほしい。自然と歴史は残して、大勢な人（高齢者、社会人、若い人）が増える事は何か。生活状況を3つに分けて考えて進めてほしい
安定した税収入がある事、お金が無ければいくら良い企画でも絵に描いた餅になりかねない。優良企業を誘致し、雇用を生み人口の増加を図る。超高級住宅地を作り高給所得者のベットタウンとして誘致して税収増また安定を図る
住民税や固定資産などの収入増のためには人口増が課題。新興住宅地で育ち、そのまま帰って来ない働き盛り（30・40歳）がUターンして定住したくなるような河内長野独自の策を考える。新興住宅地に戻り家をリフォーム改築し、住民として生活する場合は税の面で優遇があるなど
10年後に住みやすいとなると、もう着工しないと間に合わないかも。もう少し先をみて、市の助成と協力を行い、全国から人を呼び込む。小手先の駅周辺の取り組みより、先ず人が集まれば自然と商店街も元気になる
市長が市民意向を集約して行政に活かす。水道・下水・ゴミ処理・道路維持管理・生活保護など、職員の人件費を除き「住みやすい町にするための費用にあてられるか」も市民全員が知らなければならない
一部の人間ではなく、全ての河内長野市民への情報提供
エコロジー、芸術文化、福祉など突出した特徴ある政策で個性あるまちづくりをしてほしい
河内長野市の将来の住み良いまちにするためにも市長、議員の方達に頑張ってほしい
行政・財政の無駄を排除し、費用対効果を高めてほしい
健全な財政状態を維持して行政サービスの向上
公務員の給料を下げるパフォーマンスは不要。河内長野市で働くメリットが見つからない。市で働く人間が不満を持ちながら生活しているのはどうか。もっとやるべき仕事はあるはず
市の財政も苦しい情勢で、各種団体などの助成金の廃止が必要
まずは市職員の役所的仕事、対応（心がこもっていない、事務的、他人任せ、機転、融通がきかない）を見直すべき
このようなアンケートなどもっと市（行政）と市民（市民）との一体化、コミュニケーションや課題の共通化や具体的取り組みの目標設定などが必要
事務・事業の見直しと改善を図り、健全な財政運営を確立してほしい
住民税が高いと思う（他地域比較）
税を納めている高齢者（自営業のため70歳過ぎても働いて市民税を納めている）と福祉の恩恵を受けている人とのバランスを考えて一部は支払うようにし高齢者の市民税の軽減も含めて元気で働いて税を納めやすい市にしてほしい
補助金や施設など市民全員平等になるよう偏って力を入れず、税金を使ってほしい。独身や子どもがいない家庭など優遇されていない。不妊治療の医療助成などあればいいと思う
南河内9市町村の統合→河内市
役所を訪れるたび『市民憲章』を見ている。なんでも活性化や開発に流されないよう「恵まれた緑豊かな自然を守る事」に徹してほしい。自分達の税の行方を見守る市民の目はかつてないほど厳しいはず
河内長野に来て市役所の方の対応、保健センターの対応が良いと感じた。ぜひ維持してほしい
公共事業は物づくりではなく現状を見直す補修整理で良い
縦割行政のため税金を無駄遣いしている。赤字を出さない行政改革をしてほしい。役所の機構を見直す必要あり
職員の動きが遅い。民間企業並みの対応でスピードアップで結果を出す事により、職員数の見直す必要あり

7. 調査結果の概要

◇現在の河内長野市について（問１～問５）

○現在の河内長野市が好きかについて、性別でみると、男女ともに「好き」「どちらかというと好き」の合計が約８割となっています。年代別でみると、20 歳代を除くすべての年代で「好き」「どちらかというと好き」の合計が８割を超えている一方、30 歳代では「好き」の割合が３割を下回っています。

○河内長野市が好きな理由について、年代別でみると、すべての年代で「自然が多いから」の割合が最も高くなっています。

○河内長野市嫌いな理由について、性別でみると、男性では「活気がないから」、女性では「通勤、通学や買い物に不便だから」の割合が最も高くなっています。年代別でみると、50 歳代を除くすべての年代で「通勤、通学や買い物に不便だから」の割合が最も高くなっています。

○現在の河内長野市をどのように感じているかについてみると、「どちらかというと住みよいまちになってきている」が約４割、「どちらかというと住みにくいまちになってきている」が約２割となっています。年代別にみると、「どちらかというと住みよいまちになってきている」の割合は 70 歳代で約５割、80 歳代で約６割と高くなっています。

○河内長野市を知り合いに紹介するときに、自慢したいことについてみると、「自然が多い、自然があふれている」が最も多く、次いで「空気がきれい」「つまようじ、わりばし、すだれ等の各種特産品」となっています。

◇河内長野市の取組ついて（問６－１～問６－４）

○満足度は、「町並み･自然･歴史などの美しさ」「騒音･悪臭などの少なさ」『まち全体の「自然や環境への配慮」について』「リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ」など、自然・環境に関する分野で高くなっています。

○重要度は、「消防･救急」「防犯」『まち全体の「安全･安心」について』「防災」など安全・安心に関する分野で高くなっています。

○満足度、重要度からの分析では、「高齢者・障がい者（児）にとっての暮らしやすさ」「小中学校や幼稚園の教育環境」『まち全体の「健康･福祉」について』などが特に優先すべき分野となっています。

○５年前との比較では、「リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ」「町並み・自然・歴史などの美しさ」「生涯学習の推進」などの改善度が高くなっています。

○満足度と５年前との比較からの分析では、「商業地などのにぎわい」『まち全体の「産業の活性化」について』「身近な場での働きやすさ」など産業に関する分野が、満足度、改善度ともに低くなっています。

○重要度と５年前との比較からの分析では、「商業地などのにぎわい」『まち全体の「産業の活性化」について』「身近な場での働きやすさ」など産業に関する分野が、重要度は高いものの、改善度が低い分野となっています。

○満足度を年代別でみると、ほとんどの年代で「町並み･自然･歴史などの美しさ」「騒音･悪臭などの少なさ」など自然・環境に関する分野で高くなっています。一方で、「商業地などのにぎわい」『まち全体の「産業の活性化」について』「身近な場での働きやすさ」など産業に関する分野はほとんどの年代で満足度が低くなっています。小学校区別でみると、天野小学校区、楠小学校区、美加の台小学校区では、「バスなどの公共交通サービス」に対する満足度も低くなっています。

○今後の重要度を年代別でみると、ほとんどの年代で「消防・救急」や「防犯」、「防災」など安全・安心に関する分野が高い傾向にあります。また、20 歳代、30 歳代では「児童に対する福祉や子育てのしやすさ」の重要度が最も高くなっています。

○５年前との比較を年代別でみると、すべての年代で「商業地などのにぎわい」が最下位となっています。

◇河内長野市への定住意向について（問７～問 10）

○これからも河内長野市に住み続けたいかについてみると、「ずっと今の場所で住み続けたい」が約４割となっています。年代別でみると、高齢になるほど、「ずっと今の場所で住みつづけたい」の割合が高い傾向にありますが、50 歳代までは４割以下にとどまっています。小学校区別でみると、すべての小学校区で「ずっと今の場所で住みつづけたい」の割合が最も高くなっており、天見小学校区では７割を超える一方、楠、美加の台、南花台小学校区では４割以下となっています。

○住みつづけたい理由についてみると、「住みなれたまちだから」「自然環境がよいから」などの割合が高く、河内長野市の恵まれた自然を含む生活環境を重視していることがうかがえます。

○市外に移りたい理由についてみると、「買い物など日常生活に不便だから」「通勤・通学に不便だから」などの割合が高くなっています。年代別でみると、40 歳代以下では「通勤・通学に不便だから」、50 歳代～70 歳代では「買い物など日常生活に不便だから」の割合が最も高くなっており、生活の利便性について課題があることがうかがえます。

○これからも河内長野市に住みつづけるためには、どんなことが必要だと思うかについてみると、「老後も安心して暮らせる福祉サービスの充実」「買い物など日常生活の便利さの充実」などが高くなっています。年代別にみると、若い世代では「買い物などの日常生活の便利さの充実」の割合が高い傾向がみられ、50 歳代以上では「老後も安心して暮らせる福祉サービスの充実」の割合が最も高くなっています。

◇地域活動への参加について（問 11～問 16）

○この１年間に市内の「地域やまちづくり活動」にどの程度参加したかについてみると、「年に数回程度」が３割、「年に１回程度」が約２割となっています。

○参加したことがある活動についてみると、「自治会などの活動」「盆踊り、祭りなどの行事」「公園、道路などの清掃・美化活動」などの割合が高くなっています。年代別でみると、30 歳代以下では「盆踊り、祭りなどの行事」、40 歳代から 70 歳代では「自治会などの活動」の割合が最も高くなっています。

○住民がいきいきと地域活動に取り組むために、大切だと思うことについてみると、「住民どうしが困ったときに、今以上に助けあえる関係」「活動の担い手やリーダーとなる人」「交流の機会となる地域の行事」などの割合が高くなっており、日頃からの付き合いや交流機会が求められていることがうかがえます。

○協働によるまちづくりについてどう考えるかについてみると、『推進すべき（「推進すべき」と「ある程度推進すべき」の合計）』は７割を超えています。

○協働を進めるために必要なことについてみると、「市民が参加しやすいイベント等の開催や機会の提供」「活動団体の紹介などわかりやすい情報提供」「行政からの経済的な支援」などの割合が高くなっています。年代別でみると、すべての年代で「市民が参加しやすいイベント等の開催や機会の提供」の割合が最も高くなっています。

○協働で取り組んだ方がよいものについて、年代別でみると、19 歳以下を除くすべての年代で「高齢者の生活支援（ひとり暮らし高齢者の見守り・声かけなど）」の割合が最も高くなっています。20 歳代では、「地域の子どもへの取組（育児支援や子どもの健全育成への取組など）」の割合も高くなっています。

　一方、自分自身が取り組めると思うものについて、年代別でみると、60 歳代と 70 歳代を除くすべての年代で「環境保全活動（自然環境保護、ごみ減量やリサイクルの推進など）」の割合が最も高くなっています。60 歳代、70 歳代では「高齢者の生活支援（ひとり暮らし高齢者の見守り・声かけなど）」の割合が最も高くなっています。

◇これからの河内長野市のまちづくりについて（問 17～問 34）

○福祉を充実させるために、今後力を入れるべきことについて、年代別でみると、40 歳代以上では「高齢者や障がい者が入所（入居）できる施設の整備」の割合が最も高くなっています。

○子育て環境を充実するために力を入れるべきことについて、年代別でみると、19 歳以下と 30 歳代を除くすべての年代で「いざという時に子どもを預けられる保育サービスの実施」の割合が最も高くなっています。30 歳代では「子育て家庭に対する経済的支援の充実」の割合が最も高くなっており、子育て世代での経済的支援の要望の高さがうかがえます。

○健康づくりを充実させるために力を入れるべきことについてみると、「休日急病診療や救急など医療の充実」「生活習慣病予防のための特定検診やがん検診の充実」などの割合が高くなっています。

○教育を充実させるために力を入れるべきことについて、年代別でみると、すべての年代で「社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進」の割合が最も高くなっています。
○環境を良くするために力を入れるべきことについてみると、「身近な緑などの自然環境の保全」「ごみを減らし、良いものを大事に使うライフスタイルの定着」「公園や緑地などの整備・保全」などの割合が高くなっています。
○防犯に対する取り組みとして力を入れるべきことについて、年代別でみると、すべての年代で「防犯灯や防犯カメラの設置など防犯環境の充実」の割合が最も高くなっています。
○防災に対する取り組みとして力を入れるべきことについて、年代別でみると、すべての年代で「災害時における連絡体制の充実」の割合が最も高くなっています。
○産業振興・活性化のために力を入れるべきことについて、年代別でみると、すべての年代で「駅周辺などにぎわいを生む商店の活性化」の割合が最も高くなっています。
○交通の整備を充実させるために今後力を入れるべきことについて、年代別でみると、30 歳代と 80 歳以上を除くすべての年代で「駅へのアクセスなど、市域内の道路・歩道の整備」の割合が最も高くなっています。80 歳以上では「バス路線網の整備」の割合が最も高くなっています。また、小学校区別でみると、天野小学校区と加賀田小学校区では「バス路線網の整備」の割合が最も高くなっています。
○人権問題を解決するために今後力を入れるべきことについて、年代別でみると、すべての年代で「学校教育における人権の充実」が最も高くなっています。
○市政に市民の意向がどの程度反映されているかについてみると、「わからない」が約４割となっています。一方、『反映されている（「十分反映されている」と「ある程度反映されている」の合計)』は 25.8%にとどまっています。
○できるだけ多く市民の意向を市政に反映させるために力を入れるべきことについてみると、「広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実」「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」「幅広い市民参加の促進」などの割合が高くなっています。
○効果的かつ効率的な行政サービスを提供するために必要な方策について、年代別でみると、すべての年代で「事務・事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」の割合が最も高くなっています。
○河内長野市が将来どのようなイメージのまちになってほしいかについてみると、「高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉の充実したまち」「保健・医療が整ったいつまでも健康に暮らせるまち」などの割合が高くなっています。年代別でみると、40 歳代を除くすべての年代で「高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉の充実したまち」の割合が最も高くなっています。
○将来のまちの姿についてどのようになってほしいかについてみると、「自然を残した、豊かな田園風景が広がるまち」「自然や歴史を活かし、多くの観光客が訪れるまち」の割合が高くなっています。年代別でみると、すべての年代で「自然を残した、豊かな田園風景が広がるまち」の割合が最も高くなっています。

○中心市街地では、どのようなまちづくりを進めるべきかについてみると、「現在の空き店舗・空地に魅力ある店舗を誘致し、にぎわいのあるまち」「高野街道や町家などの歴史的景観を活かした風情のあるまち」などの割合が高くなっています。年代別でみると、すべての年代で「現在の空き店舗・空地に魅力ある店舗を誘致し、にぎわいのあるまち」の割合が最も高くなっています。

○幹線道路沿いに田畑や森林が広がる地域では、どのような土地利用を行うべきかについてみると、「地産地消の直売所など」「医療・福祉施設など」などの割合が高くなっています。年代別でみると、ほとんどの年代で「地産地消の直売所」の割合が最も高くなっていますが、若い世代では「大型ショッピングセンター、レジャー施設など」の割合も高くなっています。

III. 調査票

河内長野市第５次総合計画策定のための
市民アンケートのお願い

日頃は何かと市政の推進にご協力いただきありがとうございます。

河内長野市では、平成 17 年に「みんなで創ろう潤いめぐる緑と文化の輝くまち河内長野」を将来像とする第４次総合計画（目標年度：平成 27年度）を策定し、施策の推進に努めておりますが、このほど、新たな時代の潮流に対応するため、第５次総合計画の策定に着手することとなりました。

このアンケートは、市民のみなさまのご意見を総合計画の策定に反映し、住みよい河内長野市の実現をめざすために行うものです。

ぜひ、あなたの河内長野市についての日頃のお考えをお聞かせください。

お忙しいこととは存じますが、アンケートの趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、本アンケートの最終ページには、総合計画策定に向けた「まちづくり市民ワークショップ」への参加希望調査票を添付しています。「河内長野市をもっと良くしたい」「まちづくりに参画してみたい」と思われた方がおられましたら、ぜひこのワークショップにご参加ください。

平成 25 年９月

河内長野市長　芝　田　啓　治

○このアンケートは、16 歳以上の市民の中から無作為に 3,000 人の方々を選び、郵送でアンケート票をお送りしています。
○このアンケートには、ご本人による記入が難しい場合を除き、封筒のあて名の方がご自身でご記入ください。
○回答内容は、統計的に処理し、調査の目的以外に利用することはありません。
○アンケート結果の概要は、後日、広報紙などを通じてお知らせします。
○ご記入いただいたアンケート票は、無記名のまま、**１０月１５日（火）まで**に同封の返信用封筒に入れてお送りください。（切手を貼る必要はありません。）

【お問い合わせ先】

このアンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いします。

河内長野市 市長公室 企画政策室
電　　話　：0721-53-1111
ファックス　：0721-55-1435
メ　ー　ル　：kikaku@city.kawachinagano.lg.jp

まず、回答していただくあなたご自身についておたずねします。

■性別をおたずねします。あてはまる番号に○をつけてください。

1．男性	2．女性

■年齢をおたずねします。（　　）内に数字を記載してください。

（　　）歳

■あなたの家族構成について、あてはまる番号に○をつけてください。

1．単身（ひとりぐらし）世帯	3．親子２世代世帯	5．その他（　　）
2．夫婦のみ世帯	4．親子孫３世代世帯	

■あなたは、どのくらいの期間、河内長野市にお住まいですか？あてはまる番号に○をつけてください。

1．１年未満	4．10 年～15 年未満	7．30 年以上
2．１年～５年未満	5．15 年～20 年未満	
3．５年～10 年未満	6．20 年～30 年未満	

■あなたは、現在どこ（小学校区）に住んでおられますか？あてはまる番号に○をつけてください。

1．長野小学校区	6．天見小学校区	11．石仏小学校区
2．小山田小学校区	7．川上小学校区	12．美加の台小学校区
3．天野小学校区	8．千代田小学校区	13．南花台小学校区
4．高向小学校区	9．楠小学校区	14．わからない
5．三日市小学校区	10．加賀田小学校区	

■あなたは、現在のお住まいに来られる以前はどこに住んでおられましたか？
あてはまる番号<u>１つ</u>に○をつけてください。

1．ずっと現在のところに住んでいる	6．その他の大阪府
2．現在地以外の河内長野市内	7．和歌山県
3．河内長野市以外の南河内地域（＊）	8．奈良県
4．堺市	9．その他の都道府県または外国
5．大阪市	（　　）

（＊）富田林市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村

■あなたの職業をおたずねします。あてはまる番号<u>１つ</u>に○をつけてください。

1．会社員・公務員	5．家事専業
2．自営業	6．学生
3．自由業（医師、弁護士など専門的職業）	7．無職
4．パート・アルバイト	8．その他（具体的に　　）

現在の河内長野市についておたずねします。

問１　（すべての方へ）あなたは、現在の河内長野市が好きですか？あてはまる番号１つに○をつけてください。

１．好き ２．どちらかというと好き	*→１、２を選んだ方は問２へ*
３．嫌い ４．どちらかというと嫌い	*→３、４を選んだ方は問３へ*
５．どちらともいえない	*→５を選んだ方は問４へ*

問２　問１で「１．好き」「２．どちらかというと好き」と答えられた方におたずねします。河内長野市が好きな理由を２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．自然が多いから	８．地価や物価が安いから
２．人情が厚いから	９．市民サービスが整っているから
３．歴史や文化が豊かだから	10．通勤、通学や買い物が便利だから
４．活気があるから	11．教育環境がよいから
５．落ち着いているから	12．都市のイメージがよいから
６．気候がよいから	13．何となく
７．安全だから	14．その他（具体的に　　）

問３　問１で「３．嫌い」「４．どちらかというと嫌い」と答えられた方におたずねします。河内長野市が嫌いな理由を２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．自然が少ないから	８．地価や物価が高いから
２．人情が薄いから	９．市民サービスが不十分だから
３．歴史や文化が少ないから	10．通勤、通学や買い物に不便だから
４．活気がないから	11．教育環境がよくないから
５．ざわざわしているから	12．都市のイメージがよくないから
６．気候が合わないから	13．何となく
７．安全でないから	14．その他（具体的に　　）

問４　（すべての方へ）あなたは、現在の河内長野市をどのように感じていますか？あてはまる番号１つに○をつけてください。

１．どちらかというと住みよいまちになってきている
２．どちらかというと住みにくいまちになってきている
３．どちらともいえない

問５　（すべての方へ）あなたは、河内長野市を知り合いに紹介するとき、自慢したいこと（特産品、観光資源、住民気質、風土等）は何ですか。ご自由にお書きください。

【特産品、観光資源、住民気質、風土等】

河内長野市の取組についておうかがいします。

問６－１　（すべての方へ）次にあげる項目について、①現在の生活の中でどの程度満足していますか。また、②将来に向けて重要な項目だと思いますか。③５年前と比べて良くなりましたか。１から33のそれぞれについて、お考えに近い番号に○をつけてください。（※③は５年以上前から居住されている方のみお答えください。）

		①現在の満足度					②今後の重要度			③5年前との比較		
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	大変重要	やや重要	重要でない	良くなった	変化なし	悪くなった
記入例		1	2	③	4	5	1	②	3	1	②	3
健康・福祉について	１．高齢者･障がい者（児）にとっての暮らしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	２．児童に対する福祉や子育てのしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	３．スポーツなど健康づくりの場や機会	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	４．１～３を含めたまち全体の「健康･福祉」について	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
教育・文化について	５．生涯学習の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	６．文化･芸術活動などの活性化	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	７．小中学校や幼稚園の教育環境	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	８．５～７を含めたまち全体の「教育･文化」について	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
自然や環境への配慮について	９．リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	10．町並み･自然･歴史などの美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	11．騒音･悪臭などの少なさ	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	12．９~11を含めたまち全体の「自然や環境への配慮」について	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
安全・安心について	13．交通安全	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	14．防犯	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	15．防災	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	16．消防･救急	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	17．13~16を含めたまち全体の「安全･安心」について	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3

		①現在の満足度					②今後の重要度			③5年前との比較		
		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	大変重要	やや重要	重要でない	良くなった	変化なし	悪くなった
産業の活性化について	18. 商業地などのにぎわい	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	19. 日常的なレジャーや娯楽などの環境	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	20. 身近な場での働きやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	21. 18~20を含めたまち全体の「産業の活性化」について	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
都市基盤の整備について	22. バスなどの公共交通サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	23. 道路や橋などの交通網	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	24. 公園や緑地などの環境	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	25. 22~24を含めたまち全体の「都市基盤の整備」について	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
人権について	26. 人権の尊重と平和意識の高揚	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	27. 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	28. 26~27を含めたまち全体の「人権」について	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
協働・コミュニティについて	29. 行政への市民参加の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	30. 行政と市民の協働による取組	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	31. 地域コミュニティの活性化	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	32. 29~31を含めたまち全体の「協働・コミュニティ」について	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3
	33. 市全体として	1	2	3	4	5				1	2	3

問６－２　問６－１で、「４．やや不満」「５．非常に不満」と答えられた方におたずねします。特に不満を感じられている項目の番号を２つまで選んで、それぞれについて不満を感じる理由を記入してください。

【項目の番号】	左の項目が「４．やや不満」「５．非常に不満」と思う理由

問６－３　（すべての方へ）問６－１以外に、「不満」を感じる項目があればお書きください。

問６－１以外に不満を感じる項目	左の項目が不満と思う理由

問６－４　（すべての方へ）問６－１以外に、特に重要と思われる事柄があれば、できるだけ具体的にお書きください。

【問６－１以外に、特に重要な事柄】

河内長野市への定住意向についておたずねします。

問７　（すべての方へ）あなたは、これからも河内長野市に住みつづけたいと思いますか？あてはまる番号１つに○をつけてください。

１．ずっと今の場所で住みつづけたい
２．河内長野市内で転居したい（転居したい地域：　　）
３．１．２．のどちらともいえないが河内長野市には住みつづけたい
　→*１～３を選んだ方は問８へ*
４．特に住みつづけたいわけではないが、今のところ住みつづけるつもり　→*問 10 へ*
５．いずれ市外に移りたい（移りたい都市･地域名：　　）
６．すぐに市外に移りたい（移りたい都市･地域名：　　）
　→*５、６を選んだ方は問９へ*
７．何ともいえない　→*問 10 へ*

問８　問７で『住みつづけたい』と答えられた方におたずねします。住みつづけたい理由を２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．生まれ育ったまちだから
２．住みなれたまちだから
３．親せきや知人がいるから
４．近所づきあいがしやすいから
５．自然環境がよいから
６．田舎の良さが残っているから
７．魅力ある歴史・文化があるから
８．教育環境がよいから
９．買い物が便利だから
10．通勤、通学に便利だから
11．医療環境がよいから
12．レジャー・娯楽施設が多いから
13．福祉サービスが整っているから
14．働く場所としての魅力が多いから
15．今後発展すると思うから
16．その他（　　）

問９　問７で「５．いずれ市外に移りたい」「６．すぐに市外に移りたい」と答えられた方におたずねします。市外に移りたい理由を２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．市内で住みかえたいが、希望に合う住宅がないから
２．転勤等仕事の関係で
３．生活環境が悪いから
４．人間関係がよくないから
５．買い物など日常生活に不便だから
６．通勤･通学に不便だから
７．子どもの教育の関係で
８．その他（具体的に　　）

問 10　（すべての方へ）これからも河内長野市に住みつづけるためには、どんなことが必要だと思いますか？２つまで選んで、番号に○をつけてください。

1．一戸建てや賃貸住宅など、ニーズにあった住環境の充実
2．市内で働ける場所の充実
3．身近な緑など自然環境の充実
4．歴史・文化を感じられる地域づくりの充実
5．隣近所など地域との良好な人間関係
6．買い物などの日常生活の便利さの充実
7．通勤･通学などの交通環境の充実
8．子どもの教育環境の充実
9．老後も安心して暮らせる福祉サービスの充実
10．その他（具体的に　　）

地域活動への参加について

問 11　あなたはこの１年で、市内の「地域やまちづくり活動」※にどの程度参加されましたか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

※「地域やまちづくりの活動」とは、自治会、町内会、ＰＴＡ、教育、青少年育成、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広い活動のことを言います。

1．週に２～３回以上
2．週に１回程度
3．月に１回程度
4．年に数回程度
5．年に１回程度
6．その他（　　）

問 12　あなたが参加したことのある活動はどんなものですか。あてはまる番号すべて選んで○をつけてください。

1．自治会などの活動
2．老人クラブなどの活動
3．子ども会、ＰＴＡなどの教育活動
4．リサイクルや自然環境保護などの活動
5．盆踊り、祭りなどの行事
6．地域の防犯・防災活動
7．公園、道路などの清掃・美化活動
8．高齢者や障がい者（児）などへのボランティア活動
9．文化、スポーツ活動
10．その他（　　）

問13　市民の皆さんが、いきいきと地域活動に取り組んでいただくために、どのようなことが大切だと思いますか。お考えに近いものを３つまで選んで番号に○をつけてください。

1．住民どうしが困ったときに、今以上に助けあえる関係
2．あいさつができる程度の顔見知りの関係
3．自治会、老人クラブ、子ども会などの活動の活性化
4．学校や幼稚園、保育所と住民の交流やつながり
5．地元の商業者など、事業者と住民のつながり
6．交流の機会となる地域の行事
7．活動の担い手やリーダーとなる人
8．だれもが気軽に立ち寄ったり集えるような場
9．市内での活動状況や先進的な地域活動事例などの情報提供
10．ボランティアなどの人材の紹介・派遣
11．その他（具体的に　　）

問 14　市では、協働によるまちづくり（市民の皆さんと市がともに役割を担いながらまちづくりを進めていくこと）を目指しています。あなたは、このことについてどう考えますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

１．推進すべき	４．あまり推進すべきでない
２．ある程度推進すべき	５．推進すべきでない
３．どちらともいえない	６．わからない

※ここでいう市民とは、河内長野市に在住している住民だけでなく、市内で活動などをしている事業者や団体、組織、それらに属する人を含みます。

問 15　協働を進めるために必要なことは何ですか。あてはまる番号すべて選んで○をつけてください。

１．市民が参加しやすいイベント等の開催や機会の提供
２．活動団体の紹介などわかりやすい情報提供
３．行政からの経済的な支援
４．職員が地域に出向くなどの活動の展開
５．活動団体間の調整やコーディネート機能の充実
６．研修会や学習会の開催
７．活動の拠点となる施設等の整備
８．活動のリーダーとなる人材の育成
９．その他（具体的に　　）

問 16　次のうち「市民と行政が協働で取り組んだ方がよいもの」、「あなたが取り組めると思うもの」について、それぞれあてはまる項目の空欄すべてに○をつけてください。

	協働で取り組んだ方がよいもの	あなたが取り組めると思うもの
記　入　例	○	○
１．地域の道路や街路樹の管理（枝払い・草刈り・側溝清掃など）		
２．地域の公園の管理（公園内の草取り・清掃・植栽の管理など）		
３．環境保全活動（自然環境保護、ごみ減量やリサイクルの推進など）		
４．地域の文化財の管理・活用（史跡や建造物等文化財の管理・説明など）		
５．高齢者の生活支援（ひとり暮らし高齢者の見守り・声かけなど）		
６．健康づくり活動（地域での健康づくり教室や勉強会の開催など）		
７．地域の子どもへの取組（育児支援や子どもの健全育成への取組など）		
８．安全・安心に関する活動（自主防災組織、子どもの見守り活動など）		
９．地域の公共施設の管理（集会所等の利用者受付・清掃・管理など）		
上記以外で該当する内容がありましたら、下記（　）内に具体的な内容を記入のうえ、該当する空欄に○をつけてください。		
（具体的に　　）		

これからの河内長野市のまちづくりについて

【福祉】

問 17　あなたは、福祉を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．高齢者や障がい者が入所（入居）できる施設の整備
２．高齢者や障がい者が日中活動できる場の充実
３．高齢者や障がい者などが生活しやすいバリアフリー化の推進
４．地域全体で高齢者や障がい者などを支えるしくみづくりの整備
５．福祉制度など経済面での生活支援の充実
６．元気な高齢者の働く場の確保や障がい者が自立できる就労支援策の充実
７．その他（具体的に　　）

【子育て環境】

問 18　あなたは、子育て環境を充実するためにはどのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．子育て家庭に対する経済的支援の充実
２．保育所定員の拡充
３．子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実
４．子どもの遊び場の整備
５．保護者どうしの交流や仲間づくりのための機会の充実
６．いざという時に子どもを預けられる保育サービスの実施
７．その他（具体的に　　）

【健康づくり】

問 19　あなたは、健康づくりを充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．妊婦や乳幼児に対する健康診査、訪問など母子保健事業の充実
２．生活習慣病予防のための特定検診やがん検診の充実
３．健康教室・健康相談・栄養相談など健康増進事業の充実
４．休日急病診療や救急など医療の充実
５．ウォーキングなど手軽にできる運動やスポーツなどによる健康づくり・体力づくり
６．市民が主体となった地域での健康づくりの推進
７．その他（具体的に　　）

【教育】

問 20　あなたは、教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進
２．体験学習活動を通じた地域の人たちとの交流
３．家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進
４．不登校やいじめなどに対応した教育の推進
５．学校内や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の充実
６．多様なニーズに対応した生涯学習（図書館含む）の活動ができる機会の確保
７．生涯学習活動の推進のための指導者の育成
８．文化・芸術活動や国際交流活動の推進
９．その他（具体的に　　）

【環境】

問 21　あなたは、環境を良くするためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．身近な省エネルギーの推進や自然エネルギー利用の普及啓発
２．地球環境問題の啓発や環境学習の機会の充実
３．身近な緑などの自然環境の保全
４．公園や緑地などの整備・保全
５．街なみなどの景観の保全
６．リユース（再使用）・リサイクルなど資源循環利用の促進
７．ごみを減らし、良いものを大事に使うライフスタイルの定着
８．いろいろな環境問題に取り組む市民活動への支援の充実
９．その他（具体的に　　）

【防犯】

問 22　あなたは、防犯に対する取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．防犯講座などの啓発活動の充実
２．自主防犯組織の結成促進
３．地域における見まわりや声掛けなど、防犯対策の充実
４．防犯灯や防犯カメラの設置など、防犯環境の充実
５．警察・行政・市民等による情報共有など、関連機関・団体の連携促進
６．その他（具体的に　　）

【防災】

問 23　あなたは、防災に対する取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．避難訓練や防災講座などの啓発活動の充実
２．自主防災組織の結成促進
３．耐震診断や改修などの補助制度や施設の耐震化の充実
４．防災資機材の備蓄・整備の充実
５．災害時における連絡体制の充実
６．その他（具体的に　　）

【産業振興】

問 24　あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．駅周辺などにぎわいを生む商店の活性化
２．企業や研究機関などの誘致
３．新たな産業の育成・支援
４．地場産業など市内企業の育成・支援
５．安定した農林業経営のための支援
６．農商工の連携による新たな地域ブランドの開発
７．歴史・文化・自然などを活かし、交流人口の増加による観光振興
８．その他（具体的に　　）

【交通】

問 25　あなたは、交通の整備を充実させるためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．他市とつながる広域的な幹線道路の整備
２．駅へのアクセスなど、市域内の道路・歩道の整備
３．バス路線網の整備
４．駅前の駐車場や駐輪場の整備など、公共交通機関への乗り継ぎの促進
５．渋滞緩和や違法駐車対策の充実
６．その他（具体的に　　）

【人権】

問 26　あなたは、人権問題を解決するためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．人権問題について学ぶ講座やセミナーの開催
２．学校教育における人権教育の充実
３．人権に関する相談の強化
４．人権侵害被害者への救済
５．広報やパンフレットの作成などによる人権啓発の推進
６．その他（具体的に　　）

【市民意見の反映】

問 27　あなたは、現在の市政に市民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

１．十分反映されている	４．まったく反映されていない
２．ある程度反映されている	５．わからない
３．あまり反映されていない	

問 28　あなたは、できるだけ多くの市民の意向を市政に反映させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．市長と対話できる機会の充実
２．市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実
３．幅広い市民参加の促進
４．審議会などへの市民参加の充実
５．アンケート調査の実施
６．パブリックコメントの充実
７．広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実
８．その他（具体的に　　）

【行財政改革】

問 29　あなたは、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、どのような方策が必要だと考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．事務・事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する
２．市民ニーズに合わせて市役所の組織をつくり直す
３．市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う
４．市内の各種団体を対象に出される補助金を、必要に応じ統合あるいは廃止する
５．サービスにより利益を受ける市民に適切な費用を負担してもらう
６．類似施設の統合・廃止や他施設との複合化をはかる
７．他市町村との合併や広域連携を進める
８．必要に応じ業務を民間委託する
９．市の職員数を見直す
10．市職員の給与水準を見直す
11．その他（具体的に　　）

【将来のまちのイメージ】

問 30　あなたは、河内長野市が将来どのようなイメージのまちになっていてほしいと思いますか。お考えに近いものを３つまで選んで、番号に○をつけてください。

1．高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉の充実したまち
2．保育サービス等が整った子育て環境が充実したまち
3．保健・医療が整ったいつまでも健康に暮らせるまち
4．学校教育や生涯学習など、学びの環境が充実したまち
5．自然・文化・歴史を守り、伝えていくまち
6．防災・防犯体制が整った安全・安心なまち
7．商業施設が多くあり、買物に便利なまち
8．様々なニーズに応えられる働く場のあるまち
9．観光やレクリエーションのために多くの人が訪れるまち
10．道路網や公共交通などの移動に便利なまち
11．一人一人の人権が尊重される平等なまち
12．協働や市民主体のまちづくりなどが活発なまち
13．将来にわたって健全な財政運営を行うまち
14．その他（　　）

【将来のまちの整備について】

問 31　あなたは、河内長野市の土地利用などを含めた将来のまちの姿について、どのようになってほしいとお考えですか。あてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。

1．大阪のベッドタウンとして住宅中心のまち
2．自然を残した、豊かな田園風景が広がるまち
3．自然や歴史を活かし、多くの観光客が訪れるまち
4．多くの企業が立地し、働く場が充実したまち
5．商業・サービス施設が充実したまち
6．大都市や高速道路へのアクセスがよい交通の便利なまち
7．わからない

問 32　中心市街地（河内長野駅周辺など）では、どのようなまちづくりを進めるべきだとお考えですか。あてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。

1．広い歩道を備えたメインストリートが整備され、歩いて楽しめるまち
2．高野街道や町家などの歴史的景観を活かした風情のあるまち
3．現在の空店舗・空地に魅力ある店舗を誘致し、にぎわいのあるまち
4．商店街などで定期的にイベントが開催される、ふれあいと活気のあるまち
5．マンションなどの住宅が充実した、駅前に多くの人が住むまち
6．わからない

問 33　幹線道路沿いに田畑や森林が広がる地域について、どのような土地利用を行うべきとお考えですか。あてはまるものを２つまで選んで、番号に○をつけてください。

１．現状のまま
２．地産地消の直売所など
３．大型ショッピングセンター、レジャー施設など
４．雇用を生み出す工場・研究所など
５．医療・福祉施設など
６．わからない

【おわりに】

問 34　10 年後の河内長野市を住みやすいまちにするために、どのようなことが必要だと思いますか。あなたのご意見をご自由にお書きください。

～以上、ご協力ありがとうございました～

ご記入いただいた調査票は、無記名のまま同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、

10月15日（火）までにご投函ください。

※アンケートはここで終わりです。引き続き、次のページについてもご覧ください。

～まちづくりを一緒に考えませんか～

河内長野市のまちづくりを進める上では、市民の皆様と行政が、一緒にまちづくりについて考え、取り組んでいくことが大切であると考えています。

総合計画策定にあたり、市民の皆様にこれからのまちづくりについて考えていただく機会として、平成 25 年 12 月から平成 26 年２月頃にかけて、「まちづくり市民ワークショップ」を４回程度実施し、そこで出た意見を計画に反映していきたいと考えています。

今回のアンケート調査を機に、「河内長野市をもっと良くしたい」「まちづくりに参画してみたい」と思われた方がおられましたら、このワークショップに参加いただきたいと思います。

興味がある方は、後日、河内長野市企画政策室よりご連絡をさせていただくことがありますので、下記の記入欄に必要事項を記入してください。

なお、参加人数の調整のため、すべての方にご参加いただけない場合がありますのであらかじめご了承ください。

※参加を希望しない方は、下記の記入は不要です。

ワークショップとは？

ワークショップとは、講師から一方的に話を聞く会議ではなく、**参加者が対等な立場で主体的に参加**し、参加者同士が相互に刺激し合い、学び合う、**グループによる検討方法**です。

【参加希望者　記入欄】

氏　名			性　別	
住　所			年　齢	
電話番号				
参加しやすい曜日、時間に○を付けてください		午前	午後	夜間
	平日			
	土曜日			
	日曜日・祝日			

※このページは切り離して、返信用封筒に入れてください。記入内容からアンケート回答者を特定したり、他の目的に利用することはありません。

河内長野市第5次総合計画策定のための
市民アンケート調査結果報告書
≪平成 26 年3月発行≫
■発行:河内長野市　〒586-8501　大阪府河内長野市原町一丁目1番1号
TEL.0721-53-1111
■編集:市長公室　企画政策室

河内長野市第５次総合計画策定のための市民アンケート調査結果報告書

河内長野市